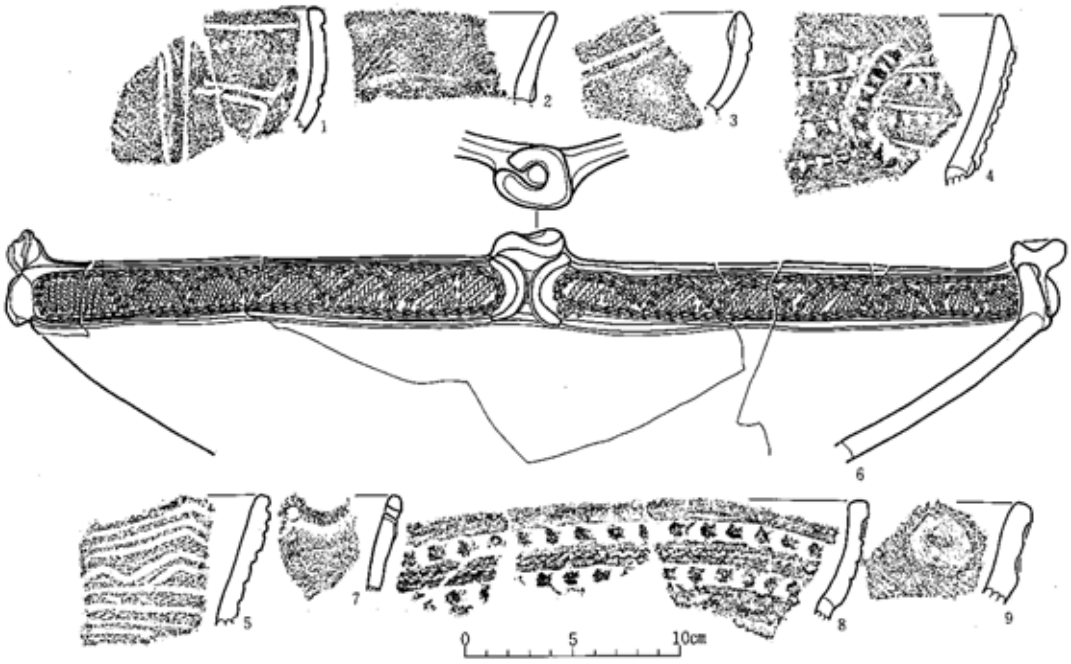


番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CM84区・西ベルト4層	鉢(?)・B—	口縁部：平縁、区画隆線文、隆線に沿う沈線文、縄文（LR）	188
2	CM84区・西ベルト4層	深鉢・W3b	口縁部：平縁、結束（第1種）羽状縄文（RL×LR）	188
3	CM84区・西ベルト4層上面	深鉢・D(IIa(?))2	口縁部：波状縁、口縁に沿う隆線文、隆線に沿う沈線文	188
4	CM84区・西ベルト3層	深鉢・E(I)4c	口縁部：平縁、横位隆線文、「C」字状貼付文、刺突文（貼付文上）、横位平行沈線文、連続刺突文、縄文（RL）	188
5	CM84区・ベルト3層	深鉢・S—	口縁部：波状縁、口縁に沿う平行沈線文、鋸歯状沈線文、横位平行沈線文	188
6	CM84区・北ベルト3層、CM84区・3層上面、CM84区・1層	浅鉢・A3b	口縁部：突起のつく平縁、「の」字状貼付文、「＊」字状隆線文、隆線に沿う押圧縄文（LR）、連弧状押圧縄文（LR）、縄文（LR）、胴部：無文	179
7	CM84区・南ベルト3層	深鉢・S30b	口縁部：波状縁、円窓（波頂部）、胴部：縄文（RL）	188
8	CM84区・西ベルト3層	深鉢・D(I)1e	口縁部：平縁、半截竹管による平行沈線文、半截竹管による横位連続刺突文、横位押圧縄文（RL）	188
9	CM84区・ベルト2層	深鉢・D(IIa)—	口縁部：波状縁、円形沈線文、縄文（Lr）	188

第321図　東側遺物包含層出土土器（CM84区・ベルト4層・3層・2層）

第4層上面：第321図3

第321図3：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部は内弯気味に外傾する器形と思われる。口縁に沿う沈線文が描かれている。

第3層：第321図4～8

第321図4～5：頸部がゆるい「く」字状にくびれ、口縁部はわずかに内弯しながら外傾する器形である。4の口縁部は「C」字状貼付文、沈線文、刺突文によって文様が構成されている。5は波状沈線文、横位沈線文が施されている。

第321図6：隆線文と押圧縄文によって文様が構成されている。浅鉢形土器である。

第321図7：口縁部破片である。波頂部には貫通孔が配されている。

第321図8：頸部がゆるい「く」字状にくびれ、口縁部はわずかに内弯しながら外傾する器

形である。半截竹管による押引き文・横位押圧縄文によって文様が構成されている。

第2層：第321図9

第321図9：口縁部破片である。波頂部には浅い円形沈線文が描かれている。

C N84区

第6層：第322図1～2

第322図1～2：胴部から口縁部にかけて外傾し、口縁部は肥厚している。口縁下端に連続刺突文が施されている。

第5層：第322図3～4

第322図3：胴部から口縁部にかけて外傾し、口縁部は肥厚している。口縁部には連弧状縄文が施されている。

第322図4：胴部から口縁部にかけて外反気味に内傾する器形である。口縁部は複合口縁状を呈している。

第5層上面：第322図5～10、第323図1～5

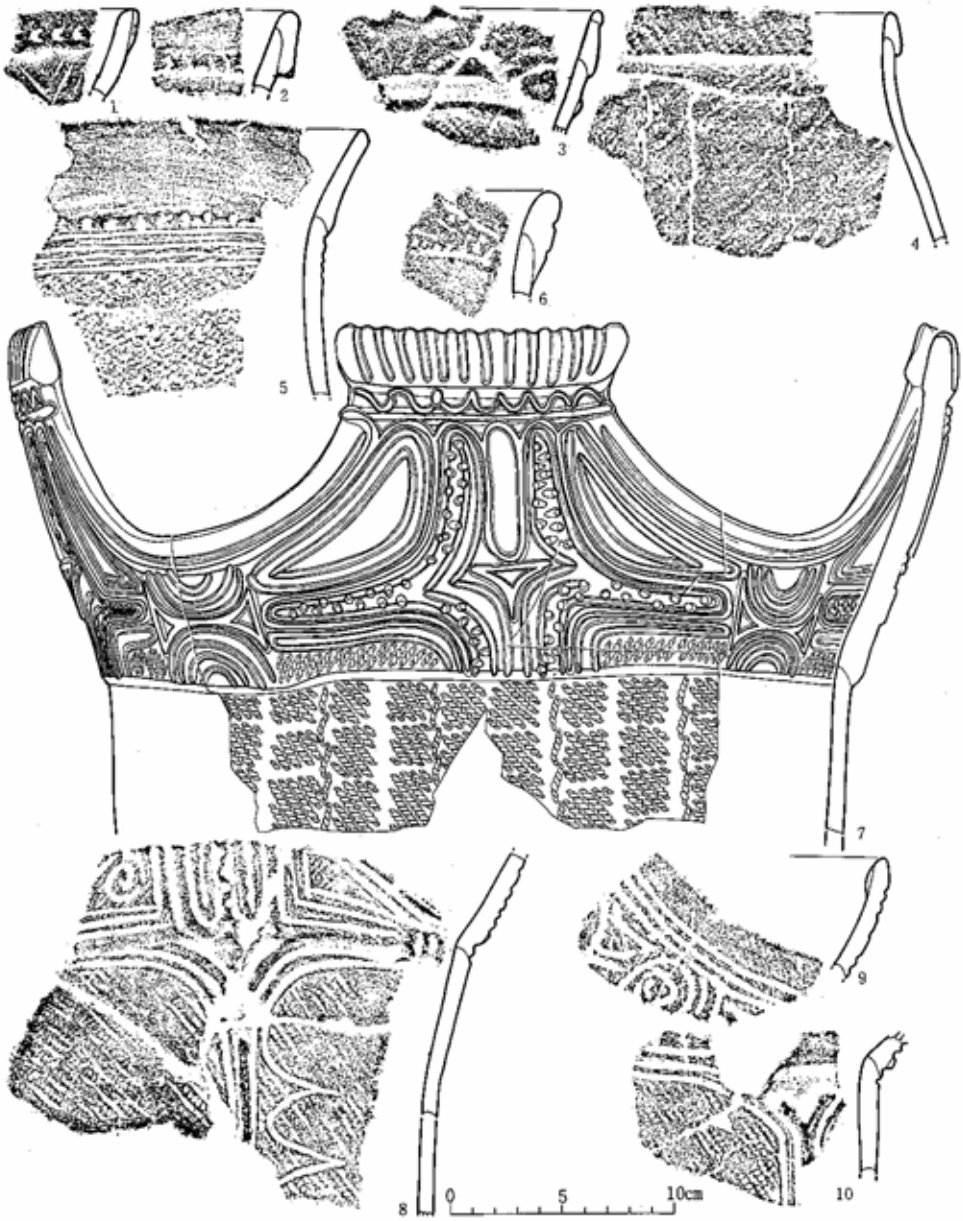
第322図5～6：頸部がゆるやかに外反し、口縁部が肥厚して外傾する器形である。口頸部に文様が施されている。

第322図7～10：頸部がゆるい「く」字状にくびれ、口縁部はわずかに内弯しながら外傾する器形である。口縁部には弧状・楕円形状の文様が隆線文・沈線文・刺突文によって構成され、8・10の胴部には懸垂区画文が構成されている。

第323図1：頸部がゆるい「く」字状にくびれ、口縁部が内弯気味に外傾する器形である。口縁部に楕円形状の文様が隆線文・押引き文によって構成され、さらに三角形の彫去が施されている。

第323図2～4：頸部がゆるくくびれ、口縁部は複合口縁状を呈している。文様意匠は施されていない。

第323図5：頸部がゆるい「く」字状にくびれ、口縁部が内弯し、キャリパー状の器形である。口縁部に弧状文が隆線文・押圧縄文によって構成されている。



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CN84区・6層	深鉢・S3b	口縁部：平縁，半截竹管による横位連続刺突文，胴部：半截竹管による平行沈線文	180
2	CN84区・6層	深鉢・S9a	口縁部：波状縁，半截竹管による横位連続刺突文（下端），胴部：半截竹管による平行沈線文	180
3	CN84区・北ベルト5層	深鉢・S7	口縁部：小突起のつく平縁，連弧状押圧縄文(LR)，頸部：無文，胴部：縄文(LR)結節文(片結び一原)	180
4	CN84区・北ベルト5層	深鉢・U3	口縁部：平縁，縄文（RL），胴部：縄文（RL）結節文（片結び一原）	180
5	CN84区・5層上面	深鉢・A(Ⅰ)4	口縁部：平縁，無文，頸部：横位連続刺突文，横位平行沈線文，胴部：縄文（RL）	180
6	CN84区・5層上面	深鉢・A(Ⅱ)一	口縁部：波状縁，口縁に沿う平行沈線文，横位平行沈線文，連続刺突文	180
7	CN84区・5層上面，CL82区・3層上面，CM82区・1層・2層	深鉢・D(Ⅱc2)1a	口縁部：波状縁，縦位対目文（波頂部），横位波状粘土紐貼付文，区画隆線文，隆線に沿う沈線文，交互刺突文，縄文（LR）胴部：縄文（LR）結節文（片結び一原）	180
8	CN84区・北ベルト5層上面，CN84区・北ベルト3層	深鉢・D(Ⅱc2)1a	口縁部・胴部：区画隆線文，隆線に沿う沈線文，横巻状沈線文，連弧状沈線文，交互刺突文，縄文（LR）	180
9	CN84区・5層上面	深鉢・D(Ⅱc2)1a	口縁部：波状縁，口縁に沿う沈線文，横巻状押引き文，縄文（LR）	180
10	CN84区・5層上面	深鉢・N9a	口縁部：区画隆線文，隆線に沿う沈線文，縄文（LR）	180

第322図　東側遺物包含層出土土器（CN84区・6層・5層・5層上面(1)）

第4層：第323図6

第323図6：頸部がゆるい「く」字状にくびれ、口縁部は内弯しながら外傾する器形と思われる。口縁上部は、弧状文が隆線文・押圧縄文によって構成され、口縁下部には交互刺突帯が設けられている。

第3層：第323図7～13、第324図1～8

第323図7～11：頸部がゆるやかに外反し、口縁部が肥厚して外傾する器形と思われる。口頸部に文様が施されている。

第323図12：胴部から口縁部にかけて内弯する器形である。口縁部には隆線文・刻目文が施されている。

第323図13～第324図1：頸部がゆるい「く」字状にくびれ、口縁部は肥厚している。文様意匠は施されていない。

第324図2：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部が外傾する器形と思われる。頸部隆帯には刻目文が施されている。

第324図3：胴部から口縁部にかけて内弯する器形である。胴部は隆線文が施されている。

第324図4：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部が短く外傾する。地文として縄文が施されている。

第324図5：胴部から口縁部にかけて内弯する器形である。口縁部には隆線文・押圧縄文が施されている。

第324図6～7：頸部がゆるい「く」字状にくびれ、口縁部はわずかに内弯しながら外傾する器形と思われる。6は押圧縄文、7は隆線文・押圧縄文によって文様が構成されている。

第324図8：胴部破片である。半截竹管による平行沈線文が弧状に施されている。

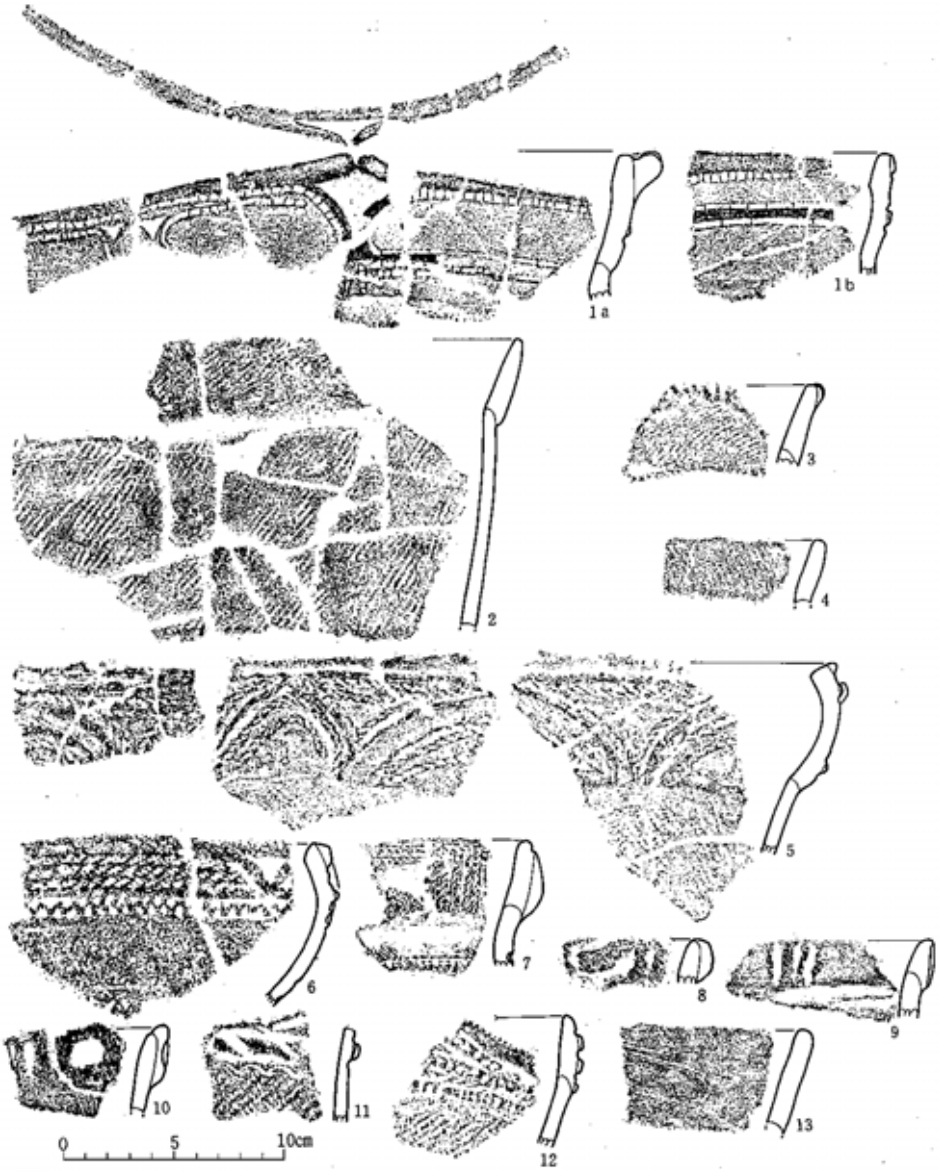
第2層：第324図9～13

第324図9：胴部破片である。弧状沈線文・半截竹管による平行沈線文が施されている。

第324図10：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部が外傾する器形と思われる。口縁部には横位沈線文・隆線文が施されている。

第324図11～12：口頸部破片である。口縁部には11が弧状隆線文・押圧縄文、12は横位平行押圧縄文が施されている。

第324図13：口縁部破片である。渦巻状の突起、橋状把手が付されている。



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1a,b	CN84区・5層上面、CM84区・4層上面、CM85区・5層	深鉢・D(Ⅰ)6b	口縁部：小突起のつく平縁、三角形の彫出（上端）、楕円形区画隆線文、隆線に沿う押引き文、三角形の彫出、胎土：金雲母を多く含む	180
2	CN84区・5層上面	深鉢・W3b	口縁部：平縁、縄文（Rℓ）、胴部：縄文（Rℓ）	177
3	CN84区・5層上面	深鉢・W3b	口縁部：平縁、横位押圧縄文（Lr）（上端）、縄文（Lr）	180
4	CN84区・5層上面	深鉢・W3b	口縁部：平縁、縄文（LR）結束文（片結び一連）	180
5	CN84区・5層上面、CL81区・1層、CK81区・1層	深鉢・D(Ⅰ)8c	口縁部：小突起のつく平縁、楕円形の区画隆線文、楕円形貼付文、隆線に沿う押圧縄文(LR)、胴部：縄文(LR)結束文（同結び一連）	177
6	CN84区・4層、CN86区・3層	深鉢・L1	口縁部：平縁、区画隆線文、隆線に沿う押圧縄文（RL）、横位平行沈線文、交互刺突文、縄文（RL）	177
7	CN84区・3層	深鉢・A(Ⅰ)1−	口縁部：平縁、貼付文、押圧縄文（LR）（貼付文上）、口縁に沿う押圧縄文（LR）、胴部：平截竹管による横位平行沈線文、平截竹管による横位連続刺突文、縄文（Rℓ）	177
8	CN84区・3層	深鉢・A(Ⅰ)1−	口縁部：平縁、横位貼付文、波状貼付文、横位沈線文（横位貼付文上）	177
9	CN84区・3層	深鉢・A(Ⅰ)1−	口縁部：平縁、横位平行沈線文	177
10	CN84区・3層	深鉢・A(Ⅰ)−(?)	口縁部：平縁、円環状貼付文、横位平行沈線文	177
11	CN84区・3層	深鉢・S−	胴部：横位隆帯、斜位刻目文（隆線上）、隆線に沿う沈線文、胴部：縄文（LR）結束文（片結び一単）	177
12	CN84区・3層	深鉢・S−	口縁部：波状縁、平截竹管による刻目文（上端）、区画隆線文、平截竹管による刻目文（隆線上）、縄文(LR)	177
13	CN84区・北ベルト3層	深鉢・S11b	口縁部：平縁、無文	177

第323図　東側遺物包含層出土土器（CN84区・５層上面(2)・４層・３層(1)）

第1層：第324図14〜27

第324図14：頸部がゆるやかに外反し、口縁部は肥厚して外傾する器形である。口縁部下端に刻目文が施されている。

第324図15〜18：頸部がゆるい「く」字状にくびれ、口縁部がわずかに内弯しながら外傾する器形である。15は半截竹管による平行沈線文、16〜17が隆線文、18が沈線文によって文様が施されている。

第324図19〜21：頸部が「く」字状につよくくびれ、口縁部が短く外傾する器形である。頸胴部に文様が構成されている。

第324図22〜23：口縁部は複合口縁状を呈している。22は地文として縄文が施されている。

第324図24〜27：頸部がゆるい「く」字状にくびれ、口縁部がわずかに内弯しながら外傾する器形である。口縁部には24〜26は押圧縄文、27は隆線文、押圧縄文が施されている。

ＣＯ84区

第5層：第325図1〜5

第325図1：口縁部破片である。円形貼付文・沈線文が施されている。

第325図2〜3：口縁部は外傾している。2は沈線文、粘土紐貼付文、3は沈線文・楕円形貼付文、刺突文が施されている。

第325図4：口縁部は内弯し、キャリパー状の器形を呈するものと思われる。弧状の隆線文と沈線文、三角形の彫去によって文様が構成されている。

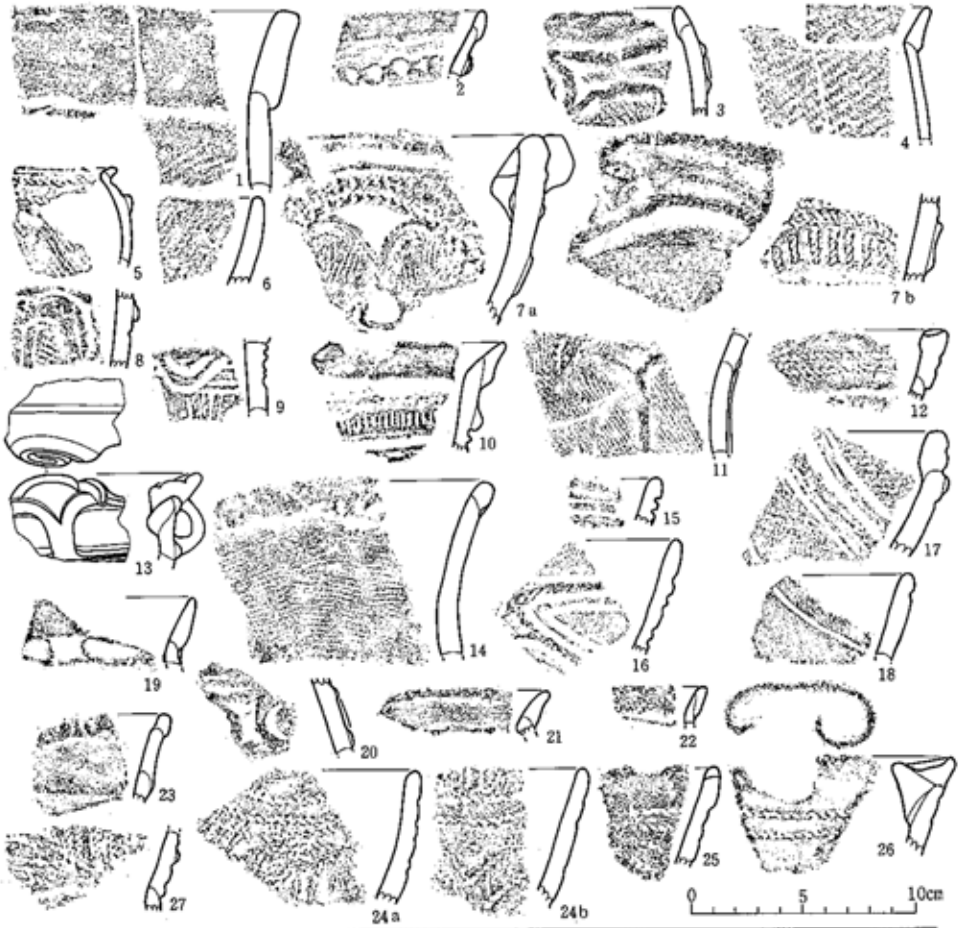
第325図5：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部が外傾する器形である。地文として縄文が施されている。

第2層：第325図6

第325図6：無文の浅鉢形土器である。

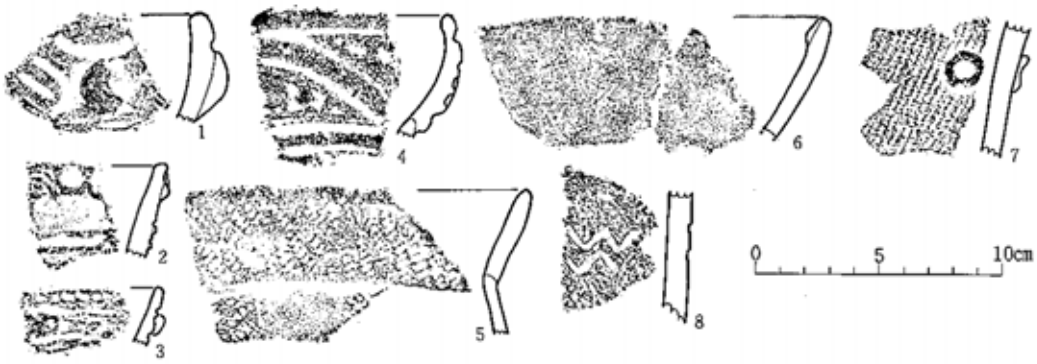
第1層：第325図7〜8

第325図7〜8：胴部破片である。7は円形貼付文、8は鋸歯状沈線文が施されている。



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CN84区・3層	深鉢・W2a	口縁部：平縁，無文，胴部：縄文（LR）	178
2	CN84区・3層	深鉢・S－	口縁部：平縁，無文，頸部：横位隆帯，連続刻目文（隆線上）	178
3	CN84区・北ベルト3層	深鉢・N6a	口縁部：平縁，無文，胴部：区画隆線文，縄文（LR）結節文（片結び一種）	178
4	CN84区・北ベルト3層	深鉢・V3	口縁部：平縁，縄文（RL），胴部：縄文（RL）	178
5	CN84区・3層	深鉢・N6b	口縁部：平縁，横位平行押圧縄文（LR），楕円形貼付文，胴部：縄文（LR）（一部剥落）	178
6	CN84区・3層	深鉢・W3b	口縁部：平縁，押圧縄文（LR），縄文（LR）	178
7	CN84区・3層	深鉢・D(IIc2)1c	口縁部：波状縁，「の」字状貼付文（内外面），区画隆線文，渦巻状隆線文，横位押圧縄文（Lr），隆線に沿う押圧縄文（Lr），縄文（RL）	178
8	CN84区・3層	深鉢・W4	胴部：区画隆線文，半截竹管による平行沈線文，半截竹管による刺突文，縄文（Lr）	178
9	CN84区・北ベルト2層	深鉢・A－	胴部：弧状沈線文，半截竹管による平行沈線文	178
10	CN84区・北ベルト2層	深鉢・S4a	口縁部：平縁，横位隆線文，横位刻目文（隆線上），沈線文	178
11	CN84区・北ベルト2層	深鉢・－	口縁部：区画隆線文，隆線に沿う押圧縄文（LR），縄文(LR)，胴部：「Y」字状懸垂隆線文，縄文(LR)	178
12	CN84区・北ベルト2層	深鉢・S－	口縁部：小突起のつく平縁，刻目文（突起上），押圧縄文（Lr）	178
13	CN84区・西ベルト2層	深鉢・O1	口縁部：突起のつく平縁，渦巻状貼付文，環状把手	178
14	CN84区・1層	深鉢・S8a	口縁部：平縁，横位刻目文，胴部：縄文（RL）	178
15	CN84区・1層	深鉢・D－(？)	口縁部：平縁，半截竹管による横位平行沈線文，半截竹管による横位刺突文	178
16	CN84区・1層	深鉢・E(I)5	口縁部：平縁，区画隆線文，隆線に沿う沈線文，縄文（LR）（上部，隆線上）	178
17	CN84区・1層	深鉢・D(IIc2(？))1a	口縁部：波状縁，区画隆線文，隆線に沿う沈線文，縄文（LR）	178
18	CN84区・1層	深鉢・D(IIa(？))2	口縁部：波状縁，口縁に沿う沈線文	178
19	CN84区・1層	深鉢・N9a	口縁部：波状縁，横位隆線文，「x」字状隆線文	178
20	CN84区・1層	深鉢・F－	胴部：横位平行隆線文，「x」字状隆線文，隆線に沿う沈線文	178
21	CN84区・1層	深鉢・V2(？)	口縁部：平縁，無文	178
22	CN84区・1層	深鉢・W3b	口縁部：平縁，縄文（RL）	178
23	CN84区・1層	深鉢・S11a	口縁部：波状縁，無文	178
24a,b	CN84区・1層	深鉢・D(II－)－	口縁部：波状縁，横位押圧縄文（LR），連弧状押圧縄文（LR），縄文（LR）	178
25	CN84区・北ベルト1層	深鉢・E(？)－	口縁部：小波状縁，押圧縄文（LR）	178
26	CN84区・1層	深鉢・E(I)1a(？)	口縁部：突起のつく波状縁，「の」字状貼付文（波頂部），横位押圧縄文（LR）	178
27	CN84区・1層	深鉢・D－	口縁部：区画隆線文，押圧縄文（LR,RL）	178

第324図　東側遺物包含層出土土器（CN84区・1層，2層，3層(2)）



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CO84区・北ベルト5層	深鉢・A(Ⅱ)2	口縁部：波状縁，弧状沈線文，山形沈線文，円形貼付文	191
2	CO84区・北ベルト5層	深鉢・A(Ⅰ)−	口縁部：平縁，円形の窪孔，半截竹管による押引き文，胴部：無文，横位結束縄貼付文，半截竹管による押引き文	191
3	CO84区・北ベルト5層	深鉢・D−(?)	口縁部：平縁，横位平行沈線文，円形竹管文，楕円形貼付文	191
4	CO84区・北ベルト5層	深鉢・C1	口縁部：平縁，弧状区画隆線文，隆線に沿う沈線文，三角形の彫去	191
5	CO84区・2層	深鉢・V3	口縁部：平縁，縄文（RL），胴部：縄文（RL）結節文	191
6	CO84区・北ベルト5層	浅鉢・A8e	口縁部：平縁，無文，胴部：無文	191
7	CO84区・1層	深鉢・−	胴部：円形貼付文，縄文（LR）	191
8	CO84区・1層	深鉢・−	胴部：蛇行状沈線文，縄文（RL）	191

第325図　東側遺物包含層出土土器（CO84区）

番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CP84区・1層	深鉢・A−	胴部：半截竹管による平行沈線文，縄文（LR）	191
2	CP84区・1層	深鉢・A(Ⅰ)3	口縁部：平縁，横位平行沈線文，蛇行状沈線文	191
3	CP84区・1層	深鉢・S11a	口縁部：平縁，無文	191

第326図　東側遺物包含層出土土器（CP84区）

ＣＰ84 区

第１層：第 326 図

第 326 図 1：胴部破片である。沈線文によって文様が描かれている。

第 326 図 2：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部は外傾する器形である。沈線文が施されている。

第 326 図 3：口縁部は複合口縁状を呈している。無文である。

（22）85 列（ＣＬ85 区・ＣＭ85 区・ＣＮ85 区・ＣＯ85 区・ＣＰ85 区）

ＣＬ85 区

第５層：第 327 図

第 327 図 1：口縁部破片である。鋸歯状沈線文が施されている。

第 327 図 2～3：頸部がゆるい「く」字状にくびれ、口縁部が外傾する器形と思われる。沈線文が施されている。

第 327 図 4：頸部がゆるい「く」字状にくびれ、口縁部はわずかに内弯しながら外傾し、胴部が膨む器形である。口縁部は四波状を呈し、区画隆線文と沈線文が施されている。胴部は「Y」字状懸垂隆線文が配されている。

第 327 図 5：頸部がつよくくびれ、口縁部は短く外傾し、胴部が膨む器形と思われる。弧状文が構成されている。

第 327 図 6～7：浅鉢形土器である。

第５層上面：第 328 図～第 329 図

第 328 図 1：口縁部が内弯するキャリパー状の器形である。内傾部に文様が施されている。

第 328 図 2～5：頸部がゆるい「く」字状にくびれ、口縁部が内弯気味に外傾する器形である。口縁部は弧状の区画隆線文と押圧縄文によって文様が構成されるものと、横位平行押圧縄文が施されるものがある。

第 328 図 6：胴部から口縁部にかけて内傾する器形と思われる。隆線文が施されている。

第 328 図 7：口縁部破片である。波頂部には刻目文が施されている。

第 328 図 8：頸胴部破片である。半截竹管による連続刺突文、平行沈線文が施されている。

第 328 図 9～10：浅鉢形土器である。頸部に横位隆線文が施されている。

第 329 図 1：頸部がゆるい「く」字状にくびれ、口縁部にわずかに内弯しながら外傾し、胴部が膨む器形である。口縁部は四波状を呈し、波頂部中央には橋状把手が配されている。区画隆線文と押圧縄文・半截竹管による平行沈線文によって文様が構成されている。

第 329 図 2：胴部から口縁部にかけて内弯し、口縁部は鍔状に隆帯が貼付されている。4 単位の橋状把手が配されている。口縁部には連弧状貼付文、胴部には相反する弧状区画隆線文が施されている。

第4層：第330図

第330図1～4：頸部がゆるくくびれ、口縁部が内弯気味に外傾する器形である。隆線文・押圧縄文が施された後に刺突文・刻目文が施されている。2～3には連弧状貼付文が付されている。

第330図5：口縁部は複合口縁状を呈している。無文である。

第330図6～7：浅鉢形土器である。頸部に横位隆線文が施されている。

第4層上面：第331図～第332図

第331図1～2：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部が外傾する器形と思われる。3は頸部に橋状把手が付され、口縁部、胴部に弧状文が施されている。

第331図3：胴部破片である。ヘラ状土具によるナデツケの後に縄文が施文されている。

第331図4：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部は短く外傾する器形である。胴部に地文として縄文が施されている。

第332図1：頸部がゆるい「く」字状にくびれ、口縁部は内弯気味に外傾する器形である。口縁部には渦巻状突起が対面にふたつ配されている。隆線文、交互刺突文によって文様が構成されている。

第332図2：頸部がゆるい「く」字状にくびれ、口縁部は外傾する器形である。口縁部は隆線文、指頭状圧痕、刺突文が施され、胴部は沈線文によって弧状文が描かれている。

第3層：第333図～第334図

第333図1：頸部破片である。横位平行沈線文、刺突文が施されている。

第333図2：胴部破片である。「Y」字状懸垂隆線文、沈線文によって文様が構成されている。

第333図3～8：頸部がゆるい「く」字状にくびれ、口縁部は内弯気味に外傾する器形である。弧状の隆線文と押圧縄文、横位平行押圧縄文が口縁部に施されている。

第333図9：波頂部破片である。内面には「の」字状貼付文が施されている。

第334図1：頸部がゆるやかに外反し、口縁部は肥厚して外傾する器形である。口縁部上端には半截竹管による刺突文が施され、胴部には半截竹管による平行沈線文が弧状に描かれている。

第334図2：頸胴部破片である。頸部隆帯には、縦位押圧縄文が施されている。

第334図3：口縁部破片である。指頭によるナデツケが施されている。

第334図4：頸胴部破片である。頸部には横位連続刺突文が施されている。

第334図5：浅鉢形土器である。口縁部は複合口縁状を呈している。

第3層上面：第335図

第335図1：頸部がゆるく「く」字状にくびれ、口縁部にはわずかに内弯しながら外傾する器形である。縄文結節文が施されている。

第335図2～3：口縁部破片である。2は弧状の隆線文と押圧縄文が施されている。

第335図4：無文の浅鉢形土器である。

第2層：第336図

第336図1：口縁部は内弯気味に外傾している。弧状の隆線文と渦巻状の押圧縄文が施されている。

第336図2～3：口縁部破片である。文様意匠は施されていない。

第336図4：口縁部破片である。口縁上端には連弧状貼付文が施され、口縁部は「x」字状文が構成されている。

第336図5：口縁部破片である。頸部隆帯には縦位押圧縄文が連続して施されている。

第1層：第337図

第337図1～2：頸部がゆるやかに外反し、口縁部が肥厚して外傾する器形と思われる。口縁部には波状沈線文、横位沈線文、連続刺突文が施されている。底部は網代痕が残されている。

第337図3～6：頸部がゆるい「く」字状にくびれ、口縁部は内弯気味に外傾する器形と思われる弧状文が隆線文や押圧縄文によって構成されている。

第337図7：口縁部破片である。口縁部上端には「の」字状貼付文が施されている。

第337図8：無文の浅鉢形土器である。

（ＣＬ85区ベルト）

第2層：第338図1～3

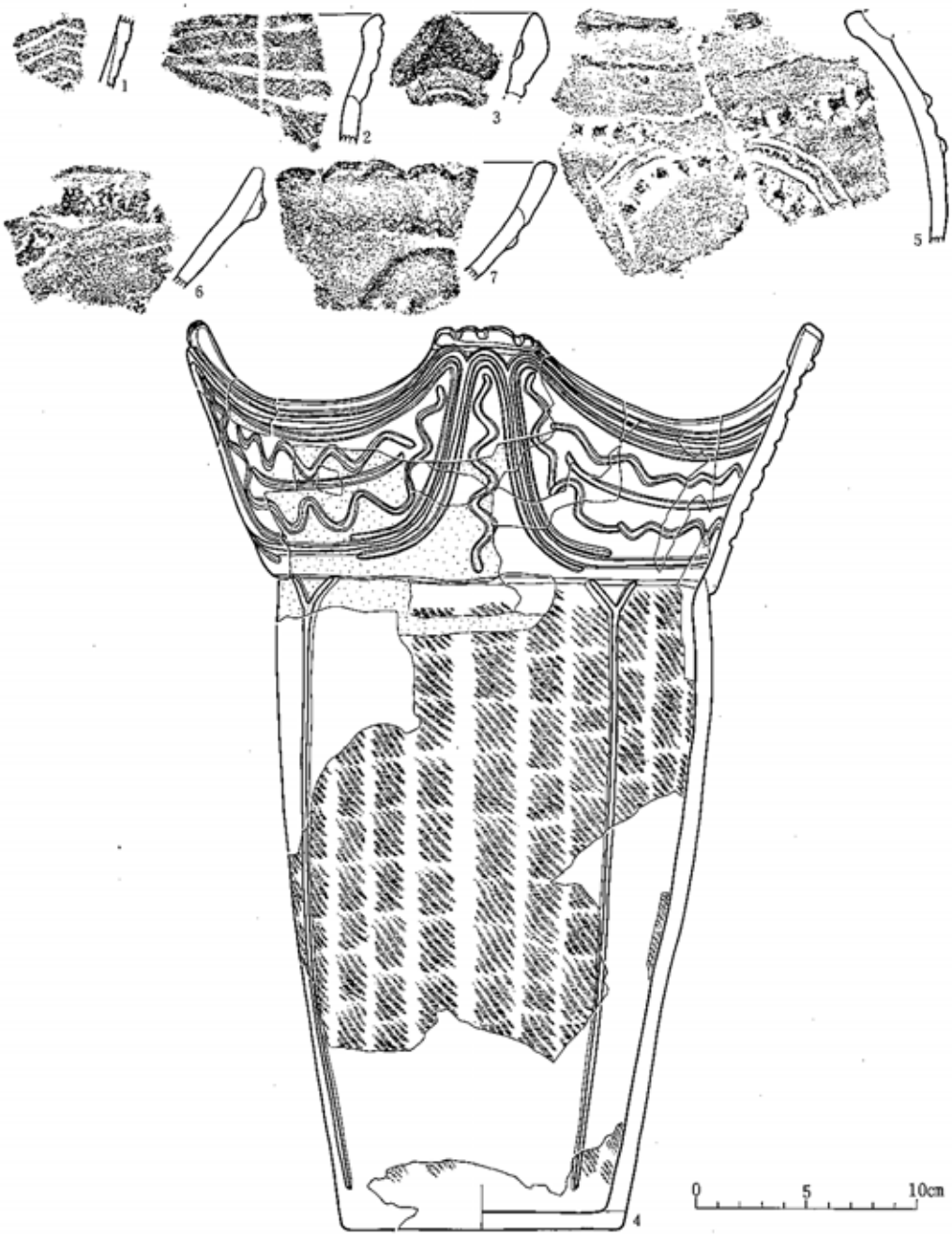
第338図1：胴部破片である。懸垂隆線文・沈線文が施されている。

第338図2～3：頸部がゆるい「く」字状にくびれ、口縁部は内弯気味に外傾する器形である。

第1層：第338図4～13

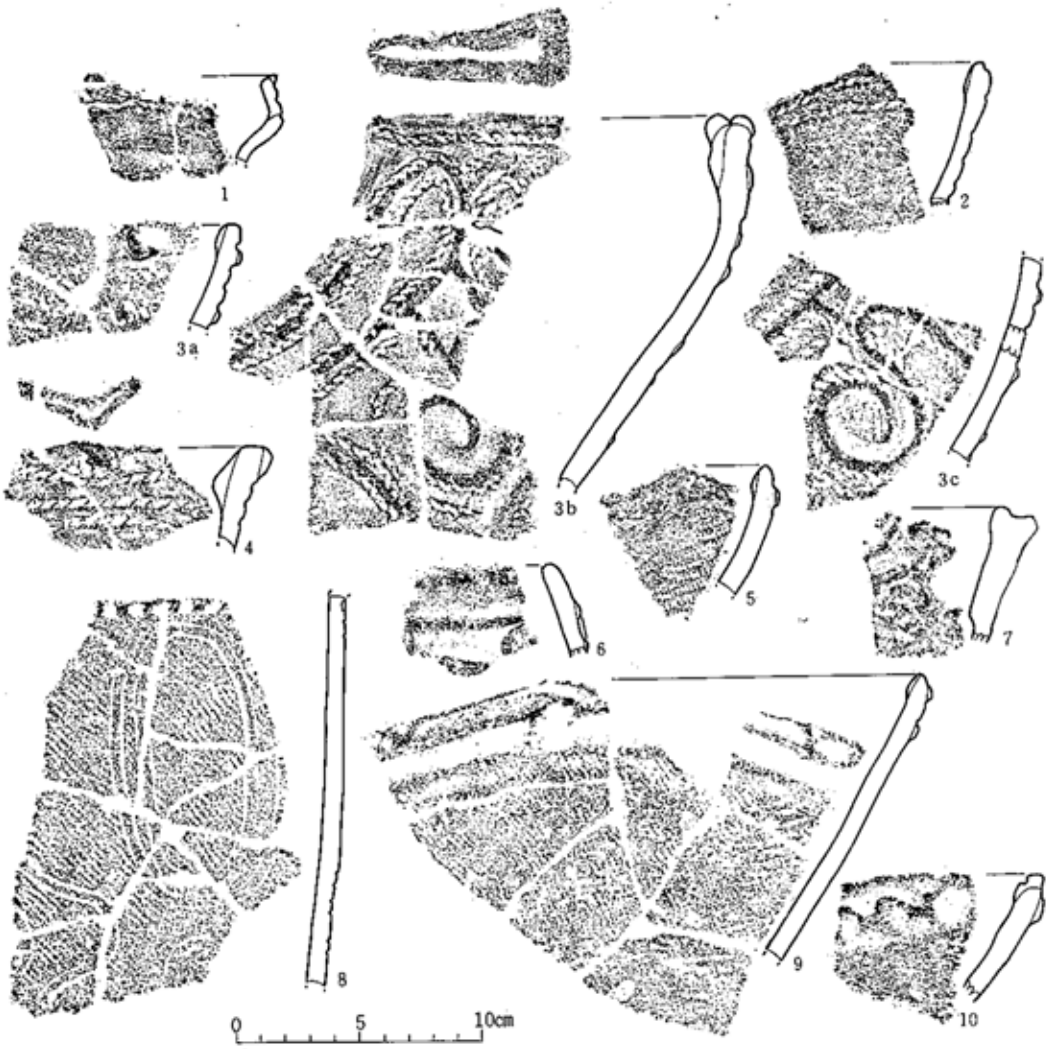
第338図4～5：口縁部破片である。4は横位に円形竹管による刺突文が施されている。5は斜位沈線文が連続して口縁部に描かれている。

第338図6～10：押圧縄文の施されている口縁部破片である。6～7、9～10は頸部でゆる



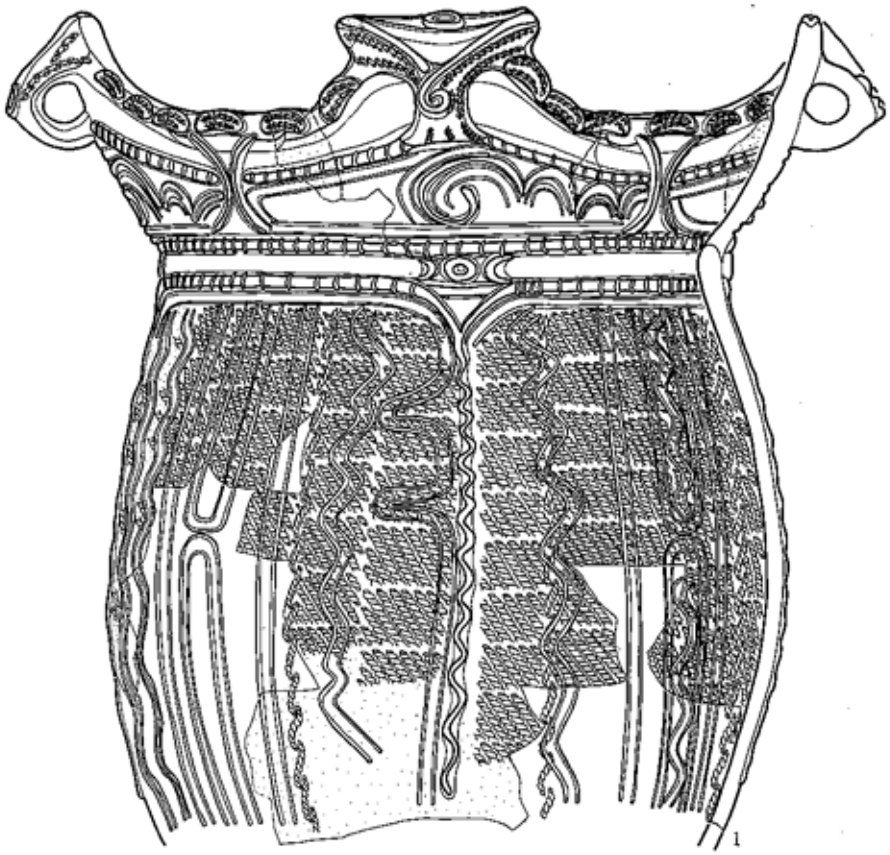
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CL85区・5層	深鉢・E(IIa(?))3	口縁部：縄状沈線文	191
2	CL85区・5層	深鉢・D(I)1a	口縁部：平縁，横位平行沈線文，縄文（LR），胴部：縄文（LR）	191
3	CL85区・5層	深鉢・D(IIa)2	口縁部：突起のつく波状縁，沈線文，三角形の剥去（内面）	191
4	CL85区・5層，5層上面	深鉢・D(IIc2)1a	口縁部：波状縁，縦位対弧文（波頂部），区画隆線文，隆線に沿う沈線文，波状沈線文，胴部：「Y」字状隆線文，縄文（LR）	29−1
5	CL85区・5層	深鉢・O1	胴部：弧状区画隆線文，半截竹管による刺突文（隆線上），半截竹管による隆線に沿う平行沈線文，縄状部中（?）（剥落）	191
6	CL85区・5層	浅鉢・A6	胴部：横位隆帯，刺突文（隆帯上），胴部：無文	191
7	CL85区・5層	浅鉢・A6	口縁部：連弧状隆付文（上端），縦位押圧縄文（LR）（下端），胴部：弧状区画隆線文（摩滅）	191

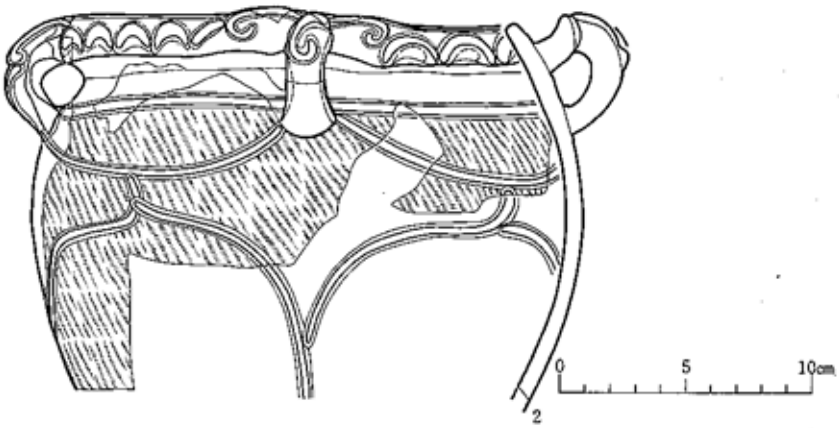
第327図　東側遺物包含層出土土器（CL85区・5層）



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CL85区・5層上面	深鉢・K6	口縁部：平縁，横位平行押圧縄文（LR）	192
2	CL85区・5層上面	深鉢・E(Ⅰ)1a	口縁部：波状縁，口縁に沿う押圧縄文（RL），弧状押圧縄文（RL）	192
3abc	CL85区・5層上面	深鉢・D(Ⅱc2)4c	口縁部：波状縁，横位押圧縄文（LR），区画隆線文，渦巻状隆線文，隆線に沿う押圧縄文（LR）	192
4	CL85区・5層上面	深鉢・E(Ⅰ)1a	口縁部：波状縁，横位平行押圧縄文（RL）	192
5	CL85区・5層上面	深鉢・D—	口縁部：波状縁，口縁に沿う隆線文，隆線に沿う押圧縄文（RL），縄文（RL）	192
6	CL85区・5層上面	深鉢・N6a	口縁部：平縁，区画隆線文	192
7	CL85区・5層上面	深鉢・—	口縁部：波状縁，縦位刺突文（波頂部），（刺器）	192
8	CL85区・5層上面	深鉢・W4	頸部：半截竹管による刺突文，胴部：半截竹管による弧状平行沈線文，縄文（LR）	192
9	CL85区・5層上面	浅鉢・A3e	口縁部：平縁，横位平行隆線文，連弧状沿行文（上端），渦巻状圧痕（隆線上），押圧縄文（LR），胴部：縄文（LR）	192
10	CL85区・5層上面	浅鉢・A6	口縁部：平縁，横位隆線文，渦巻状圧痕（隆線上），口縁に沿う沈線文（内面）	192

第328図　東側遺物包含層出土土器（CL85区・5層上面(1)）



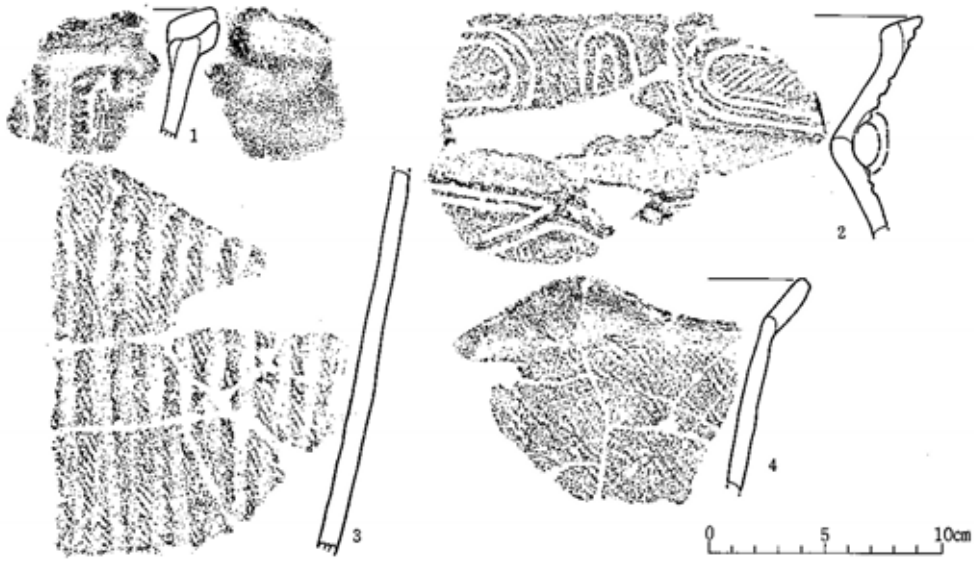


番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CL85区・5層上面、CL85区・4層	深鉢・E(IIc)3	口縁部：波状縁、円環状貼付文（波頂部上端）、横状把手、渦巻状隆線文（把手上）、押圧縄文（LR）（把手上）、連弧状貼付文、押圧縄文（LR）（貼付上）、区画隆線文、渦巻状隆線文、連弧状隆線文、「ｘ」字状隆線文、半截竹管による刺突文（隆線上）、隆線に沿う半截竹管による平行沈線文、胴部：横位平行隆線文「ｘ」字状隆線文、円環状貼付文、半截竹管による連続刺突文（隆線上）、胴部：「Y」字状隆線文、半截竹管による平行沈線文、縄文（LR）結束文（片節ループ）。	30−2
2	CL85区・5層上面、CL85区・4層	深鉢・O1	口縁部：平縁、横状把手、渦巻状隆線文、連弧状貼付文、胴部：相対する弧状隆線文、縄文（Lr）	28−5

第329図　東側遺物包含層出土土器（CL85区・5層上面(2)）

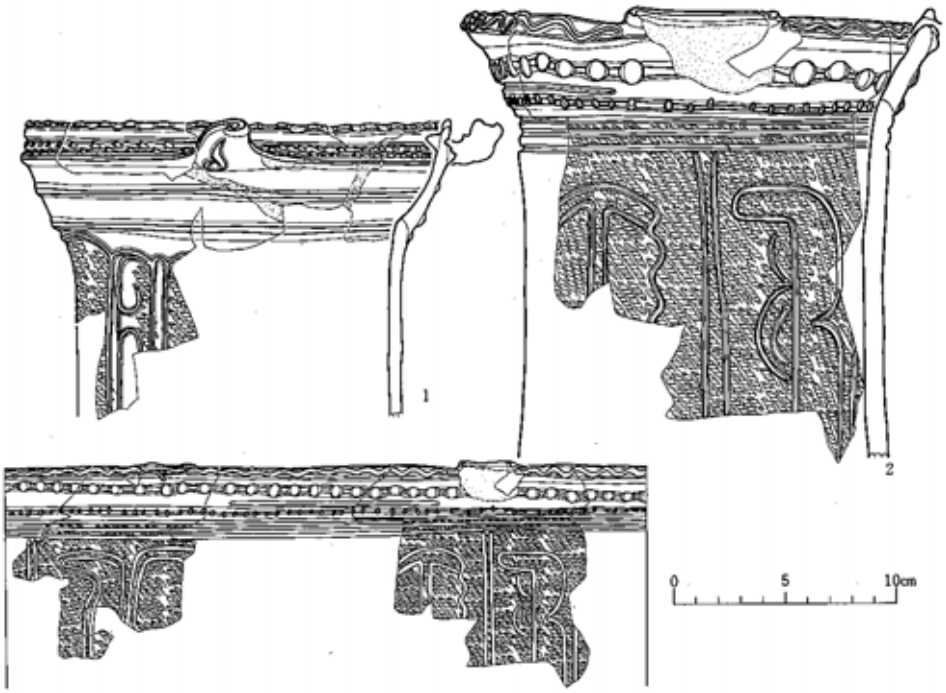
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CL85区・4層、CL85区・3層	探鉢・D(Ⅰ)8c	口縁部：平縁、楕円形貼付文、横位押圧縄文(LR)（貼付上）、区画隆線文、斜突文（隆線上）、隆線に沿う押圧縄文（LR）、横位押圧縄文（LR）、胴部：横位平行沈線文	193
2	CL85区・4層	探鉢・O－(?)	口縁部：突起をもつ平縁、横位隆帯（上端）、逆弧状貼付文（隆帯上）（胴部）	193
3a-e	CL85区・4層、CL85区・3層	探鉢・D(Ⅱc2)1c	口縁部：波状縁、「S」字状貼付文（波頂部）、区画隆線文、波状貼付文、連弧状貼付文、波状沈線文、隆線に沿う沈線文	193
4	CL85区・4層	探鉢・R(Ⅰ)3b	口縁部：小波状縁、半截竹管による斜突文、横位平行沈線文	193
5	CL85区・4層	探鉢・S11b	口縁部：平縁、無文、胴部：無文	193
6	CL85区・4層	浅鉢・A－	口縁部：波状縁、口縁に沿う隆線文、指頭状圧痕	193
7	CL85区・4層、CL85区・ピット1層	浅鉢・A6	口縁部：平縁、連弧状貼付文、押圧縄文（LR）（貼付文上）、横位隆線文、半截竹管による斜突文（隆線上）、縄文（LR）胎土文（砂粒ビー様）	193

第330図　東側遺物包含層出土土器（CL85区４層）



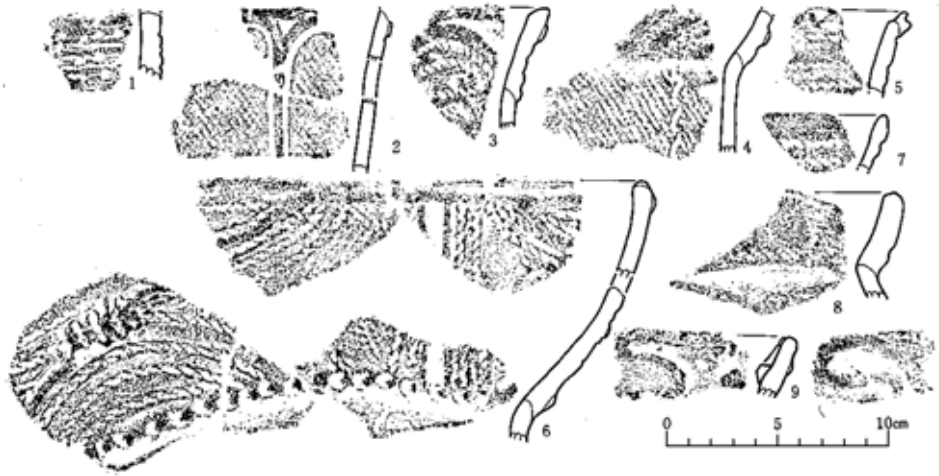
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CL85区・4層上面	探鉢・S－	口縁部：波状縁、「の」字状貼付文（波頂部）、横位押圧縄文（LR）、区画隆線文、押圧縄文(LR)（隆線上）、縄文（LR）	193
2	CL85区・4層上面	探鉢・F(Ⅰ)4	口縁部：平縁、楕円形沈線文、波状沈線文、縄文(LR)、胴部：横状突起、胴部：区画隆線文、隆線に沿う沈線文、縄文（LR）	193
3	CL85区・4層上面	探鉢・W4	胴部：ヘラ状工具によるナデツケ、縄文（LR）	193
4	CL85区・4層上面	探鉢・W2b	口縁部：波状縁、無文、胴部：縄文（LR）	193

第331図　東側遺物包含層出土土器（CL85区４層上面(1)）



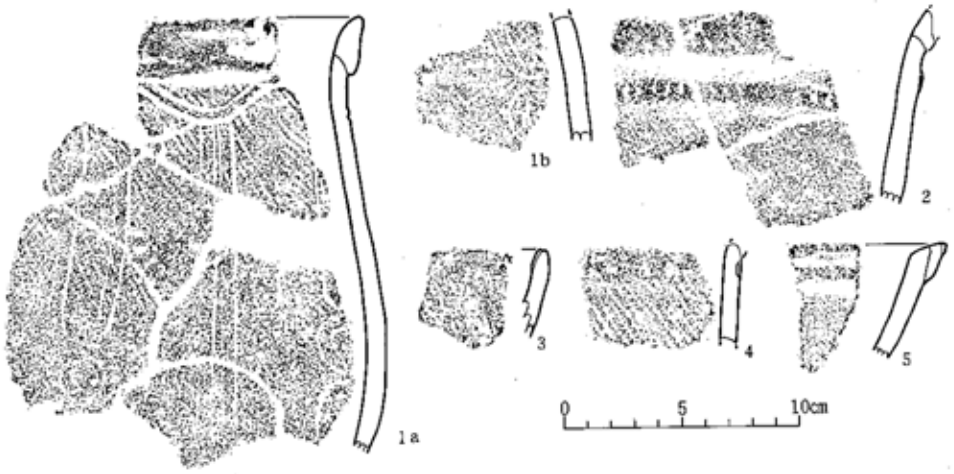
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CL85区・4層上面	深鉢・R(Ⅰ)3c	口縁部：平縁，渦巻状突起，口縁に沿う隆線文，交互刺突文，胴部：区画隆線文，縄文（LR）	28−4
2	CL85区・4層上面	深鉢・S5d	口縁部：平縁，「の」字状貼付文（「の」上端），（斜面），扁平状貼付文，横位平行隆線文，扁平状沈線（隆線上），刺突文（隆線上），胴部：横位平行沈線文，区画沈線文，縄文（LR）	30−1

第332図　東側遺物包含層出土土器（CL85区・4層上面(2)）



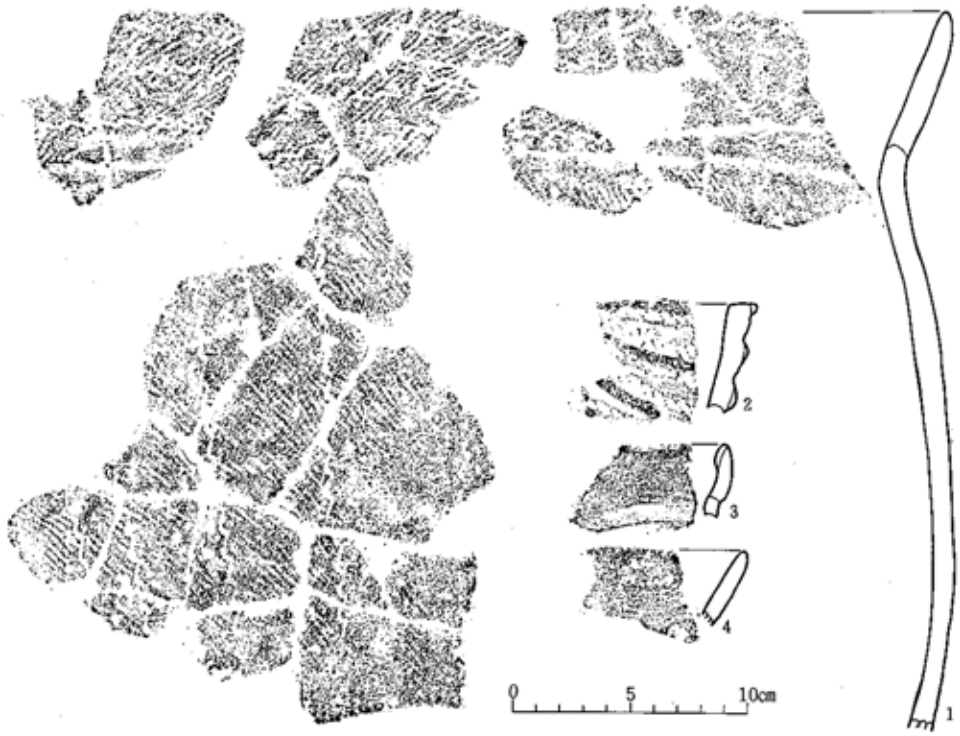
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CL85区・3層	深鉢・A−	胴部：横位平行沈線文，刺突文	194
2	CL85区・3層	深鉢・N9a	胴部：区画隆線文，隆線に沿う沈線文，縄文（LR）	194
3	CL85区・3層	深鉢・S−	口縁部：平縁，区画隆線文，隆線に沿う押圧（Lr），渦巻状押圧縄文（Lr）	194
4	CL85区・3層	深鉢・D(Ⅰ)10a	口縁部：区画隆線文，隆線に沿う押圧縄文（Lr），胴部：縄文（Lr）結節文（ア結び−原）	194
5	CL85区・3層	深鉢・E(Ⅰ)1a	口縁部：平縁，押圧縄文（LR）（上端），横位平行押圧縄文（LR）	194
6	CL85区・3層，CL86区・2層，CL85区・1層	深鉢・D(Ⅰ)7	口縁部：平縁，区画隆線文，楕円形貼付文，縦位押圧縄文（LR）（貼付上），隆線に沿う押圧縄文（Lr）半截竹管による刺突文，胴部：縄文（LR）	194
7	CL85区・3層	深鉢・E(Ⅰ)1a	口縁部：平縁，横位平行押圧縄文（LR）	194
8	CL85区・3層	深鉢・N5b	口縁部：波状縁，押圧縄文（LR）	194
9	CL85区・3層	深鉢・N−	口縁部：波状縁，「の」字状貼付文（波頂部内面），区画隆線文	194

第333図　東側遺物包含層出土土器（CL85区・3層(1)）



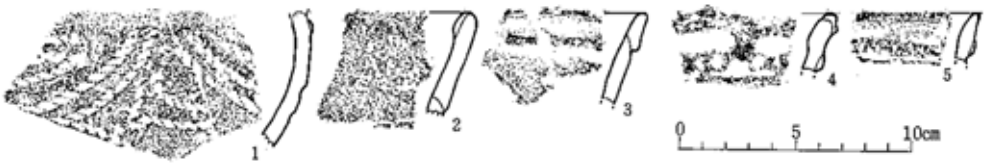
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1ab	CL85区・3層、CL85区・南ベルト・1層	深鉢・W4	口縁部：平縁、平筋竹管による刺突文（上段）、胴部：平筋竹管による平行沈線文、平筋竹管による蕨巻文 縄文（LR）	194
2	CL85区・3層	深鉢・D−	口縁部：縦位押圧縄文（LR）、頸部：横位隆帯、縦位押圧縄文（LR）（隆帯上）、胴部：摩滅	194
3	CL85区・3層	深鉢・W3b	口縁部：平縁、撚糸によるナデツケ、縄文（Lr）	
4	CL85区・3層	深鉢・W−	頸部：横位連続刺突文、縄文（LR）	
5	CL85区・3層	浅鉢・A−	口縁部：平縁、無文、胴部：無文	

第334図　東側遺物包含層出土土器（CL85区・3層(2)）



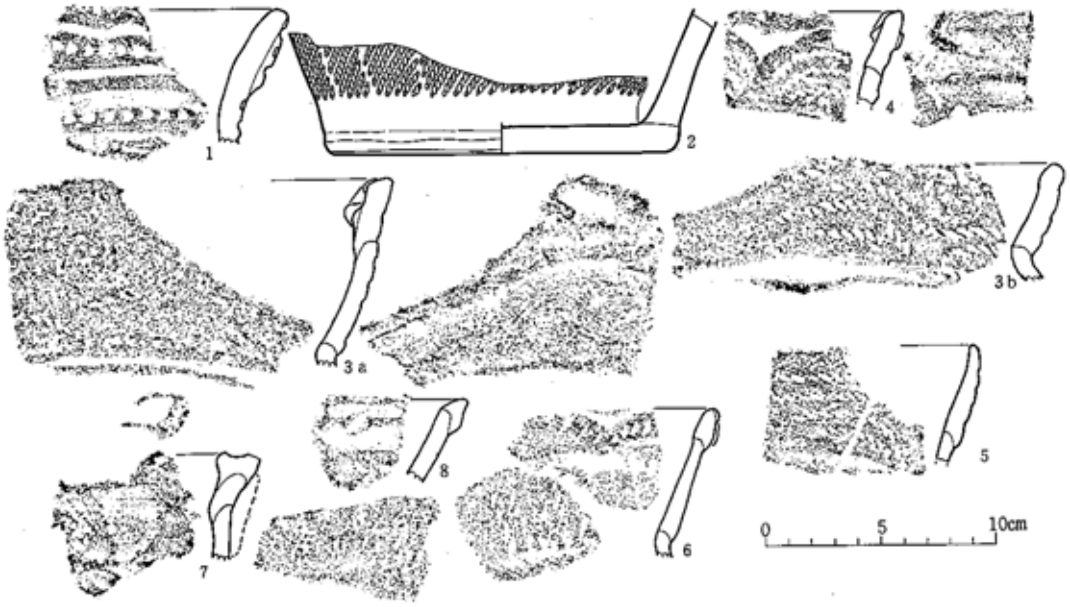
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CL85区・3層上面、CL85区・4層上面	深鉢・V3	口縁部：平縁、縄文（LR）結節文（片結び一類）、胴部：縄文（LR）結節文（片結び一類）	197
2	CL85区・3層上面	深鉢・E(1)8	口縁部：平縁、区画隆線文、隆線に沿う押圧縄文（LR）	197
3	CL85区・3層上面	深鉢・W5	口縁部：波状線、無文	197
4	CL85区・3層上面	浅鉢・W5	口縁部：平縁、無文	197

第335図　東側遺物包含層出土土器（CL85区・3層上面）



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CL85区・2層	深鉢・	口縁部：区画隆線文，隆線に沿う押圧縄文（LR），押圧縄文（LR）	197
2	CL85区・2層	深鉢・	口縁部：波状線，縄文（RL）結節文（片結び一結）	197
3	CL85区・2層	深鉢・	口縁部：平線，無文，胴部：無文	197
4	CL85区・2層	深鉢・	口縁部：平線，連弧状貼付文，連弧状押圧縄文（貼付上），「メ」字状隆線文，横位隆線文，平截竹管による刺突文（隆線上）	197
5	CL85区・2層	深鉢・	口縁部：平線，無文，頸部：横位隆帯，縦位押圧縄文（LR），胴部：横位沈線文	197

第336図　東側遺物包含層出土土器（CL85区・2層）

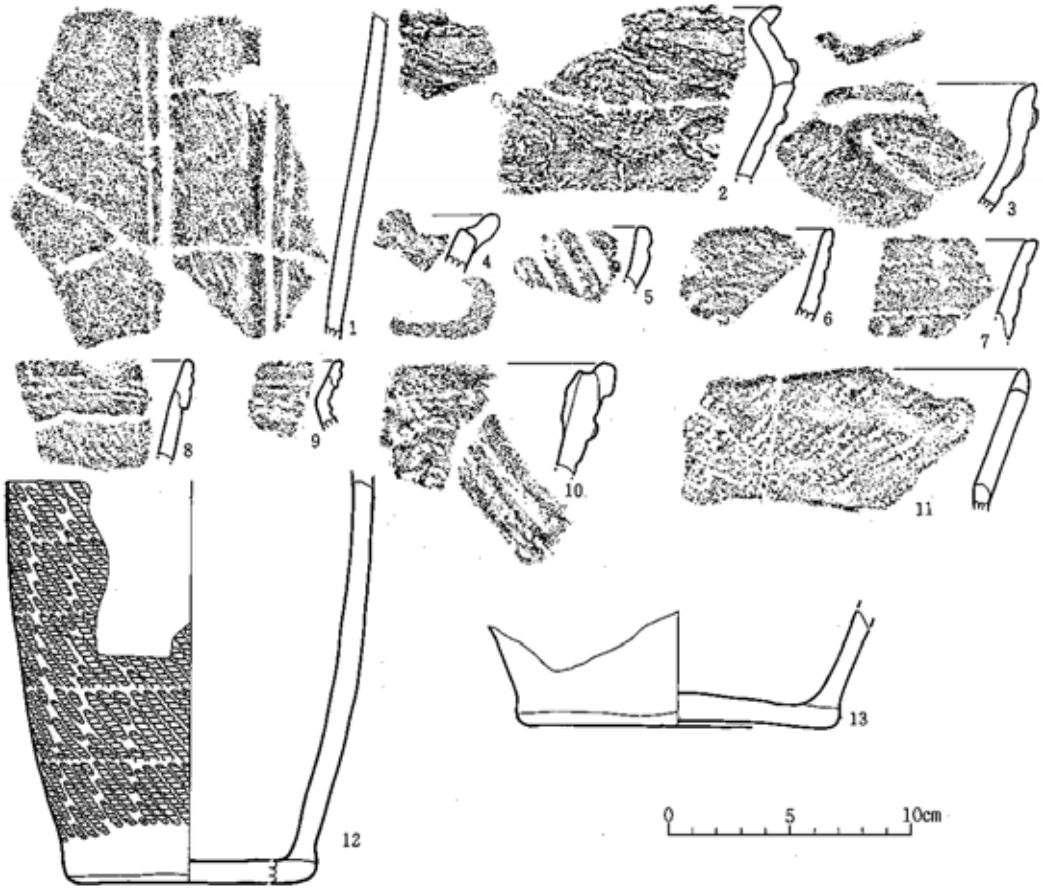


番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CL85区・1層	深鉢・A－	口縁部：平線，波状沈線文，横位沈線文，刺突文，頸部：横位平行沈線文，刺突文	197
2	CL85区・1層	深鉢・－	胴部：縄文（LR）底部：網代（1－1）	197
3a,b	CL85区・1層	深鉢・D(IIb)－	口縁部：波状線，「の」字状貼付文（波頂部），口縁に沿う押圧縄文（LR），渦巻状押圧縄文（LR），連弧状押圧縄文（LR）	197
4	CL85区・1層	深鉢・S－	口縁部：波状線，「の」字状貼付文（波頂部），弧状区画隆線文，隆線に沿う押圧縄文（LR）	197
5	CL85区・1層	深鉢・E(I)1a	口縁部：平線，口縁に沿う押圧縄文（LR），連弧状押圧縄文（LR）	197
6	CL85区・1層	深鉢・－	口縁部：平線，連弧状貼付文（上端），縦位押圧縄文（LR）（貼付上），縦位押圧縄文（LR）	197
7	CL85区・1層	深鉢・D(I)－	口縁部：波状線，「の」字状貼付文，（波頂部），楕状把手（？）（剥落），縄文（LR），胴部：区画隆線文	197
8	CL85区・1層	深鉢・－	口縁部：平線，指頭状圧痕	197

第337図　東側遺物包含層出土土器（CL85区・1層）

い「く」字状にくびれる器形である。8は複合口縁部に文様が構成されている。

第338図11：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部は外傾する器形と思われる。地文として、



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CL85区・北ベルト2層	深鉢・－	胴部：懸垂隆線文，隆線に沿う沈線文，縄文（LR）	198
2	CL85区・北ベルト2層	深鉢・L5	口縁部：平縁，相対する半円形区画隆線文，隆線に沿う押圧縄文(RL)，横巻状押圧縄文(RL)，胴部：縄文（RL），結節文（片結び－原）	198
3	CL85区・北ベルト2層	深鉢・D(Ⅱb)－	口縁部：波状縁，「の」字状貼付文（波頂部），区画隆線文，隆線に沿う押圧縄文（RL），横巻状押圧縄文（RL）	198
4	CL85区・南ベルト1層	深鉢・－	口縁部：波状縁，円形竹管による連続刺突文	198
5	CL85区・南ベルト1層	深鉢・D(Ⅰ)－？	口縁部：平縁，斜位沈線文	198
6	CL85区・南ベルト1層	深鉢・D(Ⅰ)5a	口縁部：平縁，横位平行押圧縄文（LR），連弧状押圧縄文（LR）	198
7	CL85区・南ベルト1層	深鉢・S5a	口縁部：平縁，横位平行押圧縄文（LR－結節部(片結び－原)），半截竹管による刺突文（下端）	198
8	CL85区・南ベルト1層	深鉢・S5a	口縁部：平縁，横位平行押圧縄文（LR），胴部：縄文（LR）	198
9	CL85区・南ベルト1層	深鉢・E(Ⅰ)1a	口縁部：平縁，横位平行押圧縄文（Lr），頸部：横位平行押圧縄文（RL）	198
10	CL85区・南ベルト1層	深鉢・D(Ⅱc2)4c	口縁部：波状縁，「の」字状貼付文（波頂部），区画隆線文，隆線に沿う押圧縄文（LR）	198
11	CL85区・南ベルト1層	深鉢・W3b	口縁部：小波状部をもつ平縁，縄文（LR）結節文（片結び－原）	198
12	CL85区・南ベルト1層	深鉢・－	胴部：縄文（LR）底部：摩滅のため不明（無文か？）	
13	CL85区・南ベルト1層	深鉢・－	口縁部：無文（ナデ），底部：網代（2－4任意）	

第338図　東側遺物包含層出土土器（CL85区ベルト，2層・1層）

縄文、結節文が施されている。

ＣM85 区

第 6 層上面：第 339 図 1

第 339 図 1：頸部がゆるい「く」字状にくびれ口縁部は算盤玉状を呈し、口縁端部が短く外傾する器形である。口縁内傾部に交互刺突帯、楕円形文が構成されている。

第 5 層：第 339 図 2～11

第 339 図 2～4：頸部がゆるやかに外反し、口縁部が肥厚して外傾する器形である。2 の口縁部には長方形の区画の中に弧状文が描かれている。

第 339 図 5～8：頸部がゆるい「く」字状にくびれ、口縁部はわずかに内弯気味に外傾している。いずれも波状縁をなし、隆線によって区画文を施した後に、沈線文や押引き文、交互刺突文が施されている。

第 339 図 9：口縁部は複合口縁状をなしている。無文である。

第 339 図 10～11：頸部で「く」字状につよくくびれ、口縁部が短く外傾し、胴部が膨む器形である。11 は交互刺突帯、連弧文が胴部に構成されている。

第 339 図 12：浅鉢形土器である。口縁部には縄文が施されている。

第 5 層上面：第 340 図～第 341 図

第 340 図 1～2：頸部がゆるやかに外反し、口縁部が肥厚して外傾する器形である。1 は口縁部に半截竹管による刺突文、胴部に半截竹管による平行沈線文が施されている。

第 340 図 3～4：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部はわずかに内弯しながら外傾する器形である。3 の口縁部は「C」字状貼付文と横位平行沈線文、刺突文によって文様が構成され、4 は口縁に沿う沈線文と矢羽根状沈線文が施されている。

第 340 図 5～8：頸部がゆるい「く」字状にくびれ、口縁部がわずかに内弯気味に外傾する器形と思われる。5 の口縁部には横位平行沈線文、6～7 は区画隆線文、沈線文、8 は押引き文によって文様が構成されている。

第 340 図 9～10：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部が短く外傾し、胴部が膨む器形である。10 の頸部には「x」字状貼付文、胴部には懸垂区画隆線文が施されている。

第 341 図 1：胴部破片である。隆線文による方形状の区画文の中に弧状の沈線文、交互刺突文が施されている。

第 341 図 2～5：押圧縄文が施されている土器である。口縁部はいずれも外傾するものと思われる。

第 341 図 6～7：口縁部に複合口縁状をなしている。地文として縄文が施されている。

第4層：第342図～第344図

第342図1：頸部がゆるやかに外反し、口縁部が肥厚して外傾する器形である。波頂部には刻目文が施されている。

第342図2～3：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部は短く外傾し、胴部が膨む器形と思われる。半截竹管によって文様か施されている。

第342図4～6：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部が外傾する器形と思われる。4は口縁に沿う平行沈線間に円形竹管文が施されている。5～6は横位平行沈線間に鋸歯状文が構成されるものと思われる。

第342図7～12：頸部がゆるい「く」字状にくびれ、口縁部は内弯気味に外傾する器形と思われる。区画隆線文と沈線文によって文様が構成されている。

第342図13：口縁部は内弯している。交互刺突帯が設けられている。

第342図14：胴部破片である。横位隆線文と押引き文が施されている。

第343図1～3：胴部破片である。区画隆線文と沈線文によって文様が構成されている。

第343図4～6：頸部が「く」字状にくびれ、胴部が膨む器形と思われる。5は胴部に弧状の区画隆線文が施され、隆線に沿って沈線文、押圧縄文が施されている。

第343図7：口縁部破片である。横位平行沈線文が施されている。

第343図8～14：第344図1～2：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部が短く外傾して、複合口縁状を呈する器形と思われる。文様意匠は施されていない。

第343図15～20、第344図3～6：頸部がゆるい「く」字状にくびれ、口縁部にわずかに内弯しながら外傾する器形である。口縁部には弧状の区画隆線文と押圧縄文、弧状の押圧縄文、横位平行押圧縄文が施されている。

第344図7：頸部が「く」字状にくびれる器形と思われる。口縁部下端には指頭状圧痕が連続して施されている。

第344図8：頸部がゆるい「く」字状にくびれ、口縁部はわずかに内弯しながら外傾する器形である。口縁部には、横位平行隆線文と半截竹管による連続刺突文が施されている。

第3層：第345図

第345図1：頸部がゆるやかに外反し、口縁部は肥厚して外傾する器形である。口縁部には弧状文が描かれている。

第345図2：頸部が「く」字状につよくくびれ、口縁部は内弯気味に外傾する器形と思われる。波頂部には渦巻状の貼付文が付され、口縁部には沈線文、三角形の刺突文が施されている。

第345図3～4：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部は外傾する器形と思われる。地文とし

て、縄文結節文が施されている。

第 345 図 5〜9：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部はわずかに内弯しながら外傾する器形と思われる。弧状の隆線文と押圧縄文によって文様が構成されている。

第 345 図 10：胴底部資料である。胴部は方形状の区画沈線文と竹串状の施文具による。連続刺突文が施されている。

第 3 層上面：第 346 図

第 346 図 1：胴部〜口縁部にかけてゆるやかに外反する器形である。胴部には縄文が施されている。

第 346 図 2：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部は短く外傾する器形である。口縁部に押圧縄文が施されている。

第 346 図 3：口縁部破片である。口縁上部に連弧状貼付文が施されている。

第 2 層：第 347 図

第 347 図 1：頸部がつよくくびれ、胴部が膨む器形と思われる。区画隆線文、連弧状一渦巻状沈線文が施されている。

第 347 図 2〜5：頸部がゆるい「く」字状にくびれ、口縁部はわずかに内弯しながら外傾する器形と思われる。2 の口縁部には、弧状の隆線文・押圧縄文、2・5 の胴部には半截竹管による平行沈線文が描かれている。

第 1 層：第 348 図〜第 350 図

第 348 図 1：頸部がゆるやかに外反し、口縁部が肥厚して外傾する器形である。頸部には横位平行沈線文が施されている。

第 348 図 2：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部が外傾する器形と思われる。口縁部には半截竹管による連続刺突文・横位平行沈線文が施されている。

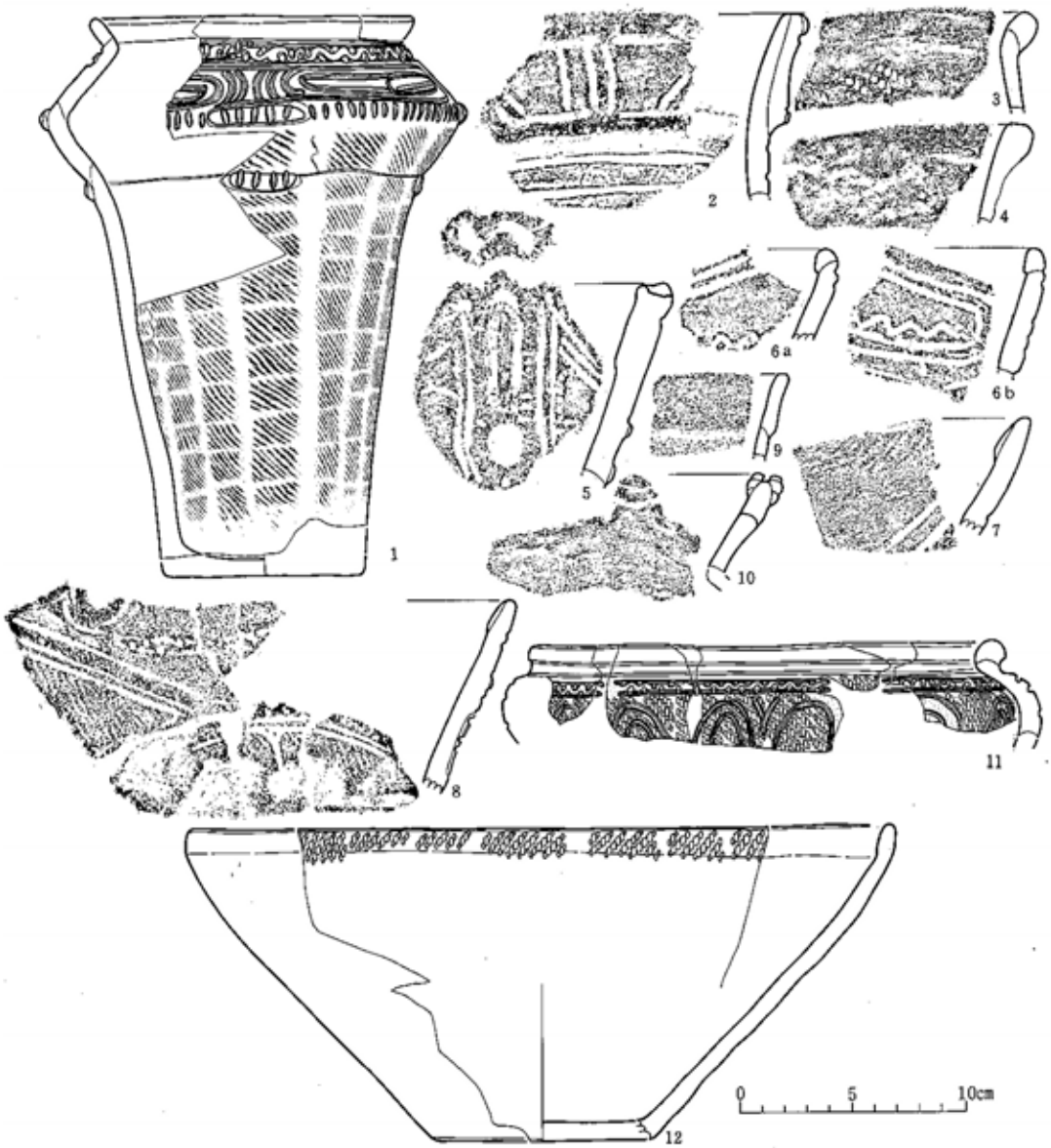
第 348 図 3：口縁部破片である。横位隆線文と短沈線文が施されている。

第 348 図 4：頸部破片である。方形状の区画隆線文と沈線文が施されている。

第 348 図 5〜9：頸部がゆるい「く」字状にくびれ、口縁部は内弯しながら外傾する器形である。5 が平縁で、6〜7 は波状縁を呈している。弧状の区画隆線文と沈線文、押引き文が施されている。

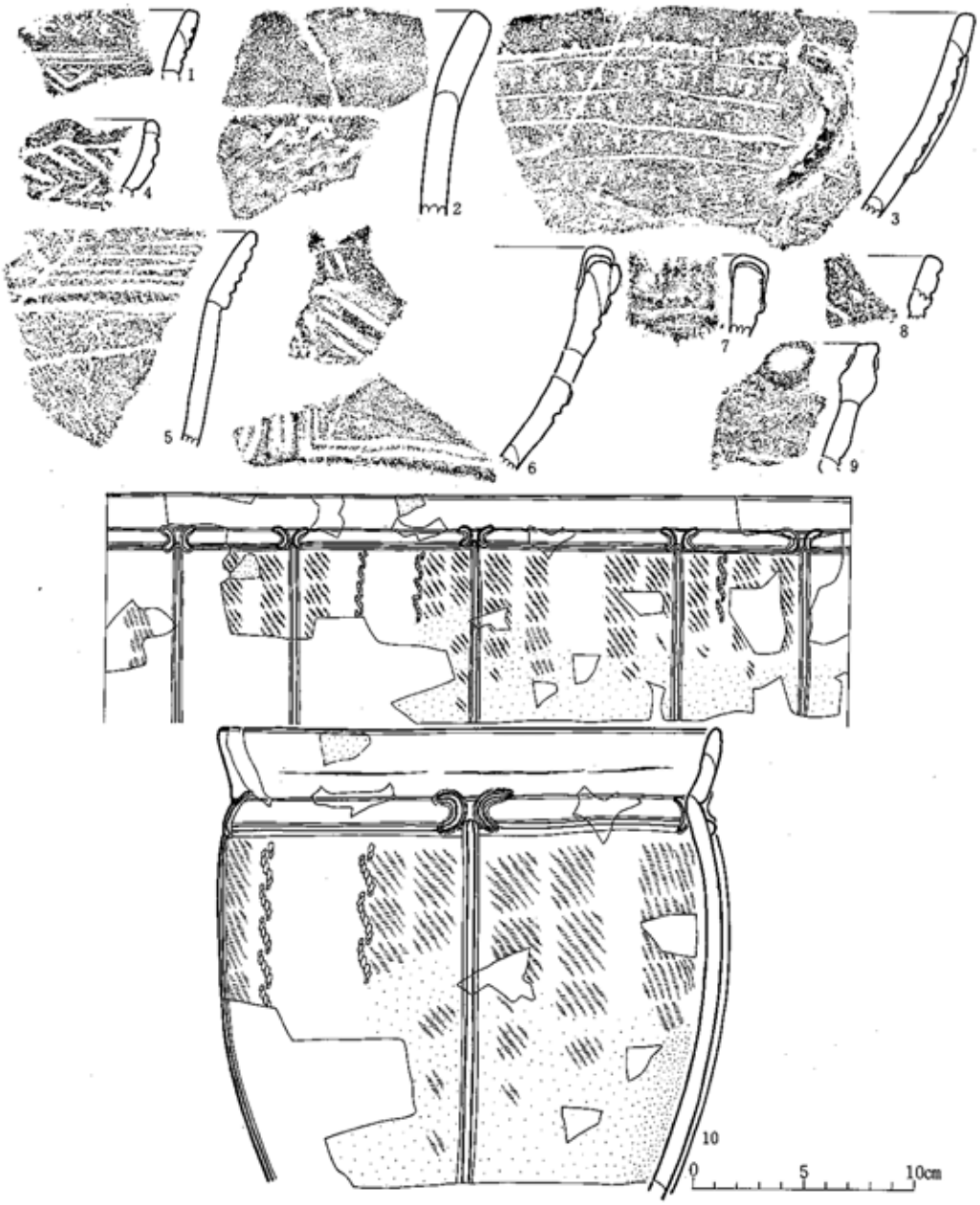
第 348 図 10：口縁部破片である。弧状の沈線文と三角形の彫去が施されている。

第 348 図 11：頸部がつよくくびれ、口縁部が短く外傾し、胴部が膨む器形と思われる。口縁



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CM85区・6層上面、CM85区・5層	深鉢・K3a	口縁部：平縁、無文（上段）、楕円形状沈線文、交互刺突文、楕円形貼付文、縦位刻目文、胴部：楕円形貼付文、縦位刻目文（貼付上）、縄文（LR）	31－5
2	CM85区・西ベルト5層	深鉢・A(Ⅰ)1－	口縁部：平縁、横位平行沈線文、縦位沈線文、弧状沈線文、胴部：横位平行沈線文、縄文（LR）	189
3	CM85区・5層	深鉢・A(Ⅰ)5b	口縁部：平縁、無文、胴部：縄文（RL）	189
4	CM85区・5層	深鉢・A(Ⅰ)5b(？)	口縁部：平縁、無文、胴部：（剥落）	189
5	CM85区・ベルト5層	深鉢・D(Ⅱc2)1a	口縁部：波状縁、区画隆線文、楕円形区画沈線文、波状沈線文	189
6a,b	CM85区・5層	深鉢・D(Ⅱc2(？))1a	口縁部：波状縁、口縁に沿う沈線文、楕円形区画沈線文、波状沈線文	189
7	CM85区・西ベルト5層	深鉢・D(Ⅱc2(？))1a	口縁部：波状縁、区画隆線文、隆線に沿う沈線文、縄文（LR）	189
8	CM85区・南ベルト5層	深鉢・D(Ⅱc2(？))1a	口縁部：波状縁、区画隆線文、隆線に沿う沈線文、交互刺突文、逆弧状沈線文、縄文（LR）	189
9	CM85区・西ベルト5層	深鉢・S11a	口縁部：平縁、無文、胴部：無文	189
10	CM85区・西ベルト5層	深鉢・N－(？)	口縁部：突起のつく平縁、楕円状貼付文（突起）	189
11	CM85区・南ベルト5層、CM85区・南ベルト4層、CP86区・4層	深鉢・L2	口縁部：平縁、無文、胴部：横位平行沈線文、交互刺突文、逆弧状沈線文、縄文（RL）	32－1
12	CM85区・南ベルト5層、CM85区・西ベルト4層	浅鉢・A8c	口縁部：平縁、縄文（LR）、胴部無文（内外面ともミガキ）	

第339図　東側遺物包含層出土土器（CM85区６層上面・５層）

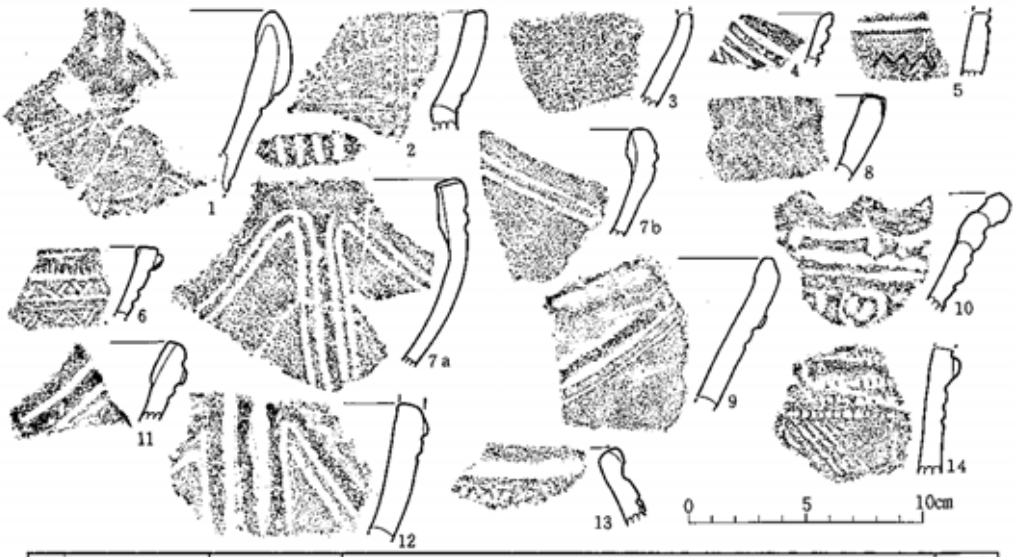


番号	地区・層位	器形・分類	文　様　の　特　徴	図版
1	CM85区・5層上面	深鉢・S3b	口縁部：平縁，平截竹管による刺突文，頸胴部：平截竹管による平行沈線文，縄文（RL＋r（2条））結節文（片結び一類）	189
2	CM85区・5層上面	深鉢・A(Ⅰ)5b	口縁部：平縁，無文，胴部：結節文	189
3	CM85区・5層上面	深鉢・E(Ⅰ)4c	口縁部：平縁，「C」字状貼付文，横位平行沈線文，刺突文	189
4	CM85区・5層上面	深鉢・D(Ⅰ)−	口縁部：小突起のつく平縁，口縁に沿う沈線文，斜位短沈線文（矢羽根状）	189
5	CM85区・5層上面	深鉢・D(Ⅰ)1a	口縁部：平縁，横位平行沈線文，頸部：横位沈線文，胴部：縄文（LL）結節文（片結び一類）	189
6	CM85区・5層上面	深鉢・D(IIc2)1a	口縁部：波状縁，縦位粘土紐貼付文（波頂部），縦位刻目文，区画隆線文，隆線に沿う沈線文	190
7	CM85区・5層上面	深鉢・D(IIc2)1a	口縁部：波状縁，刻目文（波頂部），刺突文，区画隆線文，隆線に沿う沈線文	189
8	CM85区・5層上面	深鉢・−	口縁部：波状縁，押引き文，沈線文	189
9	CM85区・5層上面	深鉢・W2b(？)	口縁部：突起のつく平縁，頸部：横位沈線文，	189
10	CM85区・5層上面	深鉢・N9a	口縁部：平縁，無文，頸部：「ｓ」字状貼付文，胴部：懸垂区画隆線文，縄文（Lr）結節文（両結び一類）	29－2

第340図　東側遺物包含層出土土器（CM85区・5層上面(1)）

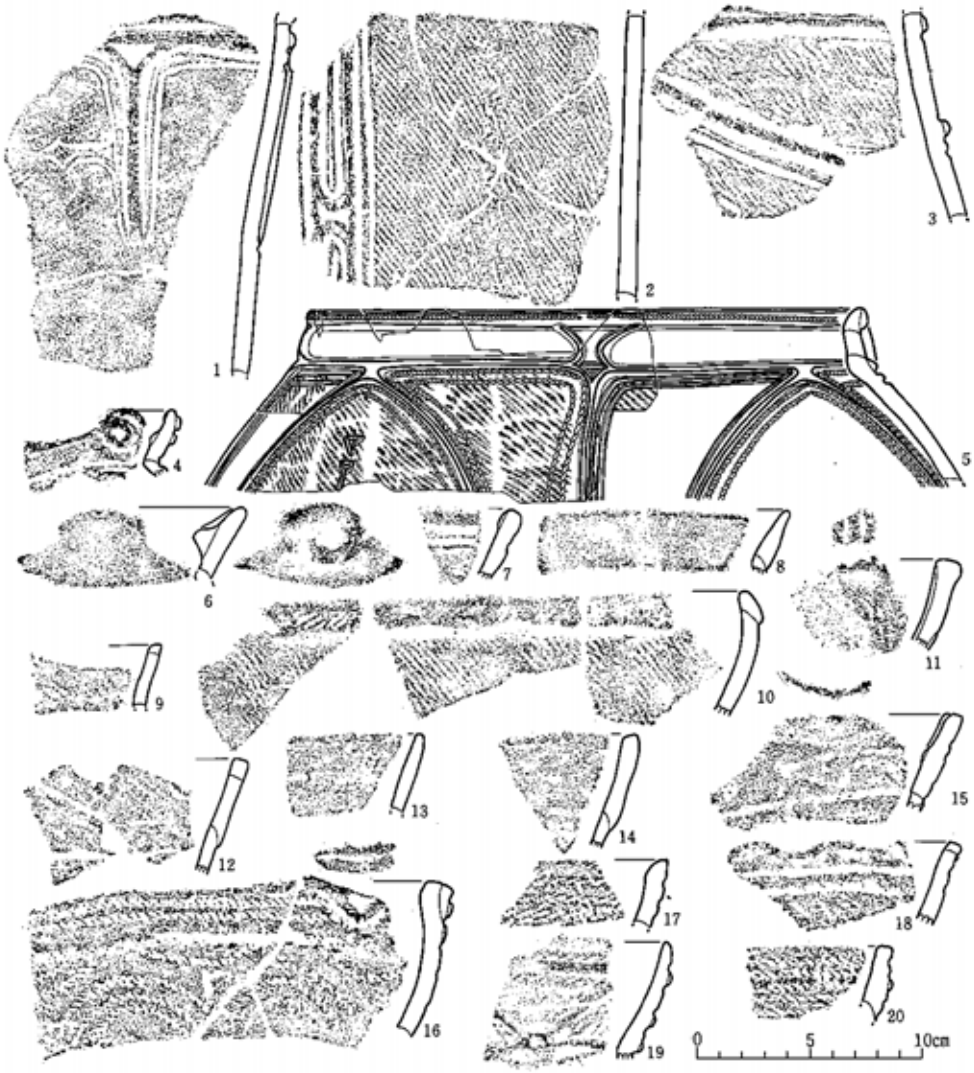
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CM85区・5層上面、CM85区・西ベルト4層	深鉢・F(II(?))1	口縁部；区画隆線文、隆線に沿う沈線文、交互刺突文、縄文（R ℓ）	190
2	CM85区・5層上面	深鉢・E(I)1a	口縁部；平縁、横位平行押圧縄文（LR）、縄文（LR）	190
3	CM85区・5層上面	深鉢・D(I(?))8c	口縁部；区画押圧縄文（LR）、横位隆線文、隆線に沿う押圧縄文（LR）	190
4	CM85区・5層上面	深鉢・S5a	口縁部；平縁、横位平行押圧縄文（RL）	190
5	CM85区・5層上面	深鉢・S5a	口縁部；平縁、横位平行押圧縄文（LR）	190
6	CM85区・5層上面	深鉢・V2	口縁部；平縁、無文、胴部；縄文（LR）結節文（片結び一連）	190
7	CM85区・5層上面	深鉢・W3b	口縁部；平縁、縄文（RL）	190

第341図　東側遺物包含層出土土器（CM85区・5層上面(2)）



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CM85区・4層	深鉢・D(II−)−	口縁部；波状縁、刻目文（波頂部）、円環状貼付文（剝落）、区画沈線文	190
2	CM85区・4層	深鉢・D(I)−	口縁部；平縁、区画沈線文、沈線に沿う半截竹管による刺突文	190
3	CM85区・4層	深鉢・−	胴部；横位平行押引き文、縄文（LR）（摩滅著しい）	190
4	CM85区・西ベルト4層	深鉢・D(II−)−	口縁部；波状縁、口縁に沿う平行沈線文、円形竹管文	190
5	CM85区・4層	深鉢・E(I(?))4c	口縁部；横位沈線文、横位貼付文、鍵角状貼付文	190
6	CM85区・西ベルト4層	深鉢・E(I)4c(?)	口縁部；平縁、口縁に沿う隆線文、縦位刻目文、横位平行沈線文、鍵角状沈線文	190
7a,b	CM85区・4層、CM85区・南ベルト5層	深鉢・D(IIc2)1a	口縁部；波状縁、縦位刻目文（波頂部）、区画隆線文、隆線に沿う沈線文、縄文（LR）	190
8	CM85区・4層	深鉢・D(IIc2)6	口縁部；波状縁、縦位刻目文（内外面）、縄文（摩滅）	190
9	CM85区・4層	深鉢・D(IIc2)1a	口縁部；波状縁、口縁に沿う隆線文、隆線に沿う平行沈線文	190
10	CM85区・西ベルト4層	深鉢・D(IIc2(?))1a	口縁部；波状縁、区画沈線文、隆線に沿う沈線文（内面）、渦巻状沈線文	190
11	CM85区・南ベルト4層	深鉢・D(IIc2(?))1a	口縁部；波状縁、口縁に沿う隆線文、隆線に沿う沈線文	190
12	CM85区・南ベルト4層	深鉢・D(IIc2(?))1a	口縁部；波状縁、区画隆線文、隆線に沿う沈線文	190
13	CM85区・4層	深鉢・U2	口縁部；平縁、横位平行沈線文、交互刺突文	190
14	CM85区・4層、CM85区・3層	深鉢・S4a or b	胴部；横位隆線文、隆線に沿う平行押引き文、縄文（LR）結節文（片結び一連）	190

第342図　東側遺物包含層出土土器（CM85区・4層(1)）

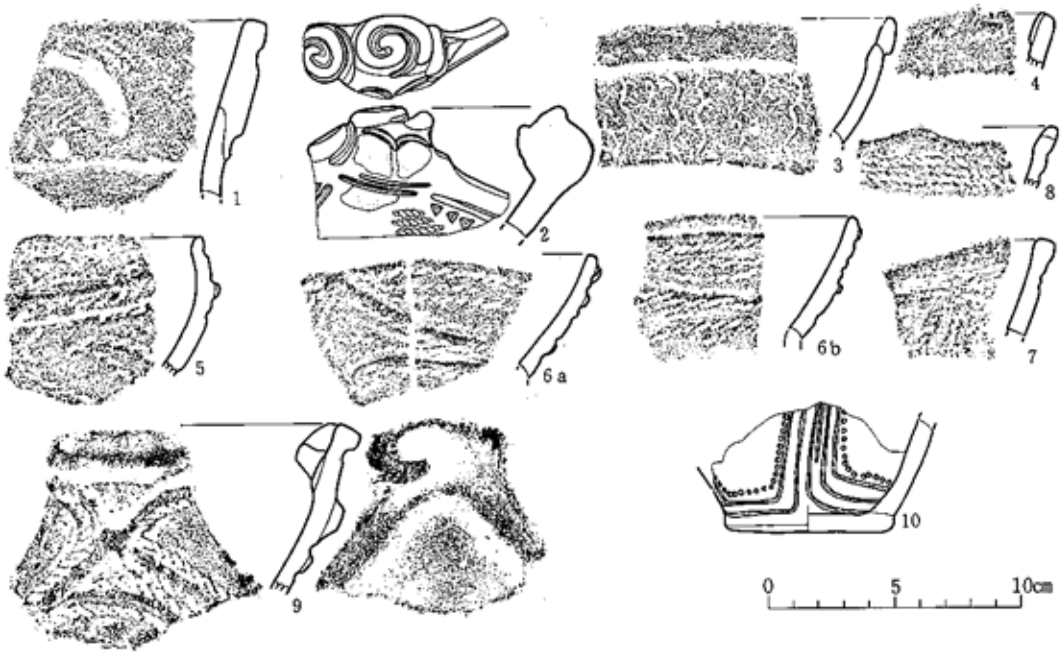


番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CM85区・西ベルト4層	深鉢・D−(?)	頸部：横位隆帯，胴部：「Y」字状隆線文，隆線に沿う平行沈線文，菱形状沈線文，縄文（RL）	195
2	CM85区・西ベルト4層，CM85区・西ベルト1層	深鉢・D−(?)	胴部：懸垂区画隆線文，隆線に沿う沈線文，縄文（LR）結節文（冷結び一類）	195
3	CM85区・西ベルト4層	深鉢・J1a	口縁部：区画隆線文，隆線に沿う沈線文，縄文（LL）	195
4	CM85区・4層	深鉢・N9a	口縁部：突起のつく平縁，無文，胴部：沈線文	195
5	CM85区・西ベルト4層	深鉢・N9a	口縁部：平縁，横位押圧縄文（Lr），胴部：「Y」字状隆線文，胴部：区画隆線文，楕円形貼付文，隆線に沿う押圧縄文（Lr），隆線に沿う沈線文，三角形沈線文，縄文（Lr）	196
6	CM85区・西ベルト4層	深鉢・N−	口縁部：波状線，「の」字状貼付文（波頂部内部），縄文（Lr）	195
7	CM85区・西ベルト4層	深鉢・D(Ⅰ)1a	口縁部：平縁，横位平行沈線文	195
8	CM85区・西ベルト4層	深鉢・W5	口縁部：平縁，無文	195
9	CM85区・西ベルト4層	深鉢・W3b	口縁部：波状線，縄文（RL）	195
10	CM85区・4層	深鉢・E(Ⅰ)11	口縁部：平縁，縄文（Lr）（復合部）：縄文（Lr）	195
11	CM85区・4層	深鉢・D(Ⅱc2)5	口縁部：波状線，縦位列目文（波頂部），縄文（LR）	195
12	CM85区・4層	深鉢・S10b	口縁部：突起のつく平縁，縄文（RL）	195
13	CM85区・4層	深鉢・W5	口縁部：平縁，無文	195
14	CM85区・4層	深鉢・S11a	口縁部：平縁，無文	195
15	CM85区・4層	深鉢・S−	口縁部：波状線，「の」字状貼付文（上端），区画押圧縄文（RL）	195
16	CM85区・西ベルト4層	深鉢・D(Ⅰ)6a	口縁部：突起のつく平縁，「V」字状貼付文，口縁に沿う押圧縄文（Lr）連弧状押圧縄文（Lr）	195
17	CM85区・西ベルト4層	深鉢・E(Ⅰ)1a	口縁部：平縁，横位平行押圧縄文（RL），縄文（RL）	195
18	CM85区・4層	深鉢・E(Ⅰ)1a	口縁部：小波状線，横位平行押圧縄文（LR），縄文（LR）	195
19	CM85区・4層	深鉢・E(Ⅰ)8c	口縁部：平縁，区画隆線文，楕円形貼付文，縦位押圧縄文（RL）（貼付上），隆線に沿う押圧縄文（RL）	195
20	CM85区・4層	深鉢・E(Ⅰ)1a	口縁部：平縁，横位平行押圧縄文（LR）	195

第343図　東側遺物包含層出土土器（CM85区・4層(2)）

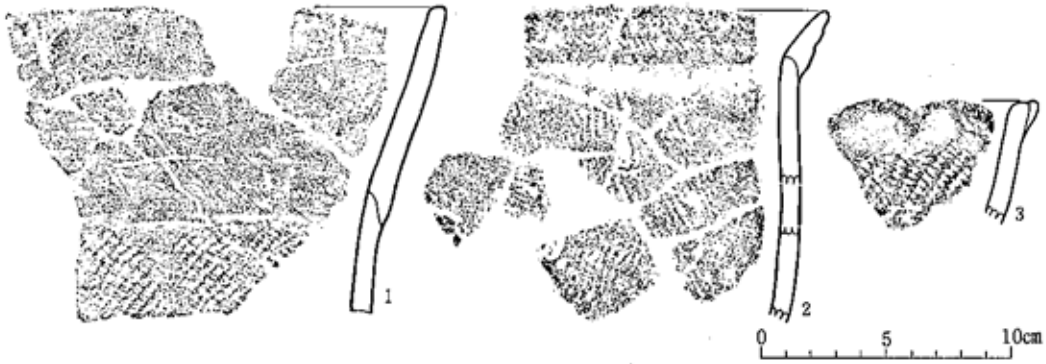
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CM85区・西ベルト4層、CL86区・西ベルト2層	深鉢・W5	口縁部：平縁、無文、胴部：無文（ナデ、ケズリ）	200
2	CM85区・西ベルト4層	深鉢・S10a	口縁部：平縁、縄文（RL）	196
3a,b	CM85区・4層	深鉢・D(IIa)一	口縁部：波状縁、三角形結束文（波頂部内面）、横位押圧縄文（RL）、横位平行押圧縄文（RL）、胴部：縄文（RL）結節文（片結び一連）	196
4	CM85区・4層	深鉢・S5a	口縁部：平縁、横位平行押圧縄文（RL）、胴部：縄文（RL）	196
5	CM85区・4層	深鉢・E(I)1a	口縁部：平縁、横位平行押圧縄文（RL）	196
6	CM85区・西ベルト4層上面・西ベルト4層上面	深鉢・E(I)1a	口縁部：横位平行押圧縄文（LR）、胴部：縄文（LR）結節文（片結び一連）	196
7	CM85区・西ベルト4層	深鉢・S9a	口縁部：平縁、指頭状押圧	196
8	CM85区・4層、CL82区・2層	深鉢・D(I)1f	口縁部：平縁、横位平行隆線文、半截竹管による刺突文（隆線上）	196

第344図　東側遺物包含層出土土器（CM85区・4層(3)）



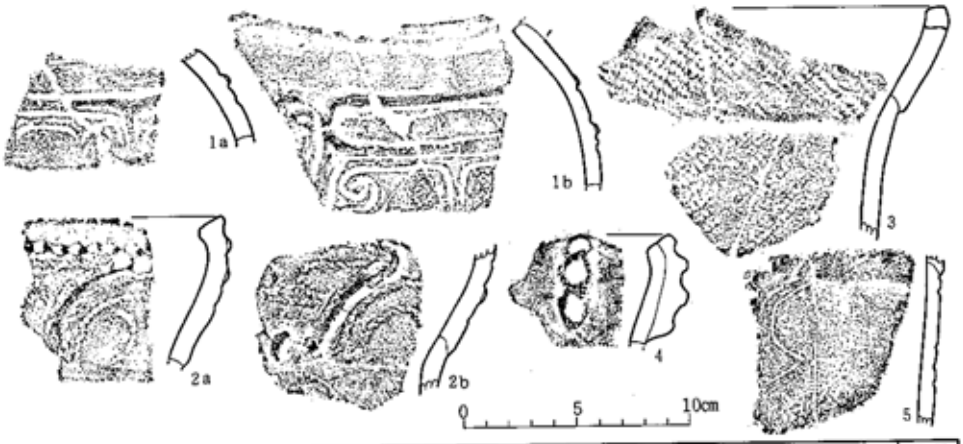
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CM85区・南ベルト3層	深鉢・A(Ⅰ)2(?)	口縁部：平縁，半円形沈線文，列突文，縄文（RL）	196
2	CM85区・西ベルト3層	深鉢・H2b(?)	口縁部：波状縁，渦巻状貼付文（波頂部），三角形の耳状（上端），横状把手（?），口縁に沿う沈線文，三角形の列突文，縄文（RL）	
3	CM85区・西ベルト3層	深鉢・E(Ⅰ)11	口縁部：平縁，縄文（Lr）結節文（片結び一環）	196
4	CM85区・西ベルト3層	深鉢・S10a	口縁部：平縁，縄文結節文（摩滅）	196
5	CM85区・南ベルト3層	深鉢・D(Ⅰ)8c	口縁部：平縁，区画隆線文，隆線に沿う押圧縄文（RL），渦巻状押圧縄文（RL）	196
6a,b	CM85区・3層	深鉢・D(Ⅰ)8c	口縁部：平縁，区画隆線文，楕円形貼付文，隆線に沿う押圧縄文（RL），渦巻状押圧縄文（RL）	200
7	CM85区・南ベルト3層	深鉢・D(Ⅱ－)－	口縁部：波状縁，区画押圧縄文（LR），渦巻状押圧縄文（LR）	200
8	CM85区・南ベルト3層	深鉢・E(Ⅰ)1a	口縁部：小突起のつく平縁，横位平行押圧縄文（LR）	196
9	CM85区・西ベルト3層	深鉢・D(Ⅱb)2	口縁部：波状縁，「の」字状貼付文（波頂部），区画隆線文，楕円形貼付文，隆線に沿う押圧縄文（LR）	200
10	CM85区・3層	深鉢・－	胴部：区画平行沈線文，沈線に沿う列突文，底部：ナデ	200

第345図　東側遺物包含層出土土器（CM85区・3層）



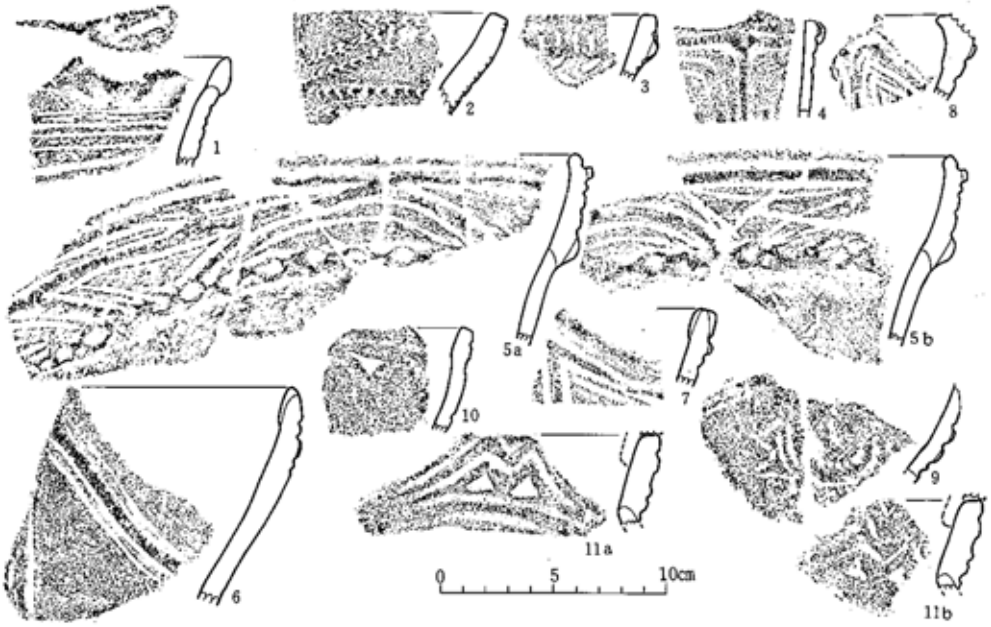
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CM85区・3層上面	深鉢・E(Ⅰ)11	口縁部：平縁，無文，胴部：縄文（RL）	200
2	CM85区・3層上面	深鉢・E(Ⅰ)1a	口縁部：平縁，横位平行押圧縄文（Lr），胴部：縄文（Lr）結節文（両結び一連）	200
3	CM85区・3層上面	深鉢・S－	口縁部：平縁，連弧状貼付文，縄文（LR），頸部：横位押圧縄文（LR）	200

第346図　東側遺物包含層出土土器（CM85区・3層上面）



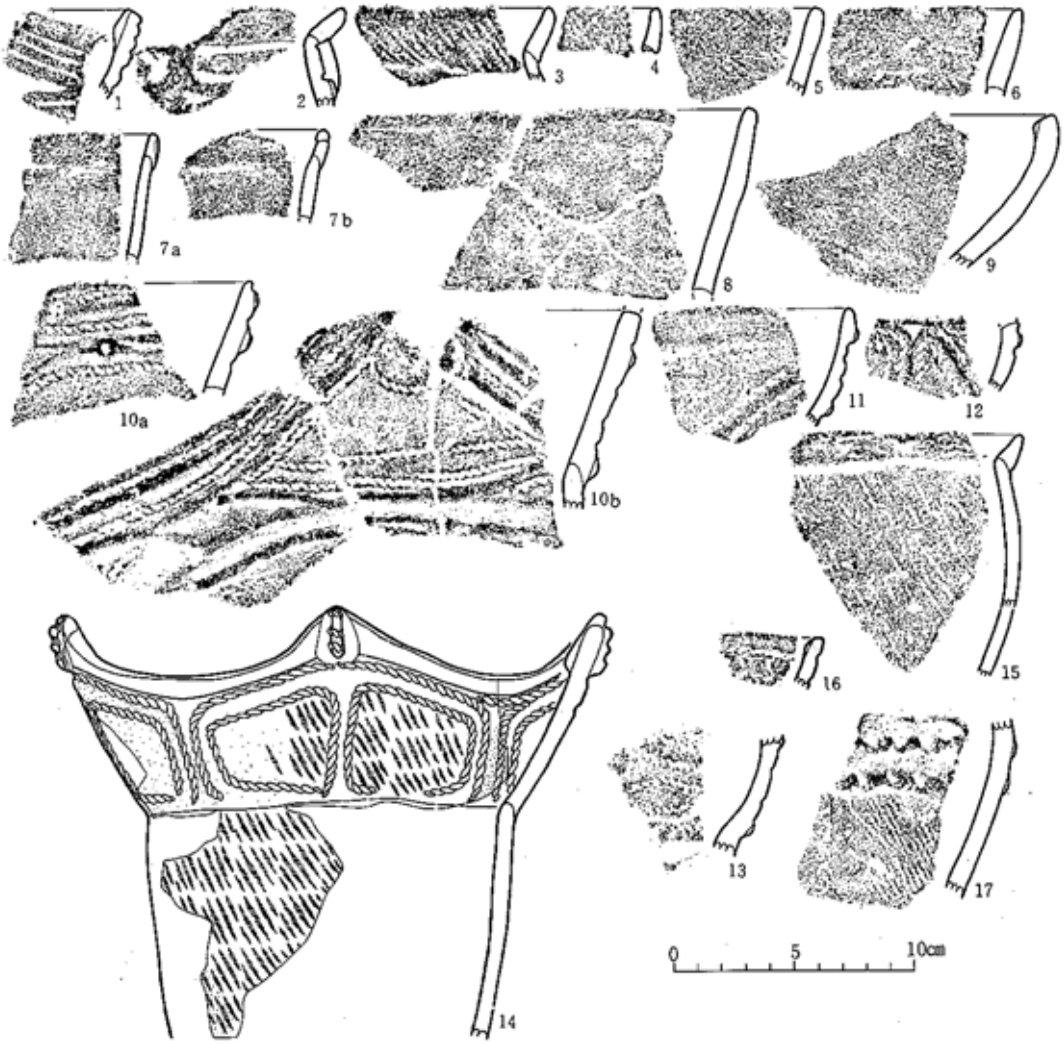
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1a,b	CM81区・2層、CL85区・1層、CM84区・1層	深鉢・N10	胴部：区画隆線文、隆線に沿う沈線文、渦巻状沈線文、刺突文、縄文（LR）	200
2a,b	CM85区・2層	深鉢・D(Ⅰ)10a	口縁部：平縁、口縁に沿う隆線文、半截竹管による刺突文（隆線上）、区画隆線文、隆線に沿う押圧縄文（LR）、渦巻状押圧縄文（LR）、胴部：半截竹管による平行沈線文	200
3	CM85区・2層	深鉢・W3b	口縁部：波状縁、縄文（RL）、胴部：縄文（RL）	200
4	CM85区・西ベルト2層	深鉢・D(Ⅱa)6a	口縁部：小突起のつく平縁、縦位隆線文、指頭状圧痕（隆線上）	200
5	CM85区・2層	深鉢・W4	胴部：半截竹管による平行沈線文、縄文（LR）　～※CM84区2層と同一	200

第347図　東側遺物包含層出土土器（CM85区・2層）



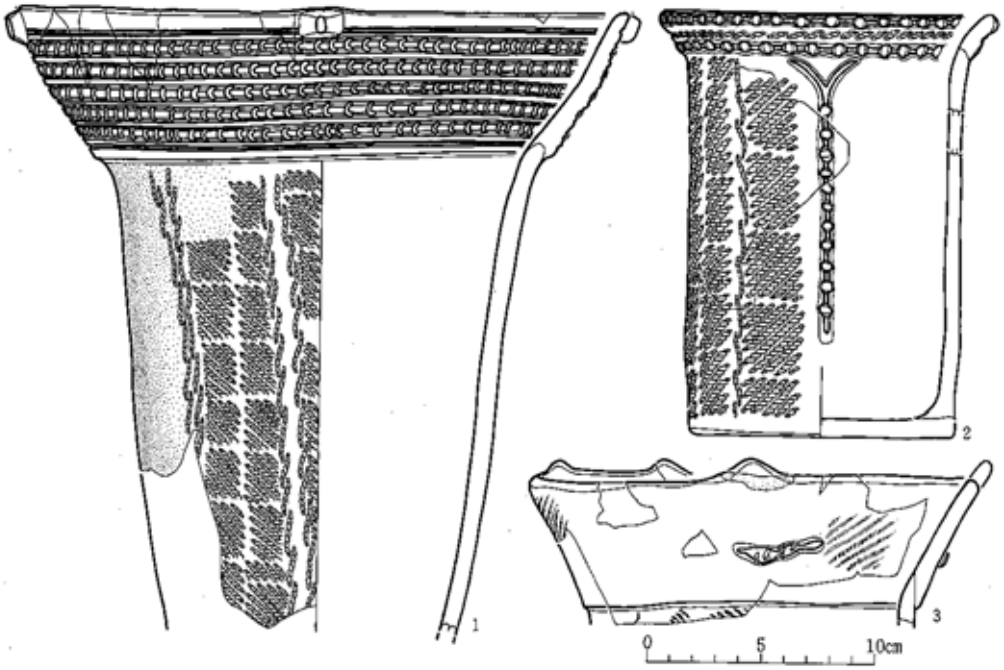
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CM85区・1層	深鉢・S1(?)	口縁部：突起のつく平縁、「U」字状貼付文、半截竹管による横位平行沈線文	201
2	CM85区・北ベルト1層	深鉢・N2	口縁部：平縁、半截竹管による連続刺突文・横位平行沈線文	201
3	CM85区・西ベルト1層	深鉢・D(Ⅰ)−	口縁部：平縁、口縁に沿う隆線文、縦位細沈線文、斜位細沈線文	201
4	CM85区・北ベルト1層	深鉢・S4b	胴部：区画隆線文、楕円形貼付文、隆線に沿う沈線文	201
5a,b	CM85区・北ベルト1層	深鉢・D(Ⅰ)8b	口縁部：平縁、半円形区画隆線文、隆線に沿う沈線文、指頭状圧痕、縄文（LR）結節文（同結び−逆）	201
6	CM85区・北ベルト1層	深鉢・D(Ⅱc2)1a	口縁部：波状縁、区画隆線文、隆線に沿う沈線文	201
7	CM85区・西ベルト1層	深鉢・D(Ⅱc2)1a	口縁部：波状縁、区画隆線文、隆線に沿う沈線文	201
8	CM85区・1層	深鉢・D(Ⅱc2)1a	口縁部：波状縁、区画隆線文、隆線に沿う沈線文	201
9	CM85区・西ベルト1層	深鉢・D(Ⅱc2)4a	口縁部：渦巻状隆線文、隆線に沿う押引き文、連弧状押引き文	201
10	CM85区・北ベルト1層	深鉢・S−(?)	口縁部：平縁、三角形の彫出、弧状沈線文	201
11a,b	CM85区・北ベルト1層	深鉢・N5a(?)	口縁部：波状縁、「の」字状貼付文（波頂部内面一剥落）、区画沈線文、三角形の彫出	201

第348図　東側遺物包含層出土土器（CM85区・1層(1)）



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CM85区・北ベルト1層	深鉢・N5a(?)	口縁部：波状縁，口縁に沿う平行沈線文，横位平行沈線文，三角形の刺突	202
2	CM85区・北ベルト1層	深鉢・N9a	口縁部：平縁，無文，頸部：楕状把手，胴部：区画隆線文，隆線に沿う沈線文	202
3	CM85区・北ベルト1層	深鉢・W3b	口縁部：平縁，縄文（RL）	202
4	CM85区・1層	深鉢・W3b	口縁部：平縁，縄文	202
5	CM85区・北ベルト1層	深鉢・S10a	口縁部：平縁，縄文（Lr）	202
6	CM85区・北ベルト1層	深鉢・S10b	口縁部：平縁，縄文（RL）	202
7a,b	CM85区・北ベルト1層	深鉢・S11a	口縁部：平縁，無文，胴部：無文（ナデ）	202
8	CM85区・西ベルト1層	深鉢・S11b	口縁部：平縁，無文	202
9	CM85区・西ベルト1層	深鉢・E(IIc)1(?)	口縁部：波状縁，無文	202
10a,b	CM85区・北ベルト1層	深鉢・D(IIc2(?))4b	口縁部：波状縁，口縁に沿う隆線文，区画隆線文，隆線に沿う押圧縄文（LR），横巻状押圧縄文（LR），横位隆線文，胴部：縄文（LR）	202
11	CM85区・西ベルト1層	深鉢・D(I)10a(?)	胴部：平縁，区画隆線文，押圧縄文（LR）	202
12	CM85区・西ベルト1層	深鉢・N4b(?)	口縁部：区画隆線文，隆線に沿う押圧縄文（LR）	202
13	CM85区・1層	深鉢・D(I(?))10a	口縁部：区画隆線文，隆線に沿う押圧縄文（LR）	202
14	CM85区・北ベルト1層	深鉢・D(IIa)−	口縁部：波状縁，縦位貼付文，横位押圧縄文(Lr)，区画押圧縄文(Lr)，縄文(Lr)，胴部：縄文(Lr)	31−4
15	CM85区・西ベルト1層	深鉢・V2	口縁部：平縁，無文，胴部：縄文（LR）	202
16	CM85区・1層	深鉢・D(I)1e	口縁部：平縁，横位平行押圧縄文（RL），縦位押圧縄文（RL）	202
17	CM85区・北ベルト1層	深鉢・J−(?)	胴部：横位隆帯，当瑞状圧痕（隆帯上），縄文（LR）結節文（二重結び一頭）	202

第349図　東側遺物包含層出土土器（CM85区・1層(2)）



番号	地区・層位	線形・分類	文様の特徴	図版
1	CM85区・北ベルト1層	深鉢・D(1)1f	口縁部：平縁、横状帯（上端）、横位平行隆線文、半截竹管による刺突文、胴部：縄文（LR）結節文（片結び一種）	32－2
2	CM85区・北ベルト1層	深鉢・R(1)3b	口縁部：平縁、横位平行隆線文、隆線区押圧（隆線上）、横位押圧縄文（RL）、胴部：「Y」字状懸垂区画隆線文、縄文（RL）結節文（片結び一種）	31－3
3	CM85区・北ベルト1層	深鉢・E(1)10	口縁部：小突起のつく平縁、横位貼付文、横位押圧縄文（Lr）、胴部：縄文（Lr）結節文	203

第350図　東側遺物包含層出土土器（CM85区・1層(3)）

部には山形状の沈線文と三角形の彫去が施されている。

第 349 図 1：口縁部破片である。山形状の沈線と三角形の彫去が施されている。

第 349 図 2：頸部が「く」字状につよくくびれ、口縁部が短く外傾する器形である。頸部には橋状把手が配されている。

第 349 図 3～8、15：口縁部が複合口縁状を呈する土器である。文様意匠は施されていない。

第 349 図 9：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部が内弯気味に外傾する器形と思われる。口縁部は無文である。

第 349 図 10～14、16：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部はわずかに内弯しながら外傾する器形と思われる。弧状の区画隆線文と押圧縄文、あるいは弧状の押圧縄文が口縁部に施されている。

第 349 図 17：胴部破片である。横位隆帯には指頭状圧痕が施されている。

第 350 図 1：頸部がゆるい「く」字状にくびれ、口縁部はわずかに内弯しながら外傾する器形である。口縁上部には、つまみ出された橋状部が配され、その下に半截竹管による横位連続刺突文が施されている。

第 350 図 2：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部は短く外傾する器形である。横位平行隆線文、押圧縄文が口縁部には施されている。胴部には懸垂区画隆線文が配されている。

第 350 図 3：頸部がゆるい「く」字状にくびれ、口縁部は外傾している。口縁部には横位貼付文が施されている。

C N85 区

第 6 層：第 351 図～第 353 図

第 351 図 1～4、第 352 図 1～4：頸部がゆるやかに外反し、口縁部は肥厚して外傾する器形である。口縁部には、弧状文、渦巻文、円形文、山形文が沈線文によって施され、胴部には半截竹管による平行沈線文が施されるものもみられる。

第 352 図 5～8：頸部がつよく「く」字状にくびれ、口縁部が外傾する器形である。胴部は膨むものと思われる。7 の口縁部には半截竹管による横位押引き文が、8 には連続刺突文か施されている。また 8 の胴部には相対する弧状文が沈線文によって構成されている。

第 352 図 9：胴底部資料である。底部には網代痕が残されている。

第 352 図 10：浅鉢形土器である。口縁部には円形貼付文と横位平行沈線文が施されている。

第 353 図 1：胴部から口縁部にかけて、ゆるやかに外反する器形である。地文として結束羽状縄文、結節文が施されている。

第 353 図 2～6：口縁部が複合口縁状を呈する土器である。2 の口縁部には横位平行押圧縄文が施されている。

第 5 層：第 354 図～第 356 図

第 354 図 1～4：頸部がゆるやかに外反し、口縁部が肥厚して外傾する器形と思われる。口縁部は沈線文によって文様が構成されている。

第 354 図 5：頸部で「く」字状にくびれ、口縁部は短く外傾する器形である。細い粘土紐によって文様が構成され、半截竹管による押引きが加えられている。

第 354 図 6：口縁部破片である。縄文が施されている。

第 354 図 7～9：頸部がゆるい「く」字状にくびれ、口縁部はわずかに内弯しながら外傾する器形と思われる。沈線文によって文様が施されている。

第 355 図 1～2：浅鉢形土器である。1 は斜位沈線文が 2 は内面に弧状沈線文と三角形の彫去が施されている。

第 355 図 3～8：頸部がゆるい「く」字状にくびれ、口縁部は内弯気味に外傾する器形である。7 はキャリパー状の器形を呈している。口縁部には区画隆線文と押圧縄文、あるいは指圧縄文のみによって文様が構成されている。

第 355 図 9〜12、第 356 図 1〜3：口縁部が複合口縁状を呈する土器である。

第 356 図 4：胴底部資料である。底部は無文である。

第 356 図 5〜6：無文の浅鉢形土器である。

第 5 層上面：第 357 図〜第 358 図

第 357 図 1：口縁部破片である。細い粘土紐によって文様が構成され、それを縁どるように沈線文が施されている。

第 357 図 2：胴部破片である。半截竹管による横位平行沈線文と三角形の彫去が交互に施されている。

第 357 図 3〜5：頸部がゆるく「く」字状にくびれ、口縁部が外傾する器形と思われる。3 は渦巻文・連弧文が隆線文と沈線文によって構成され、5 は口縁に沿って押引き文が多段に施されている。

第 357 図 6：口縁部は複合口縁状を呈し、半截竹管による連続刺突文が施されている。

第 357 図 7：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部が短く外傾し、胴部が膨む器形である。弧状の区画隆線文と沈線文、刺突文が施されている。

第 357 図 8〜11：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部が内弯しながら外傾する器形である。弧状の区画隆線文と押圧縄文によって文様が結成されている。

第 357 図 12：口縁部破片である。頸部には横位押圧縄文が施されている。

第 357 図 13〜16：口縁部が複合口縁状を呈する土器である。

第 358 図 1：頸部がゆるい「く」字状にくびれ口縁部は短く外傾し、胴部が膨む器形である。口縁部には横位平行押圧縄文が施されている。

第 358 図 2：口縁部は内弯し、キャリパー状の器形を呈している。相対する弧状区画隆線文が施されている。

第 358 図 3〜4：胴底部資料である。3 には、網代痕が残されている。

第 358 図 5：鉢形土器である。隆線文によって文様が構成されている。

第 357 図 17〜18、第 358 図 6：無文の浅鉢形土器である。

第 4 層：第 359 図〜第 360 図

第 359 図 1：胴部破片である。半截竹管によって平行沈線文が施されている。

第 359 図 2：頸部がゆるい「く」字状にくびれ、口縁部は外傾する器形である。波頂部の位置に 2 本の縦位貼付文、頸部隆帯か挽きれている。

第 359 図 3〜4：胴部破片である。3 は細い粘土紐の貼付によって、4 は弧状の沈線文によ

って文様が施されている。

第 359 図 5〜7：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部はわずかに内弯しながら外傾する器形と思われる。隆線文、沈線文によって文様が構成されている。

第 359 図 8：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部は短く外傾する器形である。口縁部は横位平行沈線文、胴部は弧状の区画沈線文が施されている。

第 359 図 9〜11：胴部破片である。9 は胴上部が押圧縄文、胴下部が沈線文によって文様が構成されている。

第 359 図 12〜18：頸部がゆるい「く」字状にくびれ、口縁部が外傾する器形と思われる。なお 18 の口縁部は胴部からほぼ直線的に外傾している。弧状の隆線文と押圧縄文、あるいは横位平行押圧縄文が口縁部に施されている。

第 359 図 19〜22：口縁部が複合口縁状を呈する器形と思われる。19 は縄文結節文が施されている。

第 360 図 1：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部が短く外傾する器形である。隆線文と沈線文によって文様が構成され、隆線上には半截竹管によって連続刺突文が施されている。

第 360 図 2：胴底部資料である。底部には網代痕が残されている。

第 360 図 3：浅鉢形土器である。「x」字状区画隆線文と押圧縄文が施されている。

第 4 層上面：第 361 図〜第 363 図

第 361 図 1：胴部破片である。半截竹管によって文様が施されている。

第 361 図 2：頸部破片である。「x」字状隆線文間に、円環状貼付文が施されている。

第 361 図 3：口縁部破片である。口縁に沿う隆線文と沈線文が施されている。貫通孔は焼成前の穿孔である。

第 361 図 4〜6：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部が外傾する器形である。押圧縄文によって文様が構成されている。

第 362 図 1：口縁部は複合口縁状を呈している。無文である。

第 362 図 2：口縁部は内弯し、キャリパー状の器形である。無文である。

第 362 図 3：頸部がつよく「く」字状にくびれ、口縁部は短く外傾し、胴部が膨む器形である。胴上部に弧状の区画隆線文、押圧縄文が構成されている。

第 363 図 1〜3：口縁部破片である。3 は横位平行押圧縄文間に「C」字状押圧縄文が連続して施されている。

第 363 図 4：浅鉢形土器である。口縁部には、「x」字状区画隆線文と半截竹管による連続刺突文が施されている。

第3層：第364図

第364図1：頸部がつよく「く」字状にくびれ、口縁部は内弯しながら外傾する器形である。波頂部には、橋状把手が付され、口縁部は円形及び山形の組みあわせ状況線文が施されている。

第364図2：口縁部破片である。口縁に沿う隆線文と沈線文が施されている。

第364図3〜4：口縁部は複合口縁状を呈している。口縁部は無文である。

第364図5〜9：頸部がゆるい「く」字状にくびれ、口縁部は内弯気味に外傾する器形である。隆線文、押圧縄文によって文様が構成されている。

第3層上面：第365図〜第366図

第365図1：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部は内弯しながら外傾する器形である。口縁に沿う沈線文と波頂部の位置に縦位沈線文が描かれている。

第365図2〜3、6、10：口縁部が複合口縁状をなす土器である。2の口縁部下端には、刺突文が連続して施されている。

第365図4〜5：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部は内弯気味に外傾する器形である。弧状文が施されている。

第365図7〜9：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部が外傾する器形と思われる。沈線文によって渦巻状、弧状文が施されている。

第365図11：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部が外傾する器形である。無文である。

第366図1：上面観が楕円形状を呈する浅鉢形土器である。底面には、笹の圧痕が残されている。

第2層：第367図

第367図1：頸部がゆるやかに外反し、口縁部は外傾している。縄文結節文が施されている。

第367図2〜3：口縁部破片である。弧状隆線文、縦位隆線文が貼付されている。

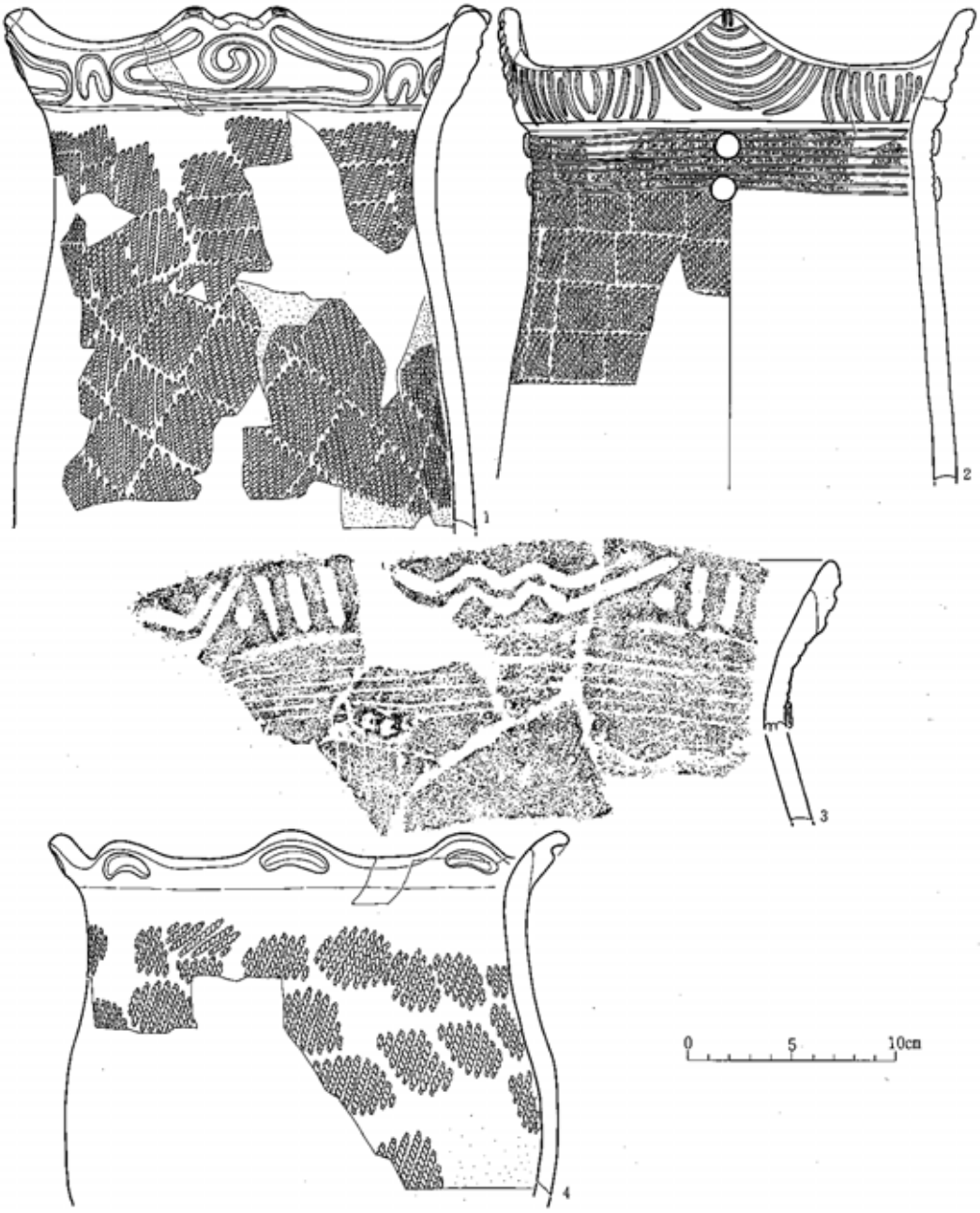
第367図4〜8、13：口縁部、胴部破片である。弧状の隆線文や押圧縄文が施されている。

第367図9〜11、14：口縁部、胴部破片である。弧状の隆線文や沈線文が施されている。

第367図12：口縁部破片である。無文。

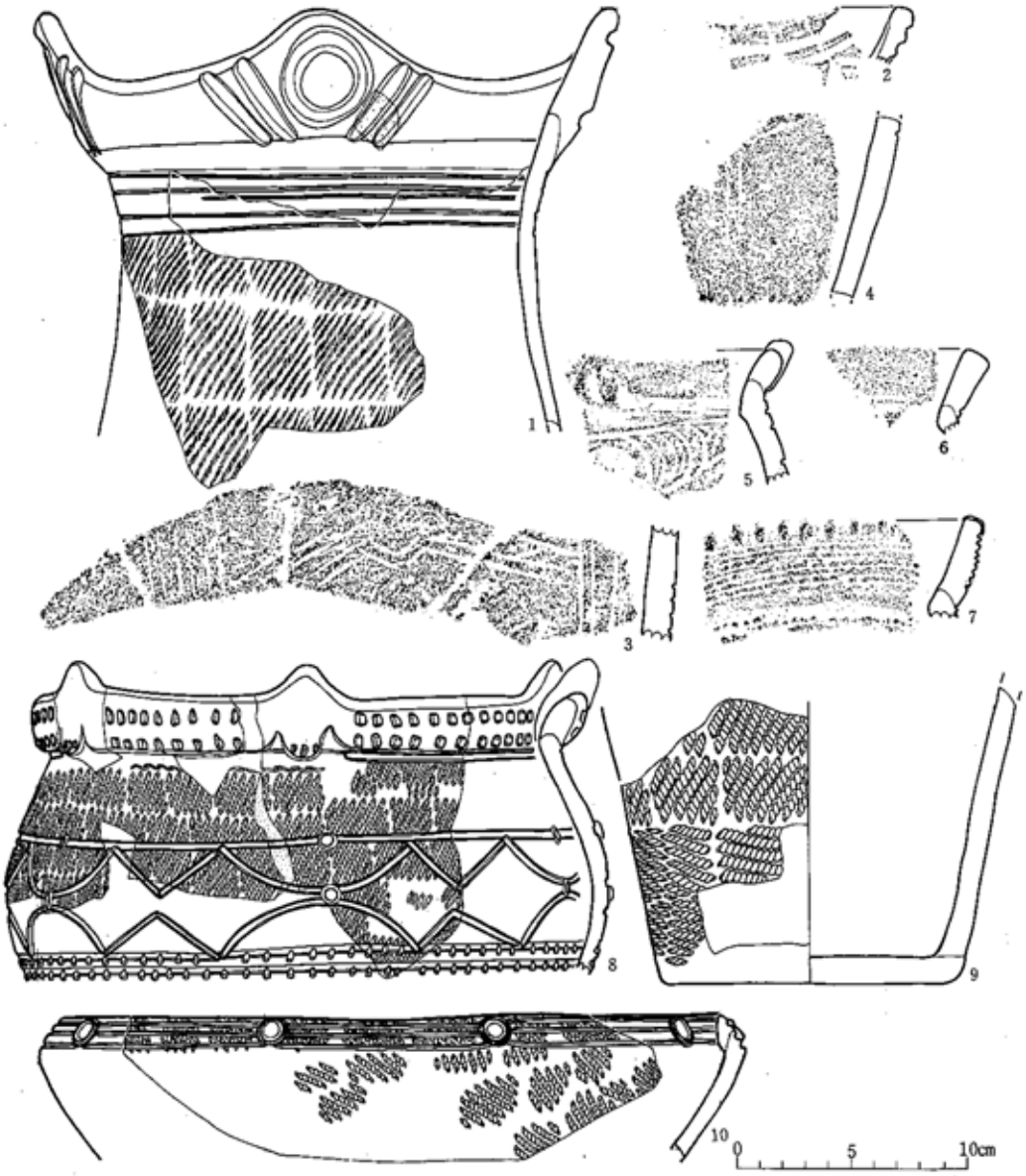
第1層：第368図

第368図1〜3：口縁部〜胴部破片である。3は波状縁を呈するものと思われる。



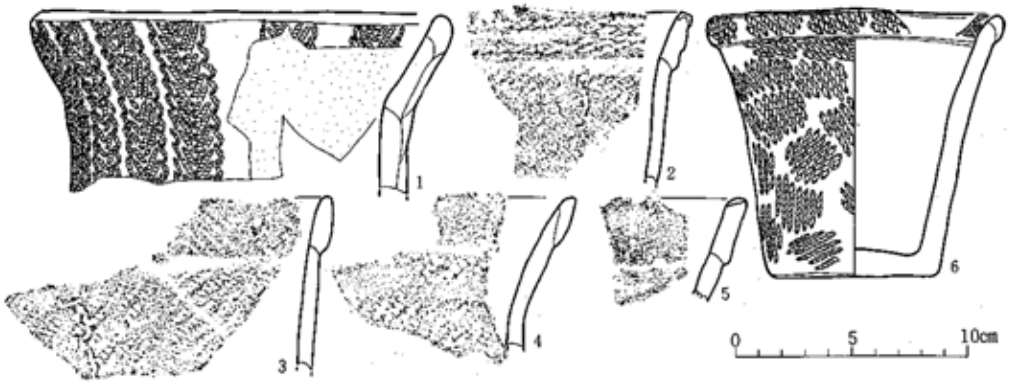
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CN85区・北ベルト6層、 CL81区・2層、 CL81区・2－3層、 CL81区・1層	深鉢・A(II)3	口縁部：波状線、円形の盲孔（波頂部）、渦巻状沈線文、区画沈線文、「∩」字状沈線文、胴部：縄文(RL)	31－6
2	CN85区・北ベルト6層、 CN85区・西ベルト6層、 CN86区・6層、 CN85区・西ベルト5層、 CP86区・西ベルト6層	深鉢・A(II)4	口縁部：波状線、縦位沈線文（波頂部）、円錐状沈線文、胴胴部：円形貼付文、半截竹管による平行沈線文、縄文（LR）	32－3
3	CN85区・6層、 CN85区・西ベルト5層	深鉢・A(I)1a	口縁部：平線、縦位沈線文、山形状沈線文、円形の盲孔、胴部：半截竹管による平行沈線文、弧状貼付文、半截竹管による乾燥文（貼付上）、縄文	203
4	CN85区・北ベルト6層、 CM84区・4層、 CM84区・3層上部、 CL84区・西ベルト1層	深鉢・A(II)4	口縁部：波状線、弧状沈線文、胴部：縄文（LR）	34－3

第351図　東側遺物包含層出土土器（CN85区・6層(1)）



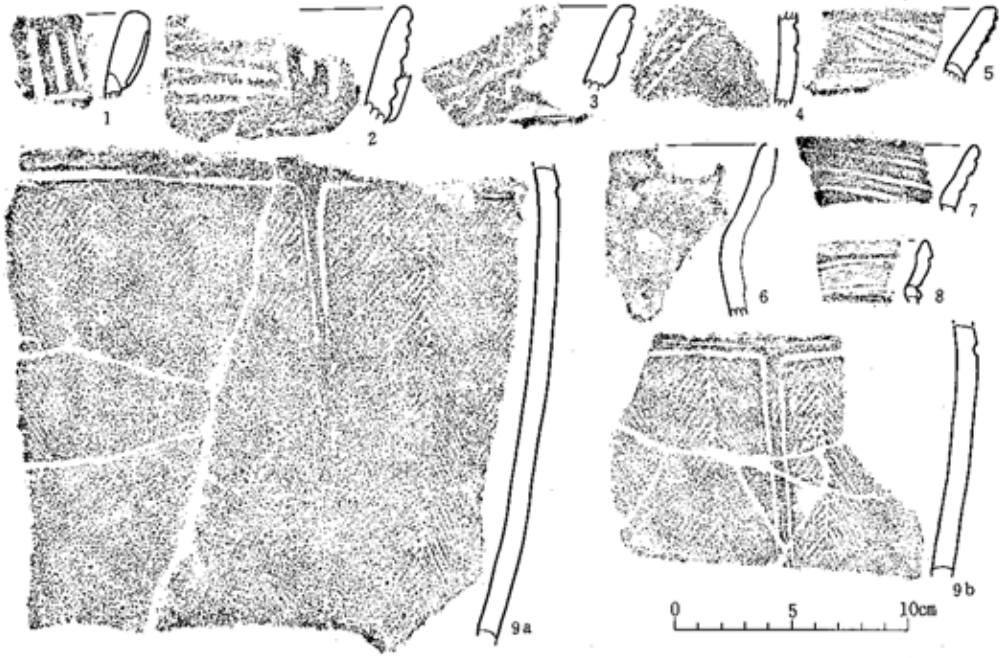
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CN85区・6層、CN85区・6層上部、CN85区・西ベルト5層及び4層	深鉢・A(II)2	口縁部：波状縁、円形状沈線文、斜位沈線文、頸部：半截竹管による横位平行沈線文、胴部：縄文（Lr）	34－2
2	CN85区・北ベルト6層	深鉢・H－(?)	口縁部：波状縁、口縁に沿う沈線文	204
3	CN85区・西ベルト6層、CN85区・南ベルト6層	深鉢・A－	胴部：半截竹管による平行沈線文、縄文	204
4	CN85区・西ベルト6層	深鉢・A－	胴部：半截竹管による平行沈線文	204
5	CN85区・西ベルト6層	深鉢・H2a	口縁部：突起のつく平縁、縦位貼付文、縦位沈線文（貼付上）、胴部：区画沈線文、渦巻状沈線文、円錐状沈線文、縄文（LR）	204
6	CN85区・6層	深鉢・H2a(?)	口縁部：平縁、無文、胴部：半截竹管による刺突文	204
7	CN85区・6層	深鉢・H2a(?)	口縁部：平縁、縦位貼付文、半截竹管による刺突文、胴部：半截竹管による刺突文	204
8	CN85区・6層、CN84区・5層、CN84区・北ベルト6層、82年度土壙206幅1・82年度土壙162幅1	深鉢・H3	口縁部：突起のつく平縁、連続刺突文、三角形の刺突、胴部：横位平行沈線文、相対する弧状沈線文、相対する山形沈線文、円形貼付文、刺突文（沈線上）、縄文（LR）	303
9	CN85区・北ベルト6層	深鉢・－	胴部：縄文（LR）、底部：調代痕（5－1・任意）	
10	CN85区・6層	浅鉢・A1	口縁部：平縁、円形貼付文、貼付を縁どる沈線文、横位平行沈線文、縄文（RL）、胴部：縄文（RL）	203

第352図　東側遺物包含層出土土器（ＣＮ85区・６層(2)）



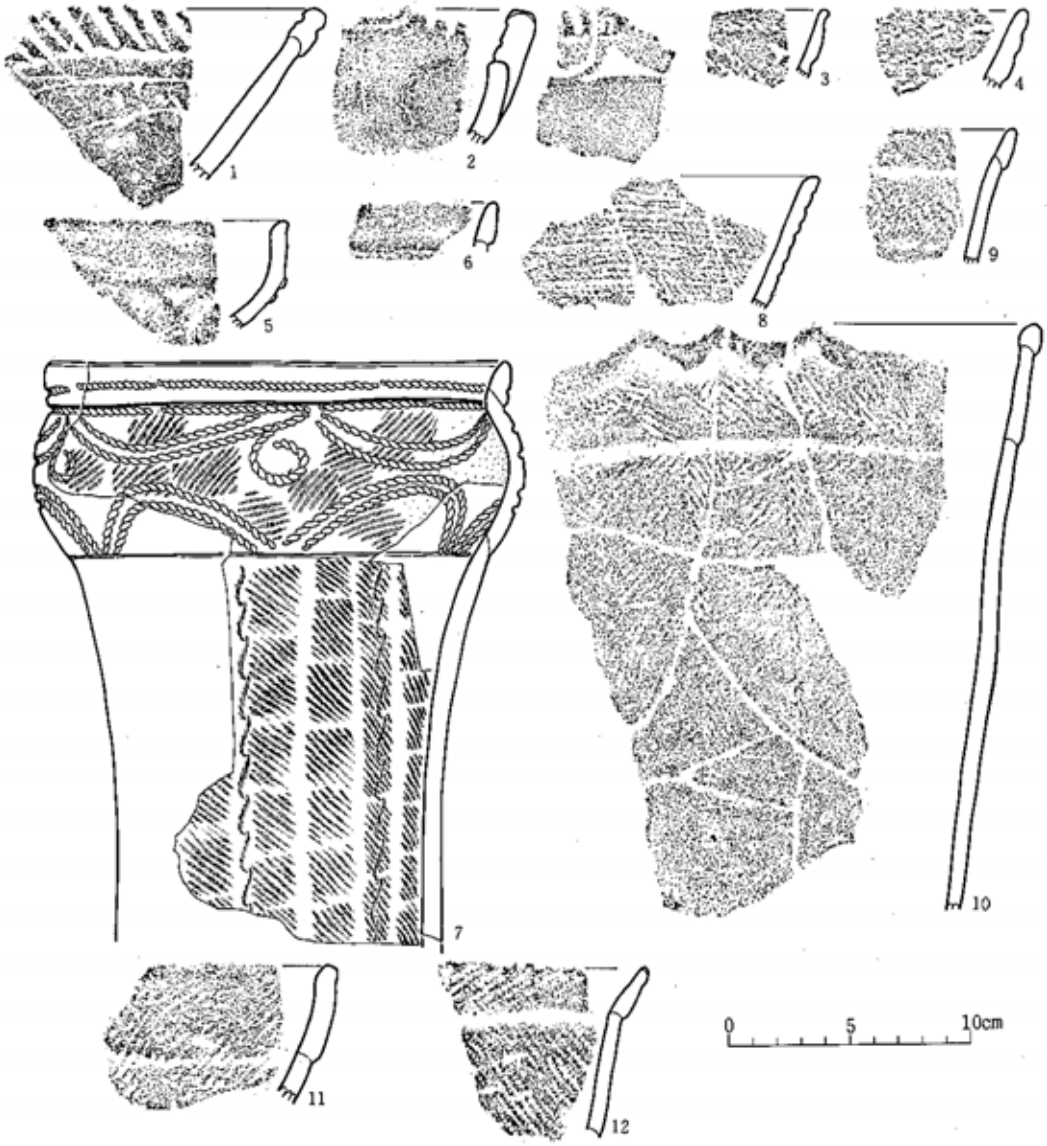
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CN85区・北ベルト6層	深鉢・W3a	口縁部：平縁，結束（第1種）羽状縄文（RL×LR）結節文（片結び一単（RL），片結び一逆（LR））	31－1
2	CN85区・西ベルト6層	深鉢・E(Ⅰ)1a	口縁部：平縁，縦位押圧縄文（RL）（上端），横位平行押圧縄文（RL），胴部：縄文（RL）結節文（片結び一単）	204
3	CN85区・6層	深鉢・S10b	口縁部：平縁，縄文（RL），胴部：縄文（RL）結節文（片結び一結）	204
4	CN85区・6層	深鉢・W3b	口縁部：平縁，無文（ナデ），胴部：縄文（LR）	204
5	CN85区・6層	深鉢・Y3	口縁部：小突起のつく平縁，縦位刻目文（突起上），無文（ナデ），胴部：無文（ナデ）	204
6	CN85区・北ベルト6層 CN85区・北ベルト5層 昭和50年度土坑161地2層	深鉢・S10b	口縁部：平縁，縄文（RL），胴部：縄文（RL）	31－2

第353図　東側遺物包含層出土土器（CN85区・6層(3)）



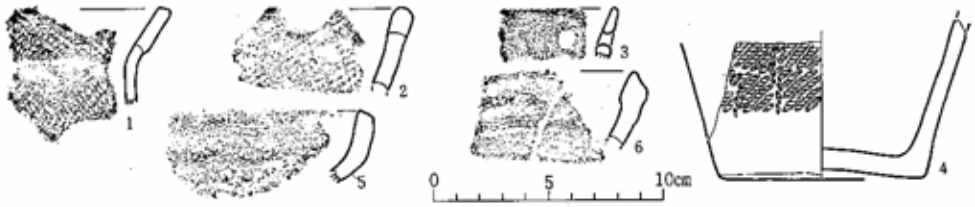
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CN85区・南ベルト5層	深鉢・A(Ⅰ)1	口縁部：平縁，縦位沈線文	204
2	CN85区・西ベルト5層	深鉢・A(Ⅰ)1－	口縁部：平縁，縦位貼付文，縦位沈線文（貼付上），横位平行沈線文	204
3	CN85区・西ベルト5層	深鉢・E(Ⅱa)2a	口縁部：波状縁，斜角状沈線文，区画沈線文	204
4	CN85区・北ベルト5層	深鉢・－	胴部：斜位平行沈線文，刺突文	204
5	CN85区・西ベルト5層	深鉢・H2b(？)	口縁部：平縁，粘土紐貼付文，半截竹管による押引き文（隆線上）	204
6	CN85区・北ベルト5層	深鉢・W3b	口縁部：平縁，縄文（RL），頸部：刺隆	204
7	CN85区・南ベルト5層	深鉢・D(Ⅰ)1a	口縁部：平縁，横位平行沈線文	204
8	CN85区・5層	深鉢・R－(？)	口縁部：平縁，口縁に沿う沈線文，頸部：横位隆帯，横位沈線文	204
9a,b	CN85区・北ベルト5層， CN85区・北ベルト4層	深鉢・F－(？)	胴部：区画沈線文，結束（第1種）羽状縄文（Rl×Lr）	205

第354図　東側遺物包含層出土土器（CN85区・5層(1)）



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CN85区・5層	浅鉢・A－	口縁部：平縁、斜位短沈線文、胴部：無文（ミガキ）	205
2	CN85区・北ベルト5層	浅鉢・B3	口縁部：突起のつく平縁、縦位刻目文（数頂部）、口縁に沿う沈線文、三角形の刺突（内面）、沈線文（内面）、胎土：金雲母を多く含む	205
3	CN85区・5層	深鉢・D(Ⅰ)10a(？)	口縁部：平縁、口縁に沿う押圧縦文（LR）、区画押圧縦文（LR）、三叉状押圧縦文（LR）	205
4	CN85区・5層	深鉢・E(Ⅰ)1a	口縁部：平縁、横位平行押圧縦文（RL）	205
5	CN85区・5層	深鉢・D(Ⅰ)7	口縁部：平縁、口縁に沿う押圧縦文、区画隆線文、隆線に沿う押圧縦文（摩滅）	205
6	CN85区・5層	深鉢・D(Ⅰ)10a(？)	口縁部：平縁、口縁に沿う押圧縦文（Lr）	205
7	CN85区・5層、CN85区・5層上面、CN85区・4層上面	深鉢・L5	口縁部：平縁、横位平行押圧縦文（Lr）、相対する弧状区画押圧縦文（Lr）、渦巻状押圧縦文（Lr）、縦文（Lr）、胴部：縦文（Lr）結束文（片結び一類）	33－1
8	CN85区・5層	深鉢・E(Ⅰ)1a	口縁部：平縁、横位平行押圧縦文（Lr）	205
9	CN85区・5層	深鉢・S10b	口縁部：平縁、縦文（RL）、胴部：縦文（RL）	205
10	CN85区・5層、CN85区・北ベルト5層	深鉢・S10b	口縁部：突起のつく平縁、結束(第1種)羽状縦文(Rℓ×Lr)、胴部：結束(第1種)羽状縦文(Rℓ×Lr)	205
11	CN85区・北ベルト5層	深鉢・E(Ⅰ)11	口縁部：平縁、縦文（Rℓ）、胴部：縦文（Rℓ）	205
12	CN85区・北ベルト5層	深鉢・W3b	口縁部：平縁、縦位押圧縦文（LR）（上端）、縦文（LR）、胴部：縦文（LR）	205

第355図　東側遺物包含層出土土器（CN85区・5層(2)）

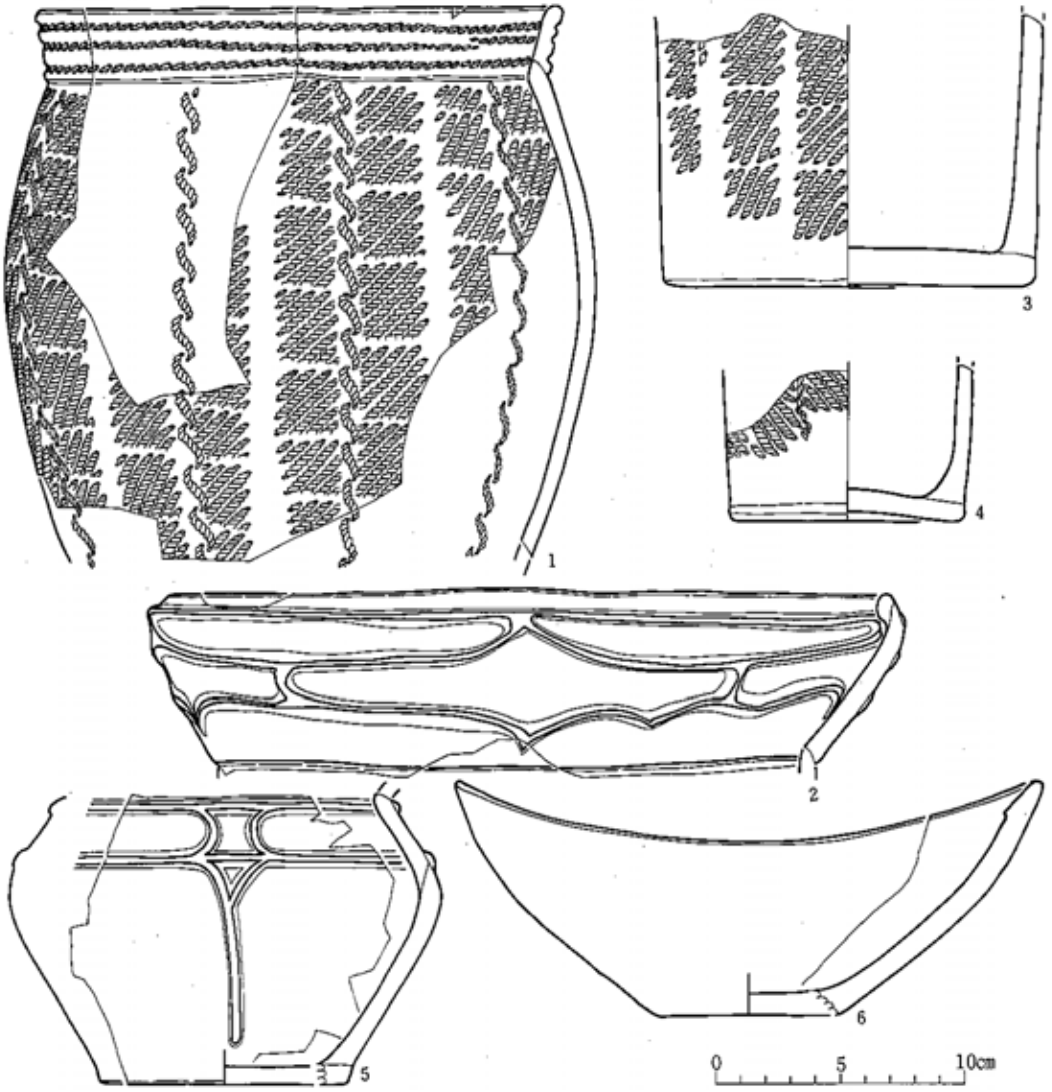


番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CN85区・南ベルト5層	深鉢・W3b	口縁部：平縁，縦位押圧縄文（RL?）〔上端〕，縄文（RL），胴部：縄文（RL）	205
2	CN85区・北ベルト5層	深鉢・S9b(?)	口縁部：突起のつく平縁，縄文（LR）	206
3	CN85区・南ベルト5層	深鉢・S10a	口縁部：平縁，縄文，雑修孔有り，（摩滅）	206
4	CN85区・北ベルト5層	深鉢・－	胴部：縄文（RL）結節文（両結び一類），底部：無文（ナデ）	
5	CN85区・西ベルト5層	浅鉢・A－	口縁部：平縁（摩滅）	206
6	CN85区・5層	浅鉢・A5e	口縁部：平縁，無文（ナデ）	206

第356図　東側遺物包含層出土土器（CN85区・5層(3)）

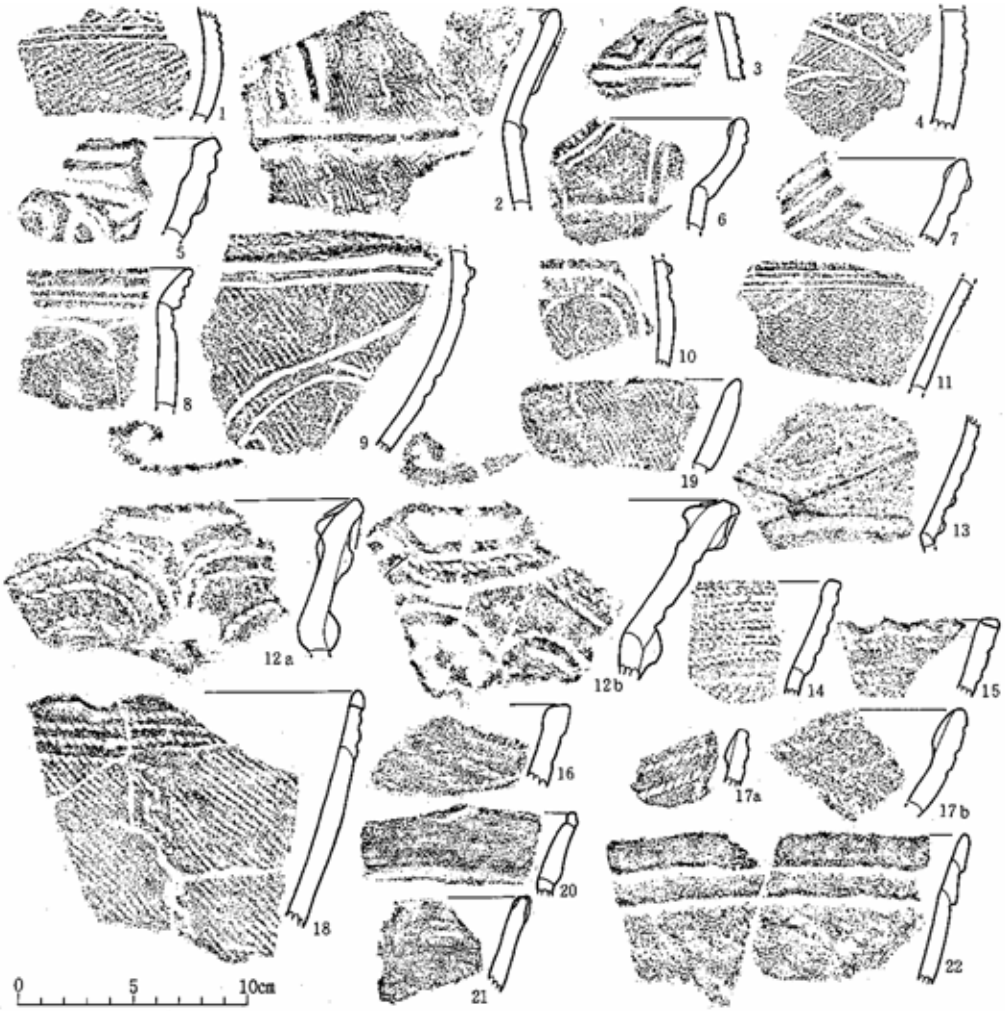
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CN85区・5層上面	深鉢・H2－	口縁部：粘土紐貼付文，沈線文	206
2	CN85区・5層上面	深鉢・S4a(?)	胴部：半截竹管による縦位平行沈線文，三角形の彫去（交互）	206
3	CN85区・5層上面	深鉢・D(Ⅱ－)－	口縁部：波状縁，「の」字状貼付文（波頂部内面），隆帯状隆線文，隆帯状沈線文（隆線上），隆線に沿う沈線文，連弧状沈線文，縄文（RL）	
4	CN85区・5層上面	深鉢・D(Ⅱ－)－	口縁部：波状縁，口縁に沿う沈線文	206
5	CN85区・5層上面	深鉢・D(Ⅱ－)－	口縁部：波状縁，楕円形貼付文，口縁に沿う平行押引き文	206
6	CN85区・5層上面	深鉢・S3a	口縁部：平縁，半截竹管による連続刺突文，胴部：無文	206
7	CN85区・5層上面	深鉢・N9a	口縁部：平縁，無文，胴部：無文，胴部：相対する弧状区画隆線文，隆線に沿う沈線文，交互刺突文，縄文（RL）	206
8	CN85区・5層上面	深鉢・D(Ⅰ)7	口縁部：平縁，区画隆線文，隆線に沿う押圧縄文（RL），隆帯状押圧縄文（RL）	206
9	CN85区・5層上面	深鉢・D(Ⅱb)2	口縁部：波状縁，「の」字状貼付文（波頂部内面），区画隆線文，隆線に沿う押圧縄文（LR），隆帯状押圧縄文（LR）	206
10	CN85区・5層上面	深鉢・D(Ⅱb)－	口縁部：波状縁，「の」字状貼付文（波頂部内面），口縁に沿う押圧縄文（LR），隆帯状押圧縄文（LR）	206
11	CN85区・5層上面	深鉢・D(Ⅱc2)4b	口縁部：波状縁，区画押圧縄文（RL）	206
12	CN85区・5層上面	深鉢・U1	口縁部：平縁，口縁に沿う押圧縄文（RL），胴部：縄文（LR）	206
13	CN85区・5層上面	深鉢・S10a	口縁部：平縁，縄文（LR）結節文（両結び一類）	206
14	CN85区・5層上面	深鉢・S11a	口縁部：平縁，無文，胴部：無文	206
15	CN85区・5層上面	深鉢・S10b	口縁部：平縁，縄文（RL）	206
16	CN85区・5層上面	深鉢・S－	口縁部：小突起のつく平縁，縦位押圧縄文（LR）〔突起上〕，無文	206
17	CN85区・5層上面	浅鉢・A5e	口縁部：平縁，無文（ナデ）	206
18	CN85区・5層上面	浅鉢・A5e	口縁部：平縁，無文（ナデ）	206

第357図　東側遺物包含層出土土器（CN85区・5層上面(1)）



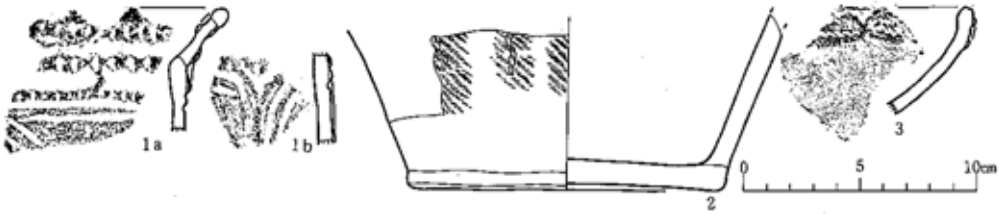
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CN85区・5層上面	深鉢・E(1a)	口縁部：平線、横位平行押圧縄文（RL）、胴部：縄文（RL）結節文（片結び一環）	33－2
2	CN85区・5層上面、CL89区・2層、CM85区・北ベルト1層	深鉢・D(Ⅰ)1b	口縁部：平線、相対する弧状区画隆線文、「ヌ」字状貼付文	34－1
3	CN85区・5層上面	深鉢・－	胴部：縄文（RL）結節文（両結び一環）、底部：網代底（重弧、2－2）	
4	CN85区・5層上面	深鉢・－	胴部：縄文（LR）結節文（両結び一逆）、底部：無文	
5	CN85区・5層上面	鉢・A2	口縁部：平線、胴部：区画隆線文、「Y」字状懸垂隆線文	206
6	CN85区・5層上面、CM84区・3層上面、CM84区・2層	浅鉢・B4	口縁部：波状線、無文（くガキ）。	35－1

第358図　東側遺物包含層出土土器（CN85区・5層上面(2)）



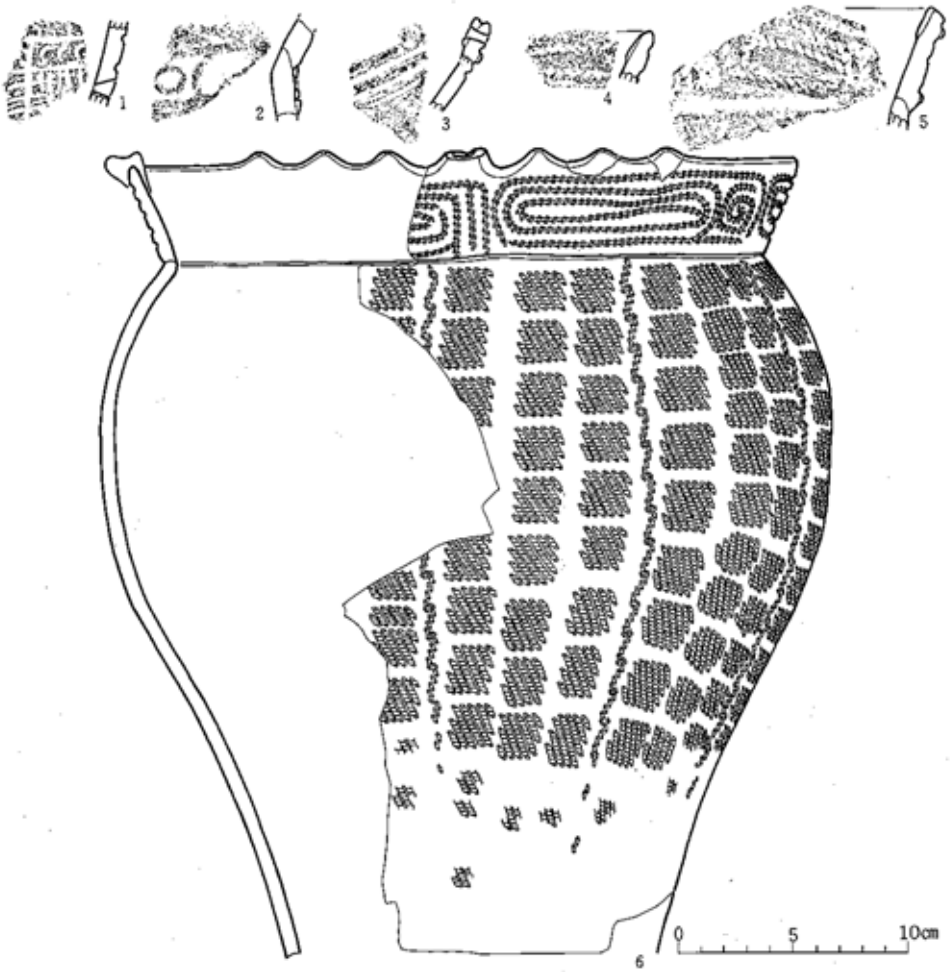
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CN85区・西ベルト4層	深鉢・N－(？)	胴部：半截竹管による平行沈線文，縄文（LR）	206
2	CN85区・4層	深鉢・D(Ⅱ－)－	口縁部：波状縁，縦位貼付文，縄文（LR）結節文（両結び一類），頸部：横位隆帯，胴部：縄文（LR）結節文（両結び一類）	206
3	CN85区・4層	深鉢・H2a(？)	胴部：粘土紐貼付文，沈線文	206
4	CN85区・4層	深鉢・H2b(？)	胴部：弧状沈線文，三角形の彫去，縄文（Lr）結節文（両結び一類）	206
5	CN85区・4層	深鉢・D(Ⅱc2)1a	口縁部：波状縁，区画隆線文，隆線に沿う沈線文	206
6	CN85区・4層	深鉢・D(Ⅱa)－	口縁部：波状縁，縦位刻目文，口縁に沿う沈線文，区画沈線文，縄文（RL）	206
7	CN85区・4層	深鉢・D(Ⅱ－)－	口縁部：波状縁，区画隆線文，隆線に沿う沈線文	206
8	CN85区・4層	深鉢・D(Ⅰ)1a	口縁部：平縁，横位平行沈線文，胴部：区画沈線文，縄文（RL）	207
9	CN85区・4層	深鉢・N4a	胴部：横位隆線文，隆線に沿う押圧縄文（LR）（上部），区画沈線文，弧状沈線文，縄文（LR）結節文（片結び一類）	207
10	CN85区・西ベルト4層	深鉢・N9a(？)	胴部：区画隆線文，隆線に沿う沈線文，交互刺突文，縄文（LR）結節文（片結び一類）	207
11	CN85区・北ベルト4層	深鉢・－	胴部：横位平行沈線文，沈線に沿う刺突文，縄文（LR）	207
12a,b	CN85区・4層，CN85区・4層上部	深鉢・D(Ⅱb)2	口縁部：波状縁，「の」字状貼付文（波頂部），楕円形貼付文，区画押圧縄文(Lr)，蕨巻状押圧縄文(Lr)	207
13	CN85区・4層	深鉢・D(Ⅰ)10a	口縁部：区画隆線文，楕円形貼付文，隆線に沿う押圧縄文（LR），蕨巻状押圧縄文（LR）	207
14	CN85区・4層	深鉢・E(Ⅰ)1a	口縁部：平縁，横位平行押圧縄文（Lr），胴部：縄文（RL）	207
15	CN85区・4層	深鉢・E(Ⅰ)1a	口縁部：小波状縁，横位平行押圧縄文（Lr）	207
16	CN85区・西ベルト4層	深鉢・D(Ⅱ－)－	口縁部：波状縁，口縁に沿う押圧縄文（RL）	207
17a,b	CN85区・西ベルト4層，CN85区・4層上部	深鉢・D(Ⅱ－)－	口縁部：波状縁，区画隆線文，口縁に沿う押圧縄文（RL,LR），隆線に沿う押圧縄文（RL，LR）	207
18	CN85区・北ベルト4層	深鉢・S5a	口縁部：小波状縁，横位平行押圧縄文（LR），胴部：縄文（LR）結節文（片結び一類）	207
19	CN85区・北ベルト4層	深鉢・W3b	口縁部：平縁，縄文（LR）結節文（片結び一類）	207
20	CN85区・4層	深鉢・W5	口縁部：小波状縁，無文	207
21	CN85区・北ベルト4層	深鉢・S11b	口縁部：平縁，指頭状押圧（胴部内外面）	207
22	CN85区・4層	深鉢・S11a	口縁部：平縁，無文，胴部：無文	207

第359図　東側遺物包含層出土土器（CN85区・4層(1)）



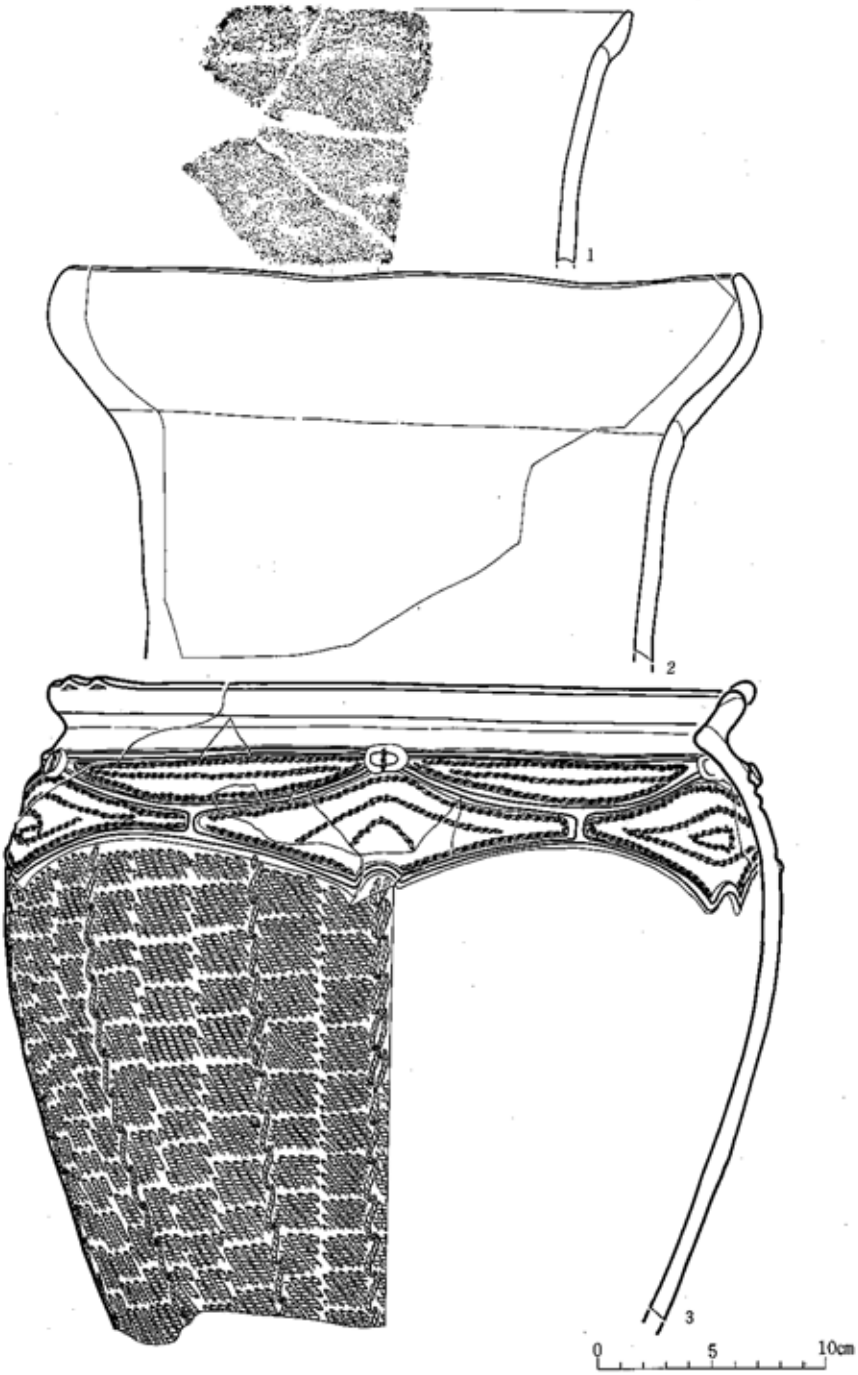
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1ab	CN85区・4層	深鉢・R(Ⅰ)3C	口縁部：小波状縁，三角形の刻み（波頂部内面），横位隆線文，半截竹管による刺突文（胴部，隆線上），胴部：区画隆線文，刺突文（隆線上），隆線に沿う沈線文	207
2	CN85区・4層 CN85区・4層上面， CN85区・2層	深鉢・－	胴部：縄文（Lr）結節文（片結び一類）（LR），底部：網代底	
3	CN85区・4層	浅鉢・A3C	口縁部：平縁，区画隆線文，隆線に沿う押圧縄文（LR），胴部：無文（ミガキ）	207

第360図　東側遺物包含層出土土器（CN85区・4(2)）



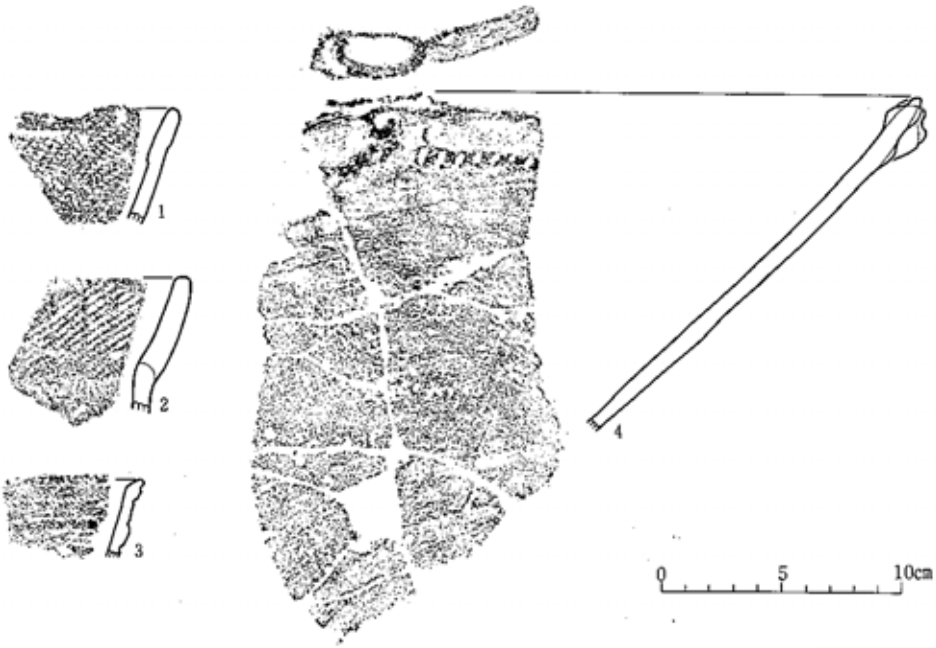
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CN85区・4層上面	深鉢・A－	胴部：横位平行沈線文，縦位平行沈線文，半截竹管による刺突文，雑撚孔有り	199
2	CN85区・4層上面	深鉢・N9a	胴部：円環状貼付文，「ｘ」字状貼付文	199
3	CN85区・4層上面	深鉢・D(Ⅱa(？))－	口縁部：突起のつく波状縁，波状文（突起上縁），貫通孔，口縁に沿う隆線文，隆線に沿う沈線文，縄文（LR）	199
4	CN85区・4層上面	深鉢・E(Ⅰ)1a	口縁部：平縁，横位平行押圧縄文（LR）	199
5	CN85区・4層上面	深鉢・E(Ⅱ－)－	口縁部：波状縁，区画隆線文，隆線に沿う押圧縄文（LR），胴部：縄文（LR）結節文（片結び一類）	199
6	CN85区・4層上面	深鉢・E(Ⅰ)4e(？)	口縁部：突起のつく平縁，区画押圧縄文（LR），隆線状押圧縄文（LR），胴部：縄文（LR）結節文（片結び一類）	199

第361図　東側遺物包含層出土土器（CN85区・4層上面(1)）



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CN85区・4層上面	深鉢・S11a	口縁部：平縁，無文，胴部：無文（摩滅）	199
2	CN85区・4層上面，CD86区・4層，CN86区・2層，CN86区・4層上面	深鉢・L10	口縁部：平縁，無文，胴部：無文（摩滅）	199
3	CN85区・4層上面	深鉢・N8	口縁部：小突起のつく平縁，無文，頸部：無文，胴部：沈線隆線文，隆線に沿う押出縄文（LR），楕円形貼付文，縦位押圧縄文（LR），縄文（LR）結節文（片結び一種）	35－3

第362図　東側遺物包含層出土土器（CN85区・4層上面(2)）

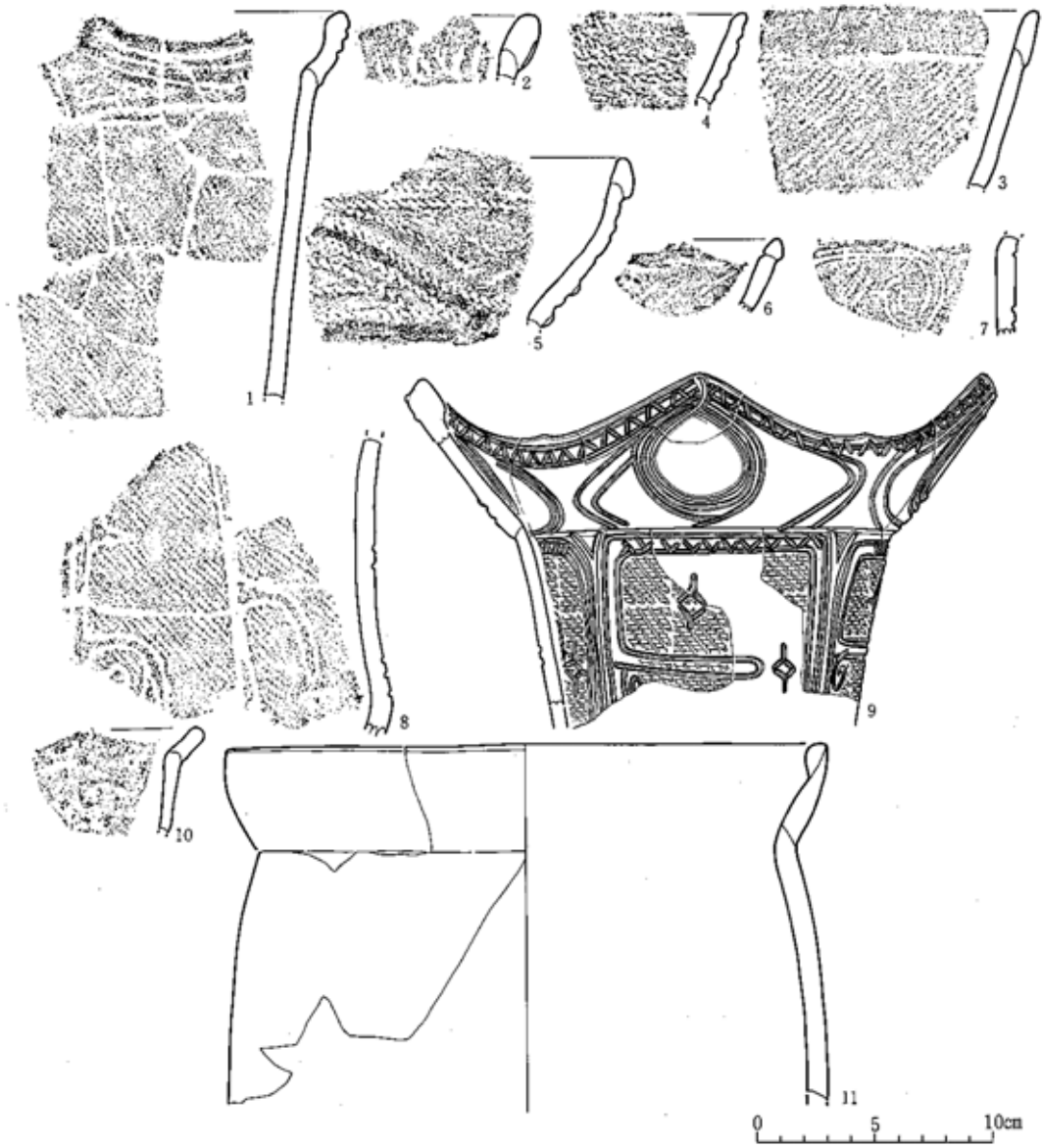


番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CN85区・4層上面	深鉢・S10b	口縁部：突起のつく平縁，縦位押圧縄文（RL）〔突起上端〕，縄文（RL）	199
2	CN85区・4層上面	深鉢・W3b	口縁部：平縁，縄文（LR）	199
3	CN85区・4層上面	深鉢・D(Ⅰ)1e	口縁部：平縁，横位平行押圧縄文（LR），「C」字状押圧縄文（LR）	199
4	CN85区・4層上面	浅鉢・A3d	口縁部：突起のつく平縁，「の」字状貼付文（上端），隆帯状隆線文，「ｘ」字状区画隆線文，半截竹管による連続刺突文（隆線上），胴部：無文（しぼみ）	199

第363図　東側遺物包含層出土土器（CN85区・4層上面(3)）

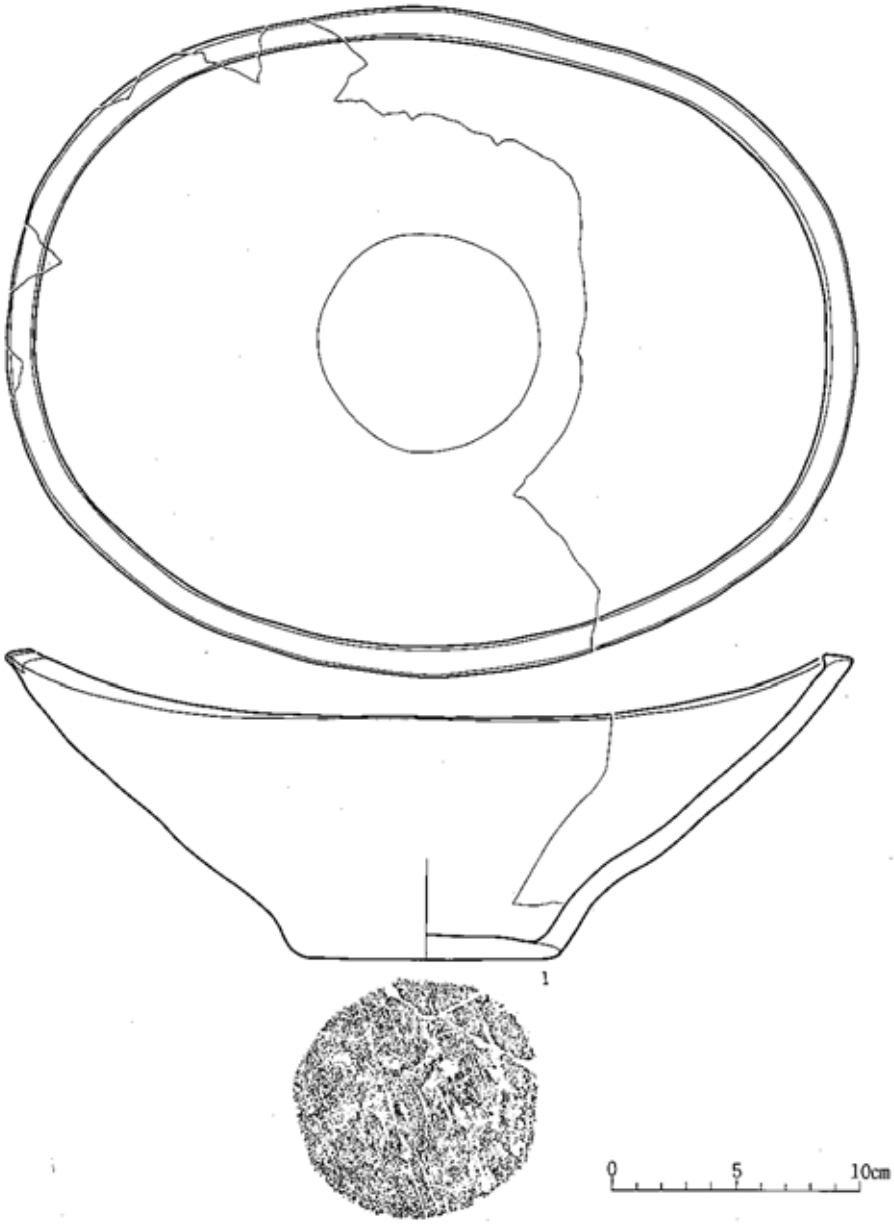
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CN85区・3層	深鉢・H2b	口縁部：波状線，楕状把手，円形及び山形の組合わせ状沈線文，縦子状回沈線文，胴部：刺突文，三角形の配置，横位平行沈線文	199
2	CN85区・3層	深鉢・D(Ⅱ－)－	口縁部：波状線，口縁に沿う隆線文，隆線に沿う沈線文，縄文（RL）	199
3	CN85区・3層	深鉢・S10b	口縁部：平縁，無文（ナデ），胴部：縄文（Lr）結節文（二重結び一環）	199
4	CN85区・3層	深鉢・S11a	口縁部：波状線，無文（ナデ）	199
5	CN85区・3層	深鉢・D(Ⅱb)2	口縁部：波状線，「の」字状貼付文（波頂部内型），弧状押圧縄文（Lr），横位平行押圧縄文（Lr）	199
6	CN85区・3層	深鉢・E(Ⅰ)1a	口縁部：平縁，横位平行押圧縄文（RL）	199
7	CN85区・3層	深鉢・D(Ⅰ)10a	口縁部：平縁，口縁に沿う隆線文，縦位押圧縄文（LR）〔隆線上〕，隆線に沿う押圧縄文（LR）	199
8	CN85区・3層	深鉢・D(Ⅰ)1e	胴部：横位平行押圧縄文（LR），半截竹管による平行沈線文，半截竹管による連続刺突文	199
9	CN85区・西ベルト3層	深鉢・D(Ⅰ)e	口縁部：平縁，横位平行押圧縄文（RL），半截竹管による刺突文，胴部：縄文（RL）	199

第364図　東側遺物包含層出土土器（CN85区・3層）



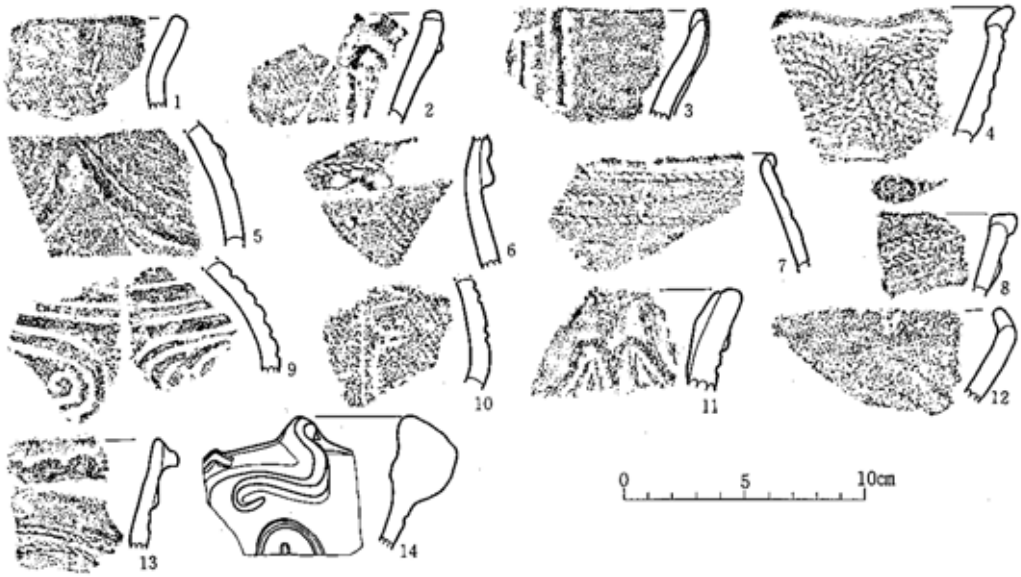
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CN85区・3層上面	深鉢・D(II－)－	口縁部：波状縁，口縁に沿う沈線文，結節沈線文，胴部：縄文（LR）結節文（片結び一類）	208
2	CN85区・3層上面	深鉢・S9a	口縁部：突起のつく平縁，刺突文（下端）	208
3	CN85区・3層上面	深鉢・E(I)11(？)	口縁部：平縁，無文（ナデ），胴部：縄文（RL）	208
4	CN85区・3層上面	深鉢・D(I)10a(？)	口縁部：平縁，区画押圧縄文（LR）	208
5	CN85区・3層上面	深鉢・D(I)8C	口縁部：平縁，区画隆線文，楕円形結付文，隆線に沿う押圧縄文（LR）	208
6	CN85区・3層上面	深鉢・S－	口縁部：小突起をもつ平縁，縄文	208
7	CN85区・3層上面	深鉢・－	胴部：半截竹管による平行沈線文，縄文（RL）	208
8	CN85区・3層上面	深鉢・T1	胴部：区画沈線文，弧状沈線文，縄文（LR）	208
9	CN85区・3層上面，CN85区・2層	深鉢・D(IIa)6a	口縁部：波状縁，口縁に沿う平行沈線文，鋸歯状短沈線文，弧状隆線文，隆線に沿う平行沈線文，「x」字状平行沈線文，胴部：「Y」字状隆線文，区画沈線文，鋸歯状短沈線文，渦巻状沈線文，「Y」字状沈線文，縄文（LR）	37－2
10	CN85区・3層上面	深鉢・S11a	口縁部：波状縁，無文（ナデ）	208
11	CN85区・3層上面，CN85区・2層	深鉢・W5	口縁部：平縁，無文（ナデ），胴部：無文（ナデ）	

第365図　東側遺物包含層出土土器（CN85区・3層上面(1)）



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CN85区・3層上面	浅鉢・B4	口縁部：波状線，無文（ミガキ），胴部：無文（ミガキ），底部：木葉痕（縦）	35－2

第366図　東側遺物包含層出土土器（CN85区・3層上面(2)）



番号	地区・層位	器形・分類	文　様　の　特　徴	図版
1	CN85区・2層	深鉢・W3b	口縁部：波状縁，縄文（Lr）結節文（片結び一類）	208
2	CN85区・2層	深鉢・D(Ⅱ－)－	口縁部：波状縁，横位刻目文（波頂部），弧状隆線文，縄文（LR）結節文（片結び一類）	208
3	CN85区・2層	深鉢・D(Ⅰ)－	口縁部：平縁，横位隆線文	208
4	CN85区・2層	深鉢・D(Ⅰ)6d	口縁部：突起のつく平縁，区画押圧縄文（LR）	208
5	CN85区・2層	深鉢・N8(？)	胴部：区画隆線文，隆線に沿う押圧縄文（LR），連弧状押圧縄文（LR），縄文（LR）	208
6	CN85区・2層	深鉢・D(Ⅰ)10a	口縁部：横位押圧縄文（LR），隆線状圧痕（下端），胴部：縄文（LR）	208
7	CN85区・2層	深鉢・N6b	口縁部：平縁，横位平行押圧縄文（LR）	208
8	CN85区・2層	深鉢・D(Ⅱ－)－	口縁部：波状縁，渦巻状貼付文（波頂部），口縁に沿う押圧縄文（LR），隆線文	208
9	CN85区・2層	深鉢・N4a	胴部：横位平行沈線文，弧状沈線文，渦巻状沈線文	208
10	CN85区・2層	深鉢・N－(？)	胴部：区画沈線文，連弧状押圧縄文（LR），縄文（LR）	208
11	CN85区・2層	深鉢・∞	口縁部：波状縁，「の」字状貼付文（波頂部内面），区画隆線文，隆線に沿う沈線文	208
12	CN85区・西ベルト2層	浅鉢・A8e	口縁部：平縁，無文（ナデ）	208
13	CN85区・2層	深鉢・E(Ⅰ)1b(？)	口縁部：平縁，連弧状貼付文，横位刻目文（貼付上），横位平行押圧縄文（Lr）	208
14	CN85区・2層	深鉢・D(Ⅰ)6C	口縁部：波状縁，「S」字状貼付文，渦巻状沈線文	208

第367図　東側遺物包含層出土土器（CN85区・2層）

番号	地区・層位	器形・分類	文　様　の　特　徴	図版
1	CN85区・1層	深鉢・S5a(？)	胴部：横位平行押圧縄文（RL.LR），連弧状押圧縄文（LR），縄文（LR）	208
2	CN85区・1層	深鉢・N－ or J－	頸部：橋状把手，円形刺突文（把手上），沈線文，縄文（LR）	208
3	CN85区・1層	深鉢・－	口縁部：波状縁，押圧縄文（Lr），口縁に沿う隆線文，半截竹管による刺突文	208

第368図　東側遺物包含層出土土器（CN85区・1層）

ＣＯ85 区

第６層：第 369 図～第 370 図 1～3

第 369 図 1：頸部でゆるやかに外反し、口縁部が肥厚して外傾し、胴中位で膨む器形である。口縁部には 4 単位の方形及び円環状の貼付文か施され、その間に三角形の彫去が連続して施されている。頸部には、隆帯及び半截竹管による横位平行沈線文・鋸歯状沈線文がめぐり、胴部は半截竹管による鋸歯状沈線文が縦横に施されている。

第 370 図 1～3：頸部がゆるやかに外反し、口縁部は肥厚して外傾する器形と思われる。3 は頸部に半截竹管による平行沈線文、連続刺突文が施されている。

第５層：第 370 図 4～6

第 370 図 4：頸部がゆるくくびれ、口縁部は外傾している。口縁部は無文である。

第 370 図 5：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部は短く外傾し、胴部が膨む器形である。1 段の押圧縄文によって文様が構成されている。

第 370 図 6：胴底部資料である。底面は網代痕が残されている。

第５層上面：第 370 図 7～8

第 370 図 7：口縁部破片である。口縁上端には縦位の貼付文が連続して施されている。

第 370 図 8：頸部がゆるやかに外反し、口縁部が肥厚して外傾する器形である。口縁部に文様が構成されている。

第４層：第 371 図

第 371 図 1～3：頸部がゆるやかに外反し、口縁部が肥厚して外傾する器形と思われる。1・2 は、口縁部に斜位の沈線文が描かれ、3 はやや太目の粘土紐を施し、さらに押圧縄文が施されている。

第 371 図 4：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部が短く外傾し、胴部が膨む器形である。口縁部、胴上部に山形文・渦巻文が細い粘土紐の貼付によって構成され、半截竹管による押引きが加えられる。

第 371 図 5：口縁部は外傾している。円圏状をなす沈線文と刻目文が施されている。

第 371 図 6：口縁部破片である。縦位刺突文が連続して施されている。

第 371 図 7：口縁部は複合口縁状をなしている。縄文が施されている。

第3層：第372図～第373図

第372図1～2：頸部がゆるやかに外反し、口縁部は外傾する器形と思われる。1は、連弧状の粘土紐貼付文と半截竹管による押引き文が施されている。2 は頸部に半截竹管による横位平行沈線文・連続刺突文が施されている。

第372図3：胴部破片である。方形及び鋸歯状の沈線文が描かれている。

第372図4～9：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部が内弯気味に外傾する器形である。口縁部には弧状の隆線文、沈線文、押引き文が施されている。

第372図10～15：口縁部は複合口縁状を呈している。14、15 の頸部には横位隆帯が貼付されている。

第372図16～17、第373図1～2：口縁部破片である。押圧縄文が施されている。第373図2の波頂部には双孔が設けられ、獣面様を呈している。

第373図3：浅鉢形土器である。口縁部には「x」字状区画隆線文、押圧縄文が施されている。

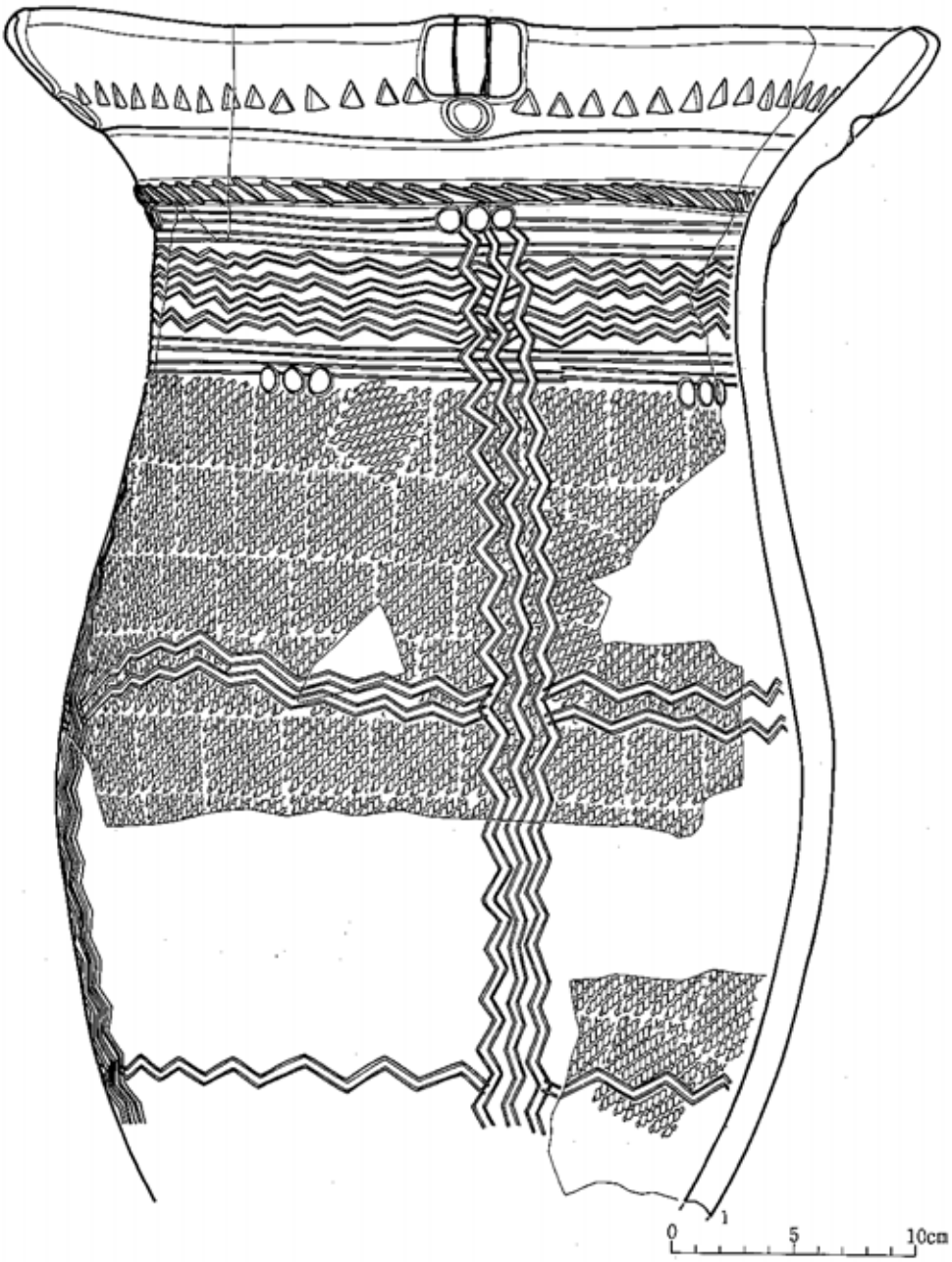
第2層：第374図

第374図1～20：口縁部～胴部の破片資料である。小破片のために文様構成は明らかではない。半截竹管による連続刺突文が1～2に、押圧縄文が7～10、13、15に施されている。

第1層：第375図

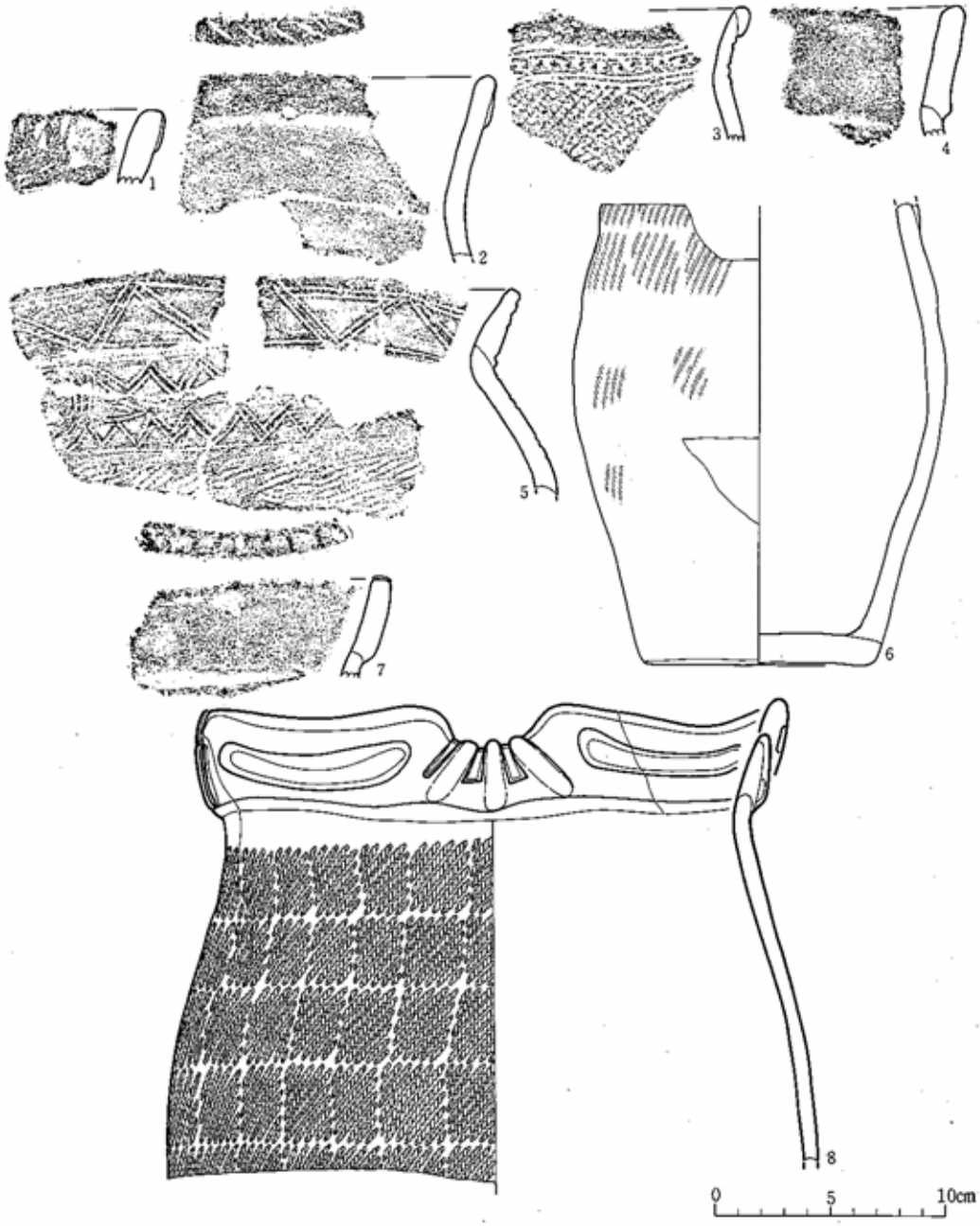
第375図1～3：口縁部～胴部破片である。1～2は押圧縄文、3は刺突文が施されている。

第375図4：口縁部に縦位押圧縄文が連続して施される浅鉢形土器である。



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CO85区・6層、 CN84区・北ベルト6層、 CN87区・6層、 CO86区・西ベルト5層、 CP86区・北ベルト2層、 CO88区・西ベルト4層、 昭年度土器34　1層	深鉢・A(Ⅰ)1a	口縁部：平縁、方形貼付文、横位波線文（貼付上）、円債状隆線文、円形の窪み、三角形の彫出、頸部：横位隆帯、斜位刻目文（隆帯上）、円形貼付文、半截竹管による横位平行波線文、半截竹管による縦長状波線文、胴部：半截竹管による縦長状波線文、縄文（LR）	36－1

第369図　東側遺物包含層出土土器（CO85区・6層(1)）

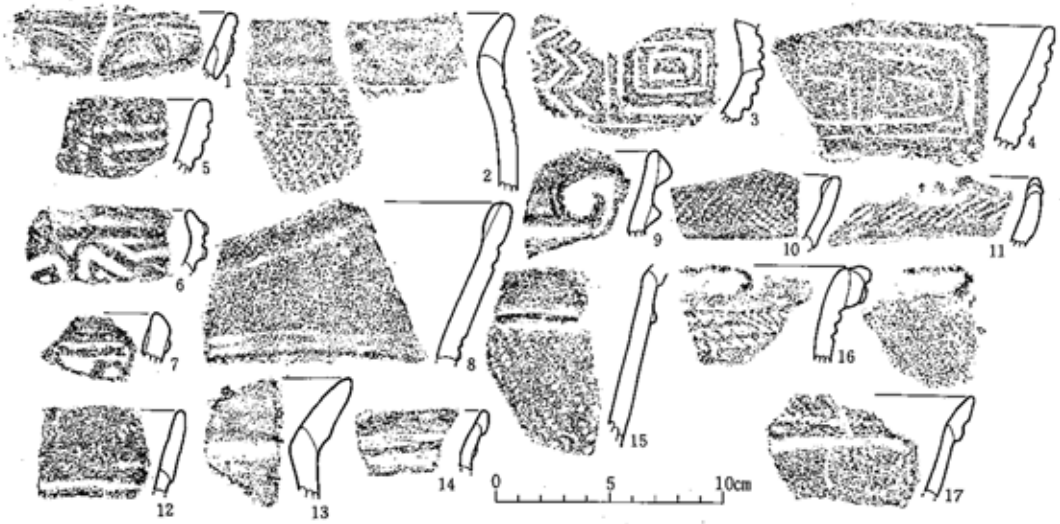


番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CO85区・6層	深鉢・A(Ⅰ)1－	口縁部：平線，縦位貼付文（剥落），沈線文	209
2	CO85区・西ベルト6層，CM84区・西ベルト5層	深鉢・S9C	口縁部：平線，斜位刻目文〔上端〕，無文　～東CM84区・西ベルト5層に同一個体	209
3	CO85区・6層	深鉢・H5	口縁部：波状線，頸部：半截竹管による横位平行沈線文，半截竹管による斜突文，縄文（LR）	209
4	CO85区・5層	深鉢・W5(？)	口縁部：平線，無文	209
5	CO85区・北ベルト5層	深鉢・H2a	口縁部：平線，横位平行押圧縄文（Lr），山形押圧縄文（Lr），胴部：横位平行押圧縄文（Lr），高巻状押圧縄文（Lr），縦垂状押圧縄文（Lr），縄文（LR）	209
6	CO85区・5層	深鉢・－	胴部：縄文（LR）（摩滅），底部：網代底	37－5
7	CO85区・5層上面	深鉢・S1(？)	口縁部：平線，縦位貼付文〔上端〕，無文	209
8	CO85区・5層上面	深鉢・A(Ⅱ)1	口縁部：波状線，縦位・斜位貼付文，弧状沈線文，胴部：縄文（LR）	209

第370図　東側遺物包含層出土土器（CO85区・5層上面，5層，6層(2)）

番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CO85区・北ベルト4層	深鉢・A(Ⅱ)3	□縁部：波状線，枝線文	209
2	CO85区・4層	深鉢・A(Ⅰ)3(?)	□縁部：平縁，斜位枝線文	209
3	CO85区・北ベルト4層	深鉢・A(Ⅰ)1−	□縁部：平縁，粘土紐貼付文，押圧縄文（LR）〔貼付上〕	209
4	CO85区・4層	深鉢・H2a	□縁部：平縁，山形粘土紐貼付文，半截竹管による押引き文〔貼付上〕，胴部：横方粘土紐貼付文，縄巻状粘土紐貼付文，鋸歯状粘土紐貼付文，半截竹管による押引き文〔貼付上〕，縄文（LR）	209
5	CO85区・北ベルト4層	深鉢・D(Ⅰ)3	□縁部：平縁，縦位短枝線文，弧状枝線文，斜位短枝線文	209
6	CO85区・北ベルト4層	深鉢・S9a	□縁部：波状線，刺突文〔下端〕	209
7	CO85区・北ベルト4層	深鉢・W3b	□縁部：平縁，縄文（LR）	209

第371図　東側遺物包含層出土土器（CO85区・4層）

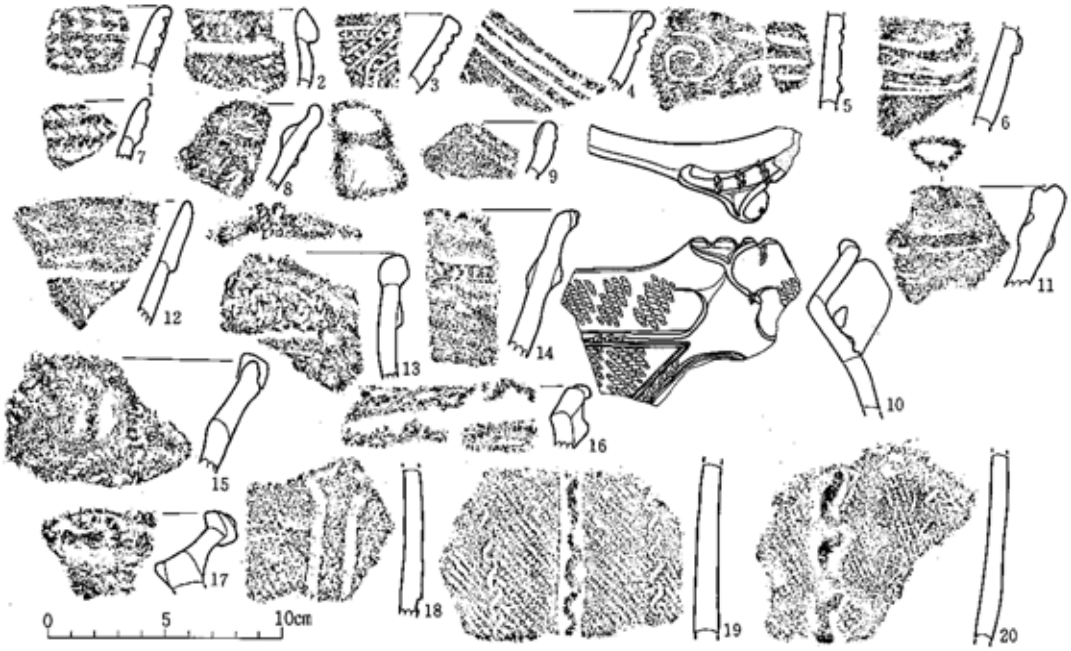


番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CO85区・3層	深鉢・A(Ⅰ)−	□縁部：平縁，連弧状粘土紐貼付文，貼付に沿う半截竹管による押引き文，半截竹管による押引き文	210
2	CO85区・3層	深鉢・V1	□縁部：平縁，頸部：半截竹管による横位平行枝線文，半截竹管による刺突文，胴部：縄文（RL）	210
3	CO85区・北ベルト3層	深鉢・H2a	胴部：鋸歯状枝線文，方形枝線文	210
4	CO85区・北ベルト3層	深鉢・D(Ⅰ)4a	□縁部：平縁，区画枝線文	210
5	CO85区・北ベルト3層	深鉢・D(Ⅰ)4a	□縁部：平縁，区画押引き文	210
6	CO85区・北ベルト3層	深鉢・D(Ⅰ)4a	□縁部：平縁，「ｘ」字状貼付文，□縁に沿う隆線文，区画隆線文，隆線に沿う枝線文	210
7	CO85区・北ベルト3層	深鉢・D(Ⅰ)4a	□縁部：平縁，区画隆線文	210
8	CO85区・3層	深鉢・D(Ⅱc2(?))1a	□縁部：波状線，□縁に沿う平行枝線文，横位平行枝線文（摩滅）	210
9	CO85区・3層	深鉢・S−	□縁部：突起のつく平縁，「の」字状貼付文	210
10	CO85区・北ベルト3層	深鉢・W3b(?)	□縁部：波状線，縄文（LR）	210
11	CO85区・3層	深鉢・W3b(?)	□縁部：突起のつく平縁，縦位押圧縄文（LR）〔突起上〕，縄文（LR）	210
12	CO85区・北ベルト3層	深鉢・S11a	□縁部：平縁，無文（摩滅）	210
13	CO85区・北ベルト3層	深鉢・V4	□縁部：平縁，無文，胴部：無文	210
14	CO85区・北ベルト3層	深鉢・S−(?)	□縁部：平縁，無文，頸部：横位隆帯	210
15	CO85区・3層	深鉢・−	頸部：横位隆帯，胴部：縄文（LR）	210
16	CO85区・3層	深鉢・S5a	□縁部：突起のつく平縁，「S」字状貼付文〔上端〕，横位平行押圧縄文（LR）	210
17	CO85区・北ベルト3層	深鉢・S5a	□縁部：平縁，□縁に沿う押圧縄文（RL），縄文（RL），胴部：縄文（RL）縦羽文（片結び一原）	210

第372図　東側遺物包含層出土土器（CO85区・3層(1)）

番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CO85区・北ベルト3層	深鉢・E(Ⅰ)1a	口縁部：平縁，横位平行押圧縄文（RL）	210
2	CO85区・北ベルト3層	深鉢・D(Ⅱc2)4c(？)	口縁部：波状縁，縦位刺目文（波頂部），「ﾒ」字状区画隆線文，「ﾒ」字状隆線文，半截竹管による刺突文（隆線上），隆線に沿う押圧縄文（Lr），貫通孔	210
3	CO85区・3層	浅鉢・A3c	口縁部：突起のつく平縁，区画隆線文，隆線に沿う押圧縄文（LR）	210

第373図　東側遺物包含層出土土器（CO85区・3層(2)）



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CO85区・2層	深鉢・E(Ⅰ)4b(？)	口縁部：平縁，半截竹管による連続刺突文	210
2	CO85区・2層	深鉢・S3b(？)	口縁部：平縁，半截竹管による連続刺突文，胴部：縄文（RL）	210
3	CO85区・2層	深鉢・H2b(？)	口縁部：平縁，区画平行沈線文，刺突文	210
4	CO85区・2層	深鉢・D(Ⅱc2(？))1a	口縁部：波状縁，口縁に沿う平行沈線文	210
5	CO85区・北ベルト2層	深鉢・N—	胴部：区画隆線文，隆線に沿う沈線文，渦巻状沈線文	210
6	CO85区・北ベルト2層	深鉢・—	胴部：区画隆線文，隆線に沿う沈線文，縄文（LR）	210
7	CO85区・2層	深鉢・E(Ⅰ)1a	口縁部：平縁，横位平行押圧縄文（LR）	210
8	CO85区・2層	深鉢・D(Ⅱb)1	口縁部：波状縁，口縁に沿う押圧縄文（LR）	210
9	CO85区・2層	深鉢・D(Ⅱa)3	口縁部：波状縁，口縁に沿う押圧縄文（LR）	210
10	CO85区・2層	深鉢・N10	口縁部：突起のつく平縁，縦位押圧縄文（LR），環状突手，「の」字状貼付文，縄文（LR），胴部：区画隆線文，隆線に沿う沈線文，縄文（LR）	210
11	CO85区・2層	深鉢・D(Ⅱ—)—	口縁部：波状縁，三角形深み，横位隆線文	210
12	CO85区・北ベルト2層	深鉢・S11a	口縁部：平縁，無文（ナデ），胴部：無文	210
13	CO85区・北ベルト2層	深鉢・S—	口縁部：突起のつく平縁，縦位押圧縄文（Lr）（突起上），横位押圧縄文（Lr）	210
14	CO85区・2層	深鉢・S—	口縁部：平縁，渦巻状貼付文（上端），胴部：横位隆帯，縦位刻目文（隆線上），胴部：無文	210
15	CO85区・2層	深鉢・D(Ⅱb)2	口縁部：波状縁，「の」字状貼付文（波頂部），隆線文，横位押圧縄文（LR），縦位押圧縄文（LR），弧状押圧縄文（LR）	210
16	CO85区・2層	深鉢・N6—	口縁部：平縁，横位隆線文，連弧状貼付文（端部，隆線上）	210
17	CO85区・2層	深鉢・N—	口縁部：波状縁，連弧状貼付文（波頂部），縦位刻目文（貼付上）	210
18	CO85区・2層	深鉢・—	胴部：沈線文，縄文（LR）	210
19	CO85区・2層	深鉢・—	胴部：波状隆線文，隆線に沿う沈線文，縄文（LR）結節文（片結び一類）	210
20	CO85区・2層	深鉢・—	胴部：波状隆線文，縄文（LR）結節文（片結び一類）	210

第374図　東側遺物包含層出土土器（CO85区・2層）

番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CO85区・1層	深鉢・D(Ⅰ(?))10a	口縁部：区画隆線文，隆線に沿う押圧縄文（Lr）	211
2	CO85区・1層	深鉢・E(Ⅰ)2a	口縁部：平線，横位平行隆線文，縦位押圧縄文（LR），胴部：縄文（LR）	211
3	CO85区・1層	深鉢・—	胴部：区画沈線文，刺突文，結束（第1類）羽状縄文（RL×LR）	211
4	CO85区・1層	浅鉢・A6	口縁部：波状線，縦位押圧縄文（Lr）	211

第375図　東側遺物包含層出土土器（CO85区・1層）

ＣＰ85 区

第１層：第 376 図

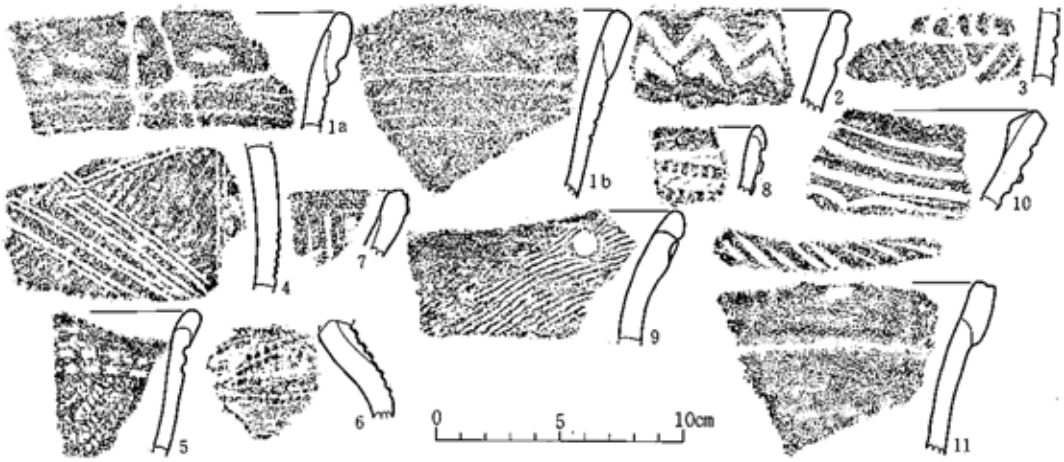
第 376 図 1～5：頸部がゆるやかに外反し、口縁部が肥厚して外傾する器形と思われる。口縁部には山形状の沈線文、円形の盲孔が施され、頸部には横位、沈線文、押引き文が施されている。

第 376 図 6～8：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部が短く外傾し、胴部が膨む器形と思われる。細い粘土紐貼付によって文様が施され半截竹管による押引きが加えられている。

第 376 図 9：頸部がゆるやかに外反し、口縁部は外傾する器形と思われる。波頂部には盲孔が配されている。

第 376 図 10：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部がわずかに内弯しながら外傾する器形と思われる。弧状の隆線文・沈線文が施されている。

第 376 図 11：口縁部は複合口縁状を呈している。口縁部上端には斜位沈線文が連続して施されている。



番号	地区・層位	器形・分類	文　様　の　特　徴	図版
1a,b	CP85区・西ベルト１層	深鉢・A(Ⅰ)2	口縁部：平縁、円形の盲孔、山形状沈線文。頸部：半截竹管による平行横位沈線文	211
2	CP85区・１層	深鉢・A(Ⅰ)3	口縁部：平縁、鋸歯状沈線文	211
3	CP85区・西ベルト１層	深鉢・A－	頸部：平行沈線文、半截竹管による刺突文、縄文（RL）	211
4	CP85区・西ベルト１層	深鉢・A－	胴部：半截竹管による平行沈線文、縄文（LR）	211
5	CP85区・西ベルト１層	深鉢・A(Ⅰ)4	口縁部：小突起のつく平縁、横位平行押引き文、胴部：縄文（LR）	211
6	CP85区・西ベルト１層	深鉢・H2a	胴部：粘土紐貼付文、渦巻状粘土紐貼付文、鋸歯状粘土紐貼付文、半截竹管による押引き文（貼付上）	211
7	CP85区・西ベルト１層	深鉢・H2a(？)	口縁部：平縁、粘土紐貼付文、半截竹管による押引き文（貼付上）	211
8	CP85区・１層	深鉢・S－	口縁部：平縁、横位粘土紐貼付文、縦位刻目文。	211
9	CP85区・１層	深鉢・S10a	口縁部：突起のつく平縁、盲孔、縄文（Lr）	211
10	CP85区・西ベルト１層	深鉢・D(Ⅱc2(？))1a	口縁部：波状縁、口縁に沿う隆線文、隆線に沿う沈線文、弧状沈線文	211
11	CP85区・１層	深鉢・S9c	口縁部：平縁、斜位刻目文（上唇）、無文（ナデ）、胴部：無文（ナデ）	211

第376図　東側遺物包含層出土土器（CP85区・１層）

（23）88 列（CM88 区・CN88 区・CO88 区・CP88 区・CQ88 区・CR88 区）

CM88 区

第 5 層上面：第 377 図

第 377 図 1：頸部がゆるい「く」字状にくびれ、口縁部は内弯気味に外傾する器形である。口縁部に文様帯が構成され、弧状の区画隆線文か施されている。区画内には押圧縄文が施されている。

第 4 層：第 378 図

第 378 図 1：口縁部破片である。口縁上端には弧状貼付文が付され、口縁部には横位平行押圧縄文が施されている。

第 378 図 2：胴部が膨む器形である。胴部には隆線文・刺突文・沈線文が施されている。

第 378 図 3：口縁部～胴部破片である。口縁部には、隆線文・沈線文が施されている。

第 378 図 4：胴部から口縁部にかけて内弯する器形である。口縁部には鍔状に隆帯がめぐり、指頭状圧痕が加えられている。頸部には縦位押圧縄文が連続して施されている。胴部には弧状の区画沈線文と渦巻状沈線文が施されている。

第 378 図 5：胴部破片である。懸垂隆線文と弧状沈線文が施されている。

第 378 図 6：口縁部破片である。口縁部上端には連弧状貼付文が付されている。口縁部には横位隆線文、縦位押圧縄文が配されている。

第 378 図 7：口縁部は複合口縁状を呈している。縦位押圧縄文が連続施文されている。

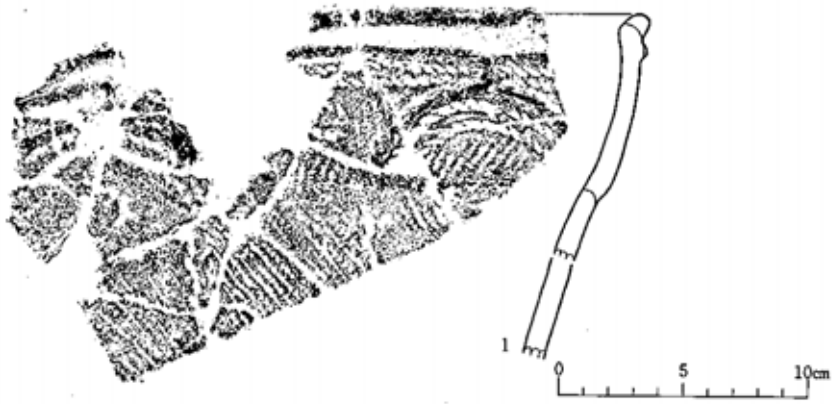
第 4 層上面：第 379 図

第 379 図 1：胴中位に最大径をもち、口縁部にむかってゆるやかに内弯する器形である。口縁部には鍔状の隆帯がめぐり、指頭状圧痕が加えられている。横位・縦位の押圧縄文が施されている。4 単位の橋状把手には、ふたつの渦巻文が施されている。胴上部には、横位平行押圧縄文間に縦位押圧縄文が連続して施されている。胴下部には、4 単位の「Y」字状懸垂隆線文が施されている。

第 3 層：第 380 図 1～2

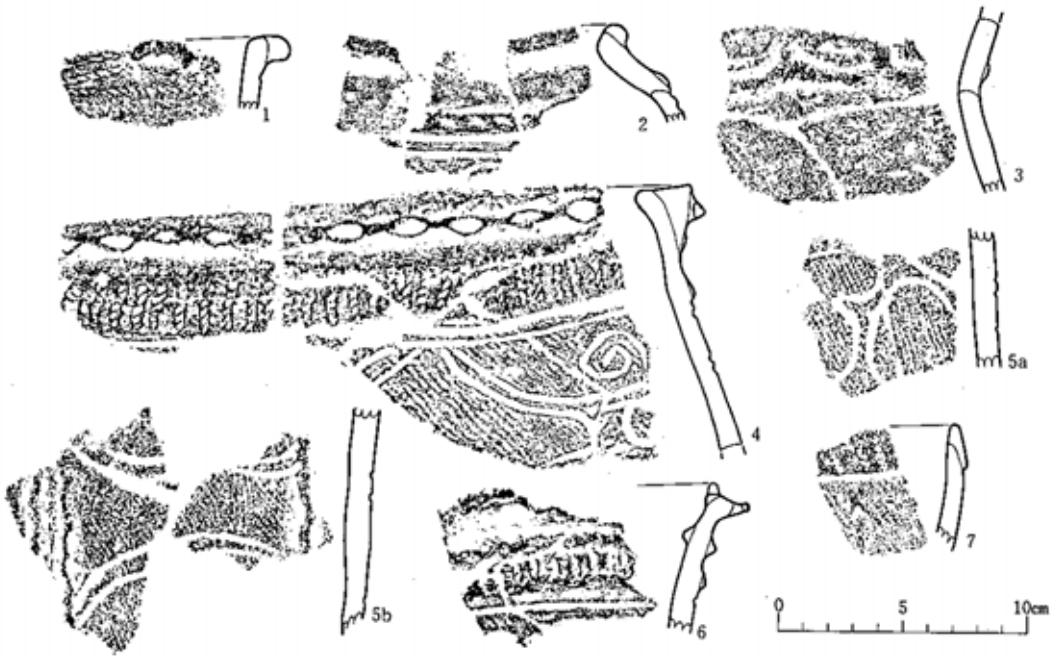
第 380 図 1：頸部がゆるい「く」字状にくびれている。口縁部には押圧縄文が施されている。

第 380 図 2：口縁部破片である。横位の平行する隆線文が設けられ、下位には指頭状圧痕が



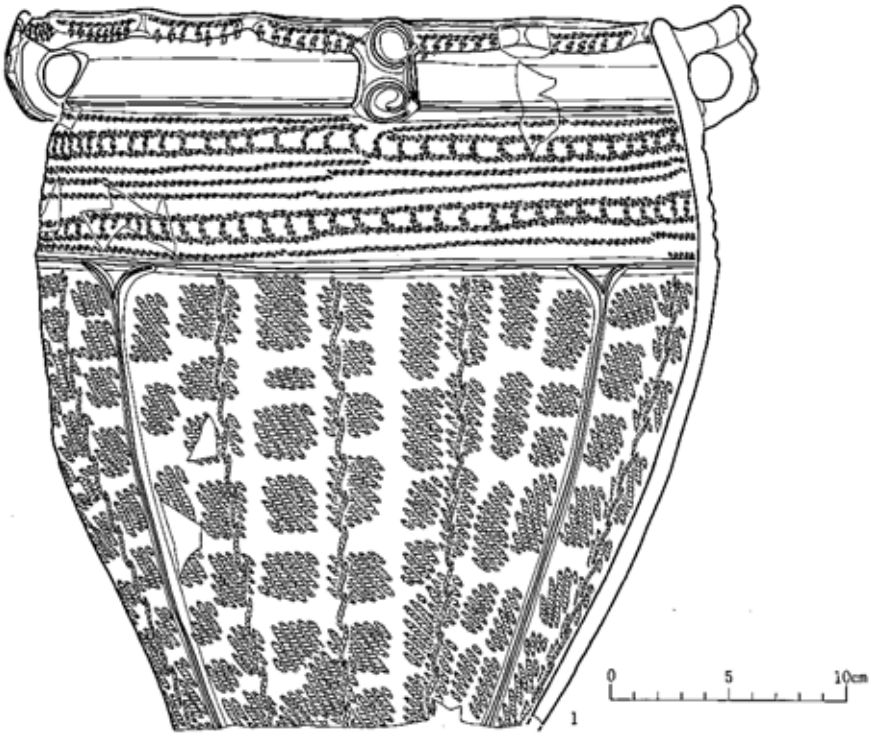
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CM88区・5層上面	深鉢・D(Ⅰ)8c	口縁部：平縁，区画隆線文，隆線に沿う押圧縄文（LR），縄文（LR），胴部：縄文（LR）縦筋文（不結び一部）	264

第377図　東側遺物包含層出土土器（CM88区・5層上面）



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CM88区・4層	深鉢・S—	口縁部：平縁，弧状貼付文，横位押平行圧縄文（Lr）	264
2	CM88区・4層	深鉢・O2	口縁部：平縁，無文，胴部：区画隆線文，列突文（隆線上），隆線に沿う沈線文	264
3	CM88区・4層	深鉢・D—	口縁部：区画隆線文，隆線に沿う沈線文，胴部：縄文（LR）	265
4	CM88区・4層，CM88区・4層上面，CN89区・西ベルト2層	深鉢・O2	口縁部：平縁，横位隆帯，指頭状圧痕（隆帯上），胴部：横位押圧縄文（Lr）胴部：弧状区画沈線文，渦巻状沈線文，縄文（Lr）	265
5a,b	CM88区・4層，CM88区・3層	深鉢・S5d	胴部：禁断隆線文，区画隆線文，相対する弧状沈線文，縄文（LR）	265
6	CM88区・4層	深鉢・S5d	口縁部：突起のつく平縁，連弧状貼付文（上端），縦位刻目文（貼付上），横位平行隆線文，指頭状圧痕，縦位押圧縄文（LR），胴部：弧状沈線文，縄文（LR）	265
7	CM88区・4層	深鉢・E(Ⅰ)2a	口縁部：平縁，縦位押圧縄文（LR），胴部：縄文（LR）	265

第378図　東側遺物包含層出土土器（CM88区・4層）



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CM88区・4層上面	深鉢・O1	口縁部：平縁、横位隆帯、指頭状圧痕、横位：縦位押圧縄文（LR）、横状断形、縄巻状隆線文、胴部：横位平行隆線文、横位平行押圧縄文（LR）、縦位押圧縄文（LR）、「Y」字状懸垂隆線文、縄文（LR）結節文（内結び一段）	63－1

第379図　東側遺物包含層出土土器（CM88区・4層上面）

番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CM88区・3層	深鉢・D(Ⅰ)5b	口縁部：横位押圧縄文（LR）、連弧状押圧縄文（LR）、指頭によるナデツケ、縄文（LR）	265
2a,b	CM88区・3層	深鉢・－	口縁部：平縁、横位平行隆線文、指頭状圧痕（隆線上）、縦位刻目文（隆線上）	265
3	CM88区・2層	深鉢・S－	口縁部：小波状縁、縦位押圧縄文（LR）（上端）、胴部：縄文（LR）結節文（内結び一連）	265

第380図　東側遺物包含層出土土器（CM88区・3層・2層）

番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CM88区・1層	深鉢・H2b	口縁部：小突起のつく平縁、半截竹管による平行沈線文、三角形の彫去、横状把手（剥落）	265
2	CM88区・1層	深鉢・N5b	口縁部：平縁、横位平行押圧縄文（Lr）、胴部：区画隆線文、隆線に沿う押圧縄文（Lr）	265
3	CM88区・1層	深鉢・－	口縁部：突起のつく平縁、縄巻状貼付文、横位隆線文、押圧縄文（LR）（貼付・隆線上）、横位平行沈線文	265
4	CM88区・1層	深鉢・D(Ⅰ)1e	口縁部：平縁、横位平行押圧縄文（Lr）、縦位押圧縄文（Lr）	265

第381図　東側遺物包含層出土土器（CM88区・1層）

加えられている。角押し風に連続する縦位刻目文が施されている。

第2層：第380図3

第380図3：口縁部破片である。口縁部上端には縦位押圧縄文が連続して施されている。

第1層：第381図

第381図1：頸部がつよく「く」字状にくびれる器形と思われる。橋状把手が剥落している。

第381図2～4：口縁部破片である。押圧縄文が施されている。

C N88区

第5層：第382図

第382図1～2：口縁部破片である。1は円環状の突起と橋状把手が付されている。2は隆線文と押圧縄文が施されている。

第4層上面：第383図～第384図

第383図1：頸部がゆるい「く」字状にくびれ、口縁部がわずかに内弯しながら外傾し、胴部がゆるやかに膨む器形である。口縁部には5単位の弧状区画隆線文が施され、区画内には渦巻状あるいは弧状の沈線文が施されている。胴上部には6単位の波状隆線文が施され、各々渦巻状の沈線文が描かれている。一部隆線上には刻目文が施されている。

第384図1：口縁部破片である。円形貼付文が付されている。

第384図2：胴部破片である。懸垂隆線文と平行沈線文が施されている。

第384図3：弁状を呈する波状縁の口縁部破片である。波頂部には縦位押圧縄文が施されている。

第384図5：口縁部破片である。口縁部上端には連弧状貼付文が配されている。口縁部には押圧縄文か施されている。

第384図6：貫通孔を持つ「の」字状を呈する突起が付されている。押圧縄文・沈線文が施されている。

第384図8～9：文様意匠の施されない土器である。8の器外面には粘土紐の継ぎ目が明瞭に残されている。9は頸部がゆるく「く」字状にくびれる器形である。

第394図4、7：浅鉢形土器である。4は口縁部に横位隆線文、横位平行押圧縄文が施されている。7は、半截竹管による弧状・渦巻状平行沈線文が施されている。

第3層：第385図～第387図

第385図1：頸部がゆるやかに外反し、口縁部が肥厚して外傾する器形である。口縁部は波状縁を呈し、波頂部下には橋状把手の剥落痕がある。弧状・斜位沈線文と円形竹管文が施されている。

第385図2：胴部から口縁部にむかってゆるやかに内弯している。弧状の区画隆線文と沈線文・交互刺突文が施されている。

第385図3：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部が短く外傾し、胴部が膨む器形である。胴部上半に文様帯が設けられ、相対する弧状の区画隆線文が配され、その間に沈線文が描かれている。部分的に交互刺突文が加えられている。

第385図4～5：文様意匠の施されない土器である。刻目文として4は波頂部に縦位押圧縄文、5は刺突文が施されている。

第386図1～7：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部の文様が押圧縄文単独あるいは隆線文と押圧縄文によって施される土器である。1 は相対する弧状押圧縄文と渦巻状押圧縄文が施されている。4 は口縁部がつよく内弯し、口縁上部が短く外傾している。口縁部には弧状の押圧縄文が施されている。5 は口縁部が内弯しながら外傾し、キャリパー状の器形である。口縁部上端には「の」字状貼付文が付されている。口縁部は4単位の隅丸菱形状をなす区画隆線文が配され、隆線に沿って押圧縄文が施されている。頸胴部には連弧状・渦巻状をなす押圧縄文が配されている。6の口縁部には横位平行押圧縄文が施文されている。

第386図8～10：頸胴部破片で、隆線文と沈線文によって文様が施される土器である。

第386図11：頸胴部破片である。頸部には、楕円形貼付文が付されている。

第387図1：口縁部被片である。口縁部には、「x」字状隆線文、弧状押圧縄文が施されている。

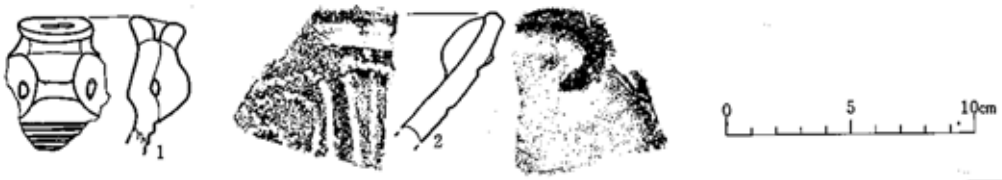
第387図2～5、7～11：縦位押圧縄文の連続施文の施される土器である。8は弧状の区画隆線文・渦巻状隆線文、隆線に沿う沈線文が口縁部に施され、頸部隆帯に連続施文されている。

第387図6：口縁部破片である。突起内面には「S」字状貼付文が付されている。口縁部には橋状部が設けられている。

第387図12～14：胴部破片である。12、14 は隆線文と隆線に沿う沈線文が施されている。13は区画隆線文と押圧縄文が施されている。

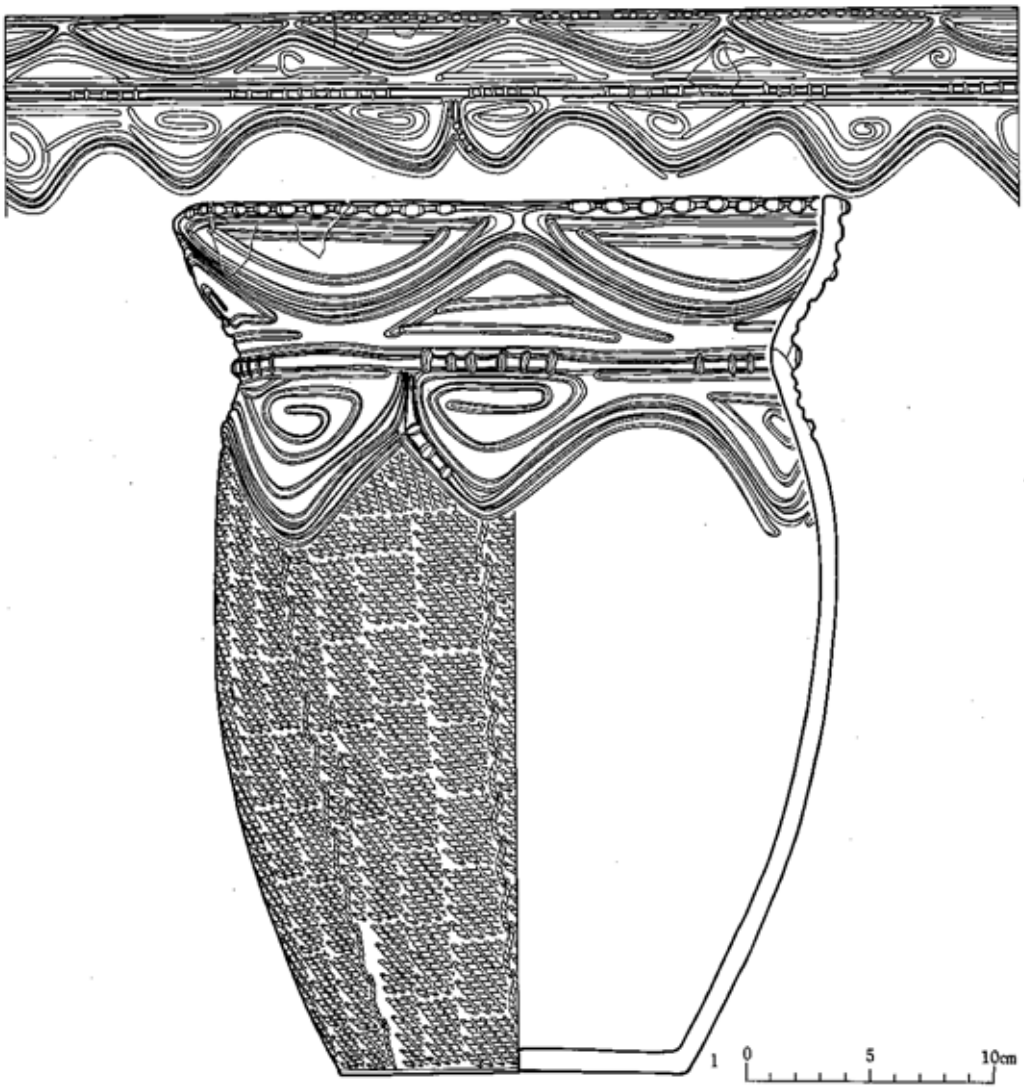
第387図15～17：文様意匠が施されない土器である。15 の口縁部上端には「S」字状貼付文が付されている。17の口縁部下端には刺突文が連続して施されている。

第387図18～19：浅鉢形土器である。18 の口縁部には連弧状貼付文・連弧状押圧縄文が施されている。



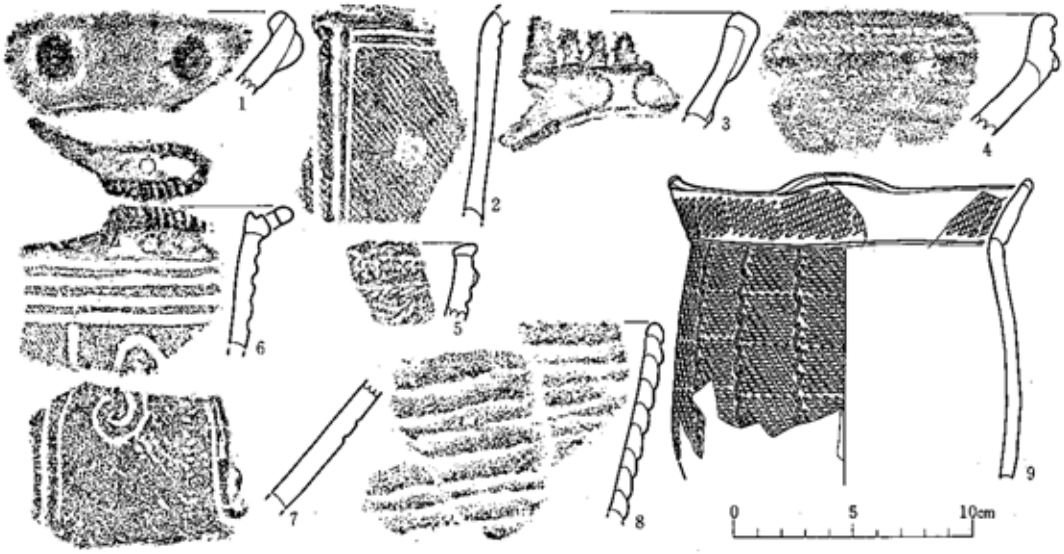
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CN88区・5層	深鉢・D(Ⅰ)−(?)	口縁部；突起のつく平縁，円環状貼付文（上端），横状把手，横位平行沈線文，砂土；金雲母を多く含む	265
2	CN88区・5層	深鉢・D(Ⅱb)2	口縁部；波状縁，「の」字状貼付文（波頂部内面），区画隆線文，隆線に沿う押圧縄文（RL）	265

第382図　東側遺物包含層出土土器（CN87区・5層）



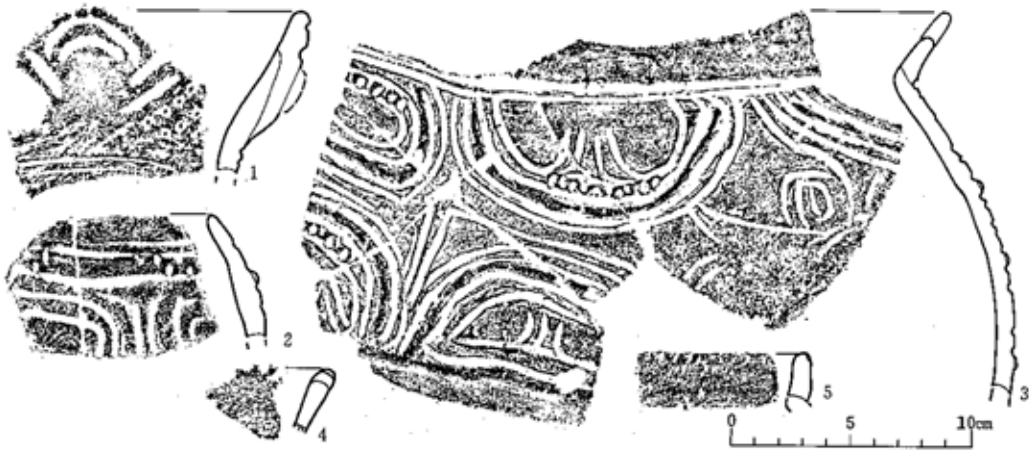
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CN88区・4層上面	深鉢・E(Ⅰ)5	口縁部；平縁，弧状区画隆線文，指頭状圧痕（上端），隆線に沿う沈線文，縄巻状沈線文，頸部；横位隆帯，半截竹管による刺突文（隆線上），胴部；波状隆線文，半截竹管による刺突文，縄巻状沈線文，縄文（LR）結節文（片結び一撚），底部；網代痕（1−1）	64−1

第383図　東側遺物包含層出土土器（CN87区・4層上面(1)）



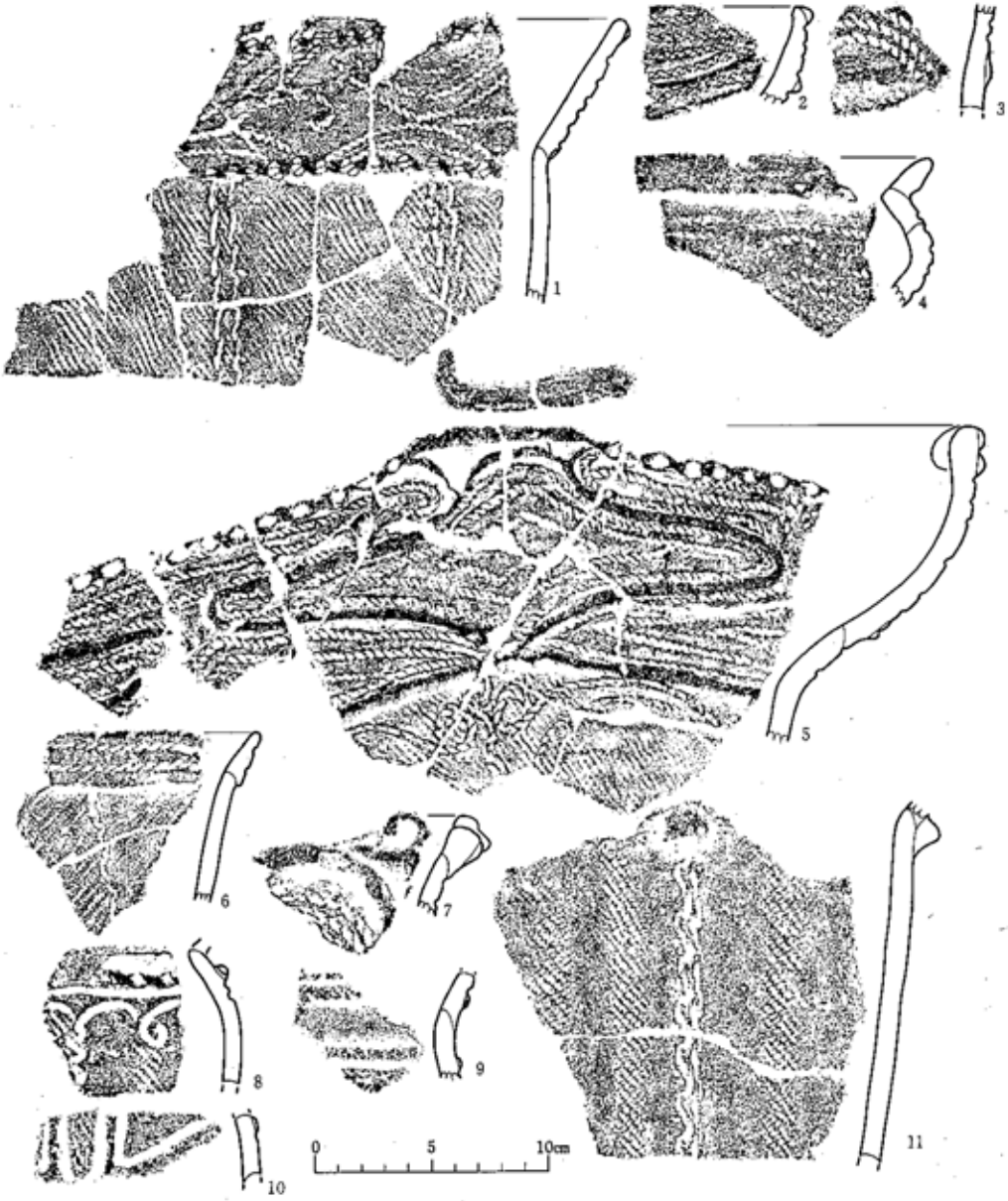
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CN88区・4層上面	深鉢・H2b	口縁部：平縁，円形貼付文，縦位粘土紐貼付文（摩滅）	265
2	CN88区・4層上面	深鉢・S4b	胴部：懸垂隆線文，平行沈線文，縄文（LR）	265
3	CN88区・4層上面	深鉢・D(IIc2)1a	口縁部：波状縁，縦位押圧縄文（LR）（波頂部），区画隆線文，「ｘ」字状貼付文	265
4	CN88区・4層上面	浅鉢・A3c	口縁部：平縁，横位隆線文，横位平行押圧縄文（Lr），胴部：無文（ナデ）	265
5	CN88区・4層上面	深鉢・D(I)5b(？)	口縁部：小突起のつく平縁，逆渦状貼付文（上端），縦位押圧縄文（RL），横位隆線文，区画押圧縄文（RL）	265
6	CN88区・4層上面	深鉢・W4	口縁部：突起のつく平縁，「の」字状貼付文（上端），縦位押圧縄文（Lr）（結び上），貫通孔，胴部：横位平行沈線文，縄文（Lr），胴部：区画沈線文，縄文（Lr）	265
7	CN88区・4層上面	浅鉢・A3c	胴部：半截竹管による平行沈線文，結束（第1種）羽状縄文（RL×LR）	265
8	CN88区・4層上面	深鉢・S11a	口縁部：平縁，無文（～外面に粘土紐の継ぎ目を明瞭に残す）	
9	CN88区・4層上面	深鉢・W3b	口縁部：小突起のつく平縁，縄文（LR），胴部：縄文（LR）結束文（片結び一環）	63－3

第384図　東側遺物包含層出土土器（CN88区・4層上面(2)）



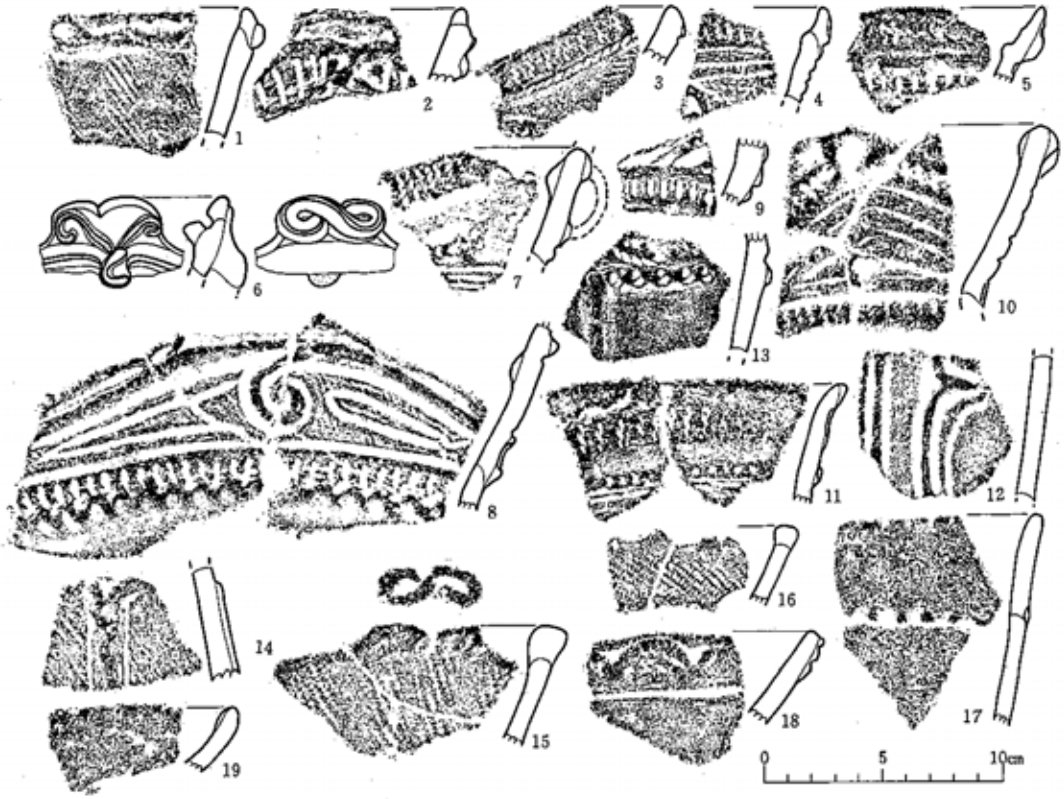
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CN88区・3層	深鉢・A(II)2	口縁部：波状縁，弧状沈線文，斜位沈線文，楕円紋手（刺突），円形竹管文，胴部：半截竹管による平行沈線文	266
2	CN88区・3層	深鉢・N6a	口縁部：平縁，横位平行沈線文，交互刺突文，区画隆線文，隆線に沿う沈線文，縄文（LR）	266
3	CN88区・3層	深鉢・N5a	口縁部：波状縁，無文（ナデ），胴部：相対する弧状区画隆線文，隆線に沿う沈線文，交互刺突文，渦巻状沈線文	266
4	CN88区・3層	深鉢・W－	口縁部：波状縁，縦位押圧縄文（波頂部），無文（ナデ）	266
5	CN88区・3層	深鉢・V－	口縁部：平縁，刺突文（上端）	266

第385図　東側遺物包含層出土土器（CN88区・3層(1)）



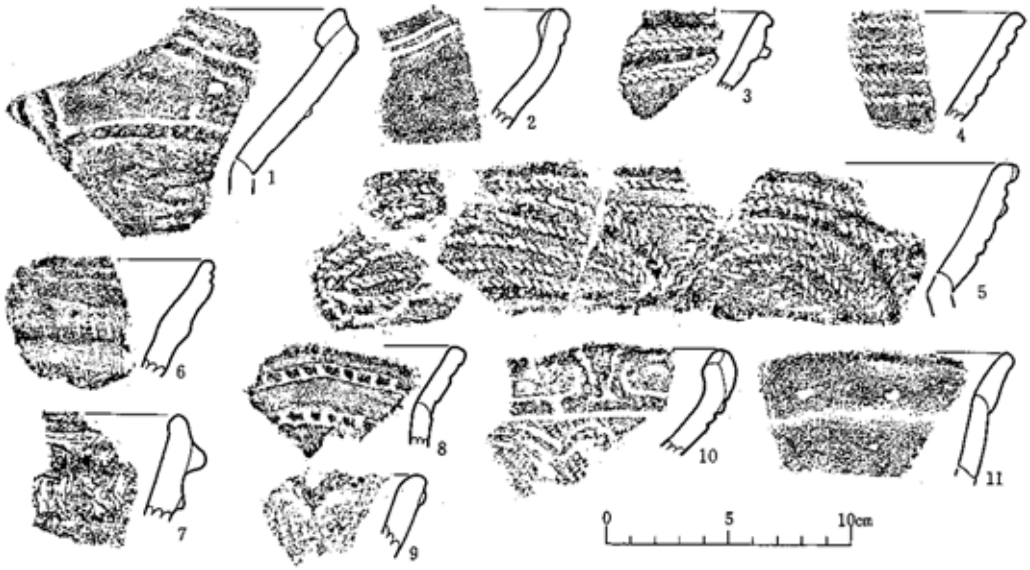
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CN88区・3層	深鉢・D(Ⅰ)10a	口縁部：平縁，口縁に沿う隆線文，斜位押圧縄文（LR）（隆線上），相対する弧状区画押圧縄文（LR），渦巻状押圧縄文（LR），胴部：縄文（LR）結節文（片結び一類）	266
2	CN88区・3層	深鉢・D(Ⅰ)10a	口縁部：平縁，区画隆線文，隆線に沿う押圧縄文（LR）	266
3	CN88区・3層	深鉢・D(Ⅰ(？))10a	口縁部：蛇弧状押圧縄文（LR），縄文（LR），胴部：縄文（LR）	266
4	CN88区・3層	深鉢・L5	口縁部：平縁，無文（ナデ）（上端），弧状区画押圧縄文（Lr）	266
5	CN88区・3層	深鉢・D(Ⅰ)10a	口縁部：突起のつく平縁，「の」字状貼付文（上端），区画隆線文，渦巻状押圧（隆線上），隆線に沿う押圧縄文（Lr），渦巻状押圧縄文（Lr），縄文（Lr）結節文（両結び一類）	266
6	CN88区・3層	深鉢・S5a	口縁部：平縁，横位平行押圧縄文（RL），胴部：縄文（RL）結節文（片結び一類）	266
7	CN88区・3層	深鉢・D(Ⅰ)7	口縁部：突起のつく平縁，「の」字状貼付文（上端），弧状区画隆線文，隆線に沿う押圧縄文（LR）	266
8	CN88区・3層	深鉢・N10	胴部：横位隆線文，刺突文（隆線上），隆線に沿う沈線文，蛇状沈線文，渦巻状沈線文，縄文（Lr）	266
9	CN88区・3層	深鉢・F(Ⅰ)4(？)	胴部：横位平行隆線文，隆線に沿う沈線文	266
10	CN88区・3層	深鉢・J1a	胴部：区画隆線文，隆線に沿う沈線文	266
11	CN88区・3層	深鉢・－	頸部：楕円形貼付文，胴部：縄文（LR）結節文（両結び一類）	266

第386図　東側遺物包含層出土土器（CN88区・3層(2)）



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CN88区・3層	深鉢・S−	口縁部：平縁，「x」字状隆線文，弧状押圧縦文（LR），胴部：縦文（LR）	266
2	CN88区・3層	深鉢・D(IIa2)1c	口縁部：波状縁，縦位刺目文（波頂部），区画隆線文，渦巻状隆線文，縦位押圧縦文（Lr）	266
3	CN88区・3層	深鉢・D(IIa2(？))1c	口縁部：波状縁，縦位押圧縦文（RL），区画隆線文，隆線に沿う押圧縦文（RL），縦文（RL）	266
4	CN88区・3層	深鉢・S−	口縁部：小突起のつく平縁，縦位押圧縦文（Lr）（上端），弧状区画隆線文，横位押圧縦文（Lr）	266
5	CN88区・3層	深鉢・D(IIb)−	口縁部：波状縁，「の」字状貼付文（波頂部），弧状押圧縦文（LR），縦位押圧縦文（LR），弧状粘土紐貼付文（内面）	266
6	CN88区・3層	深鉢・D(IIb)3	口縁部：波状縁，「S」字状貼付文（波頂部内面），橋状部（一部剥落），渦巻状貼付文	266
7	CN88区・3層	深鉢・D(II−)−(？)	口縁部：波状縁，縦位押圧縦文（Lr），区画隆線文，押圧縦文（Lr）（隆線上），隆線に沿う沈線文，横位平行沈線文（斜線）	266
8	CN88区・3層	深鉢・E(IIb(？))1	口縁部：波状縁，弧状区画隆線文，渦巻状隆線文，隆線に沿う沈線文，縦位押圧縦文（LR），楕円状区画（下端），胴部：縦文（LR）	266
9	CN88区・3層	深鉢・E−	口縁部：区画隆線文，隆線に沿う沈線文，縦位押圧縦文（LR）（下端）	266
10	CN88区・3層	深鉢・D(I)1c	口縁部：平縁，「U」字状貼付文，区画隆線文，縦位押圧縦文（LR），重弧状沈線文，横位平行沈線文	266
11	CN88区・3層	深鉢・S5e	口縁部：平縁，口縁に沿う隆線文，楕円状区画（隆線上），縦位押圧縦文（RL），胴部：横位隆帯，刺突文（隆帯上），胴部：横位平行沈線文	266
12	CN88区・3層	深鉢・D−	胴部：区画隆線文，隆線に沿う沈線文（摩滅）	266
13	CN88区・3層	深鉢・F−(？)	胴部：区画隆線文，押圧縦文（Lr）（隆線上），弧状押圧縦文（Lr）	266
14	CN88区・3層	深鉢・J−(？)	胴部：「Y」字状懸垂隆線文，隆線に沿う沈線文，縦文（LR）	266
15	CN88区・3層	深鉢・S3b(？)	口縁部：突起のつく平縁，「S」字状貼付文（上端），縦文（LR）	266
16	CN86区・3層	深鉢・S3b(？)	口縁部：小突起のつく平縁，縦文（RL）	266
17	CN86区・3層	深鉢・S9a	口縁部：平縁，刺突文（端部）（摩滅）	266
18	CN86区・3層	浅鉢・A6	口縁部：平縁，連弧状貼付文，連弧状押圧縦文（Lr），胴部：無文	266
19	CN86区・3層	浅鉢・A8e	口縁部：平縁，無文，胴部：無文（摩滅）	266

第387図　東側遺物包含層出土土器（CN88区・3層(3)）



番号	地区・層位	器形・分類	文　様　の　特　徴	図版
1	CN88区・2層	深鉢・D(II－)－	口縁部：波状縁，区画隆線文，縄文（LR）〔隆線上〕	267
2	CN88区・2層	深鉢・D(IIa)2a(？)	口縁部：波状縁，口縁に沿う沈線文	267
3	CN88区・2層	深鉢・D(I)10a(？)	口縁部：平縁，区画隆線文，隆線に沿う押圧縄文（Lr）	267
4	CN88区・2層	深鉢・E(I)1a	口縁部：平縁，横位平行押圧縄文（Lr）	267
5	CN88区・2層，CN88区・2層上面	深鉢・E(I)7	口縁部：平縁，弧状区画隆線文，隆線に沿う押圧縄文（LR）	267
6	CN88区・2層	深鉢・S－	口縁部：突起のつく平縁，「の」字状貼付文（突起内面），横位平行押圧縄文（Lr），縦位押圧縄文(Lr)	267
7	CN88区・2層	深鉢・D(I)5b(？)	口縁部：平縁，横位平行隆線文，縦位押圧縄文（RL）	267
8	CN88区・2層	深鉢・R(I)－	口縁部：平縁，半截竹管による横位平行沈線文，半截竹管による連続刺突文	267
9	CN88区・2層	深鉢・S－	口縁部：平縁，連弧状貼付文，押圧縄文（LR）〔貼付上〕，縄文（LR）	267
10	CN88区・2層	深鉢・D(I)5c	口縁部：平縁，「ｘ」字状区画隆線文，隆線に沿う沈線文，胴部：連弧状沈線文，縄文（LR），胎土：金雲母を多く含む	267
11	CN88区・2層	深鉢・W3	口縁部：平縁，無文，胴部：無文（摩滅）	267

第388図　東側遺物包含層出土土器（CN88区・２層）

番号	地区・層位	器形・分類	文　様　の　特　徴	図版
1	CN88区・1層	深鉢・D(II－)－	口縁部：波状縁，区画隆線文，隆線に沿う沈線文，結束（第１種）羽状縄文（RL×LR）	267
2	CN88区・1層	深鉢・D(II－)－	口縁部：波状縁，口縁に沿う隆線文，刺突文（隆線上），弧状区画隆線文，隆線に沿う押圧縄文（Lr）	267
3	CN88区・1層	深鉢・D(IIc2)1d	口縁部：波状縁，連弧状貼付文（突起部），縦位押圧縄文（Lr）〔上端〕，円文，円環状貼付文，横位隆線文，刺突文〔貼付，隆線上〕，縦位隆線文，横位平行沈線文，連続刺突文，粘土紐貼付文〔内面〕	267
4	CN88区・1層	深鉢・E－	胴部：「ｘ」字状区画隆線文，波状沈線文，縦位押圧縄文（Lr）〔下端〕，横位沈線文	267

第389図　東側遺物包含層出土土器（CN88区・１層）

第2層：第388図

第388図1〜2：頸部がゆるい「く」字状にくびれ、口縁部が外傾する器形と思われる。弁状をなす波状縁の口縁部破片と思われる。

第388図3〜5：頸部がゆるい「く」字状にくびれ、口縁部が外傾する器形と思われる。口縁部に、3、5は区画隆線文と押圧縄文、4は横位平行押圧縄文が施されている。

第388図6〜7：口縁部破片である。縦位押圧縄文が連続して施されている。

第388図8：口縁部は外傾している。半截竹管による横位平行沈線文・連続刺突文が施されている。

第388図9：口縁部破片である。連弧状貼付文が付されている。

第388図10：口縁部は内弯している。半截竹管による平行沈線文によって文様が構成されている。

第388図11：頸部がゆるい「く」字状にくびれる器形である。無文。

第1層：第389図

第389図1：弁状を呈する波状縁の口縁部破片と思われる。区画隆線文と沈線文が施されている。

第389図2：口縁部破片である。弧状区画隆線文と押圧縄文が施されている。

第389図3〜4：口縁部破片である。3は波頂部中央に円孔が配され、区画隆線文が施されている。隆線上及び、横位平行沈線文間に刺突文が連続して施されている。口縁部内面には、粘土紐貼付文が施されている。4 は「x」字状区画隆線文・波状沈線文とともに縦位押圧縄文が連続して施されている。

（CN88区ベルト）

第5層：第390図

第390図1：胴部破片である。半截竹管による平行沈線文、重弧状沈線文が施されている。

第390図2：口縁部破片である。横位沈線文下端に刺突文が連続して施され、以下に縦位沈線文が施されている。

第390図3：頸部がつよくくびれ、口縁部は内弯しながら外傾する器形である。口縁部に文様帯が構成され、弧状隆線文・渦巻状隆線文と押圧縄文が施されている。

第390図4：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部は内弯気味に外傾する器形である。渦巻状の隆線文、沈線文が波頂部下に配されている。

第 390 図 5〜6：口縁部破片である。5 は隆線文、押圧縄文、半截竹管による刺突文が、6 は縦位の連続する押圧縄文と口縁に沿う押圧縄文が施されている。

第 4 層：第 391 図〜第 392 図

第 391 図 1：弁状を呈する波状縁の口縁部破片である。隆線文が施されている。

第 391 図 3：口縁部破片である。口縁に沿う押圧縄文が施されている。

第 392 図 1：胴上部ですぼみ、口縁部が反り気味に外傾する器形である。口縁部は 2 単位の大波状を呈し、さらに波頂部・波底部には 2 個 1 対の山形状突起が付されている。胴部は、口縁部から垂下する懸垂隆線文によって 4 単位に区画され、各々の区画内には半截竹管による平行沈線文・連続刺突文によって上下ふたつの楕円形を基調とする弧状文が施されている。

第 392 図 2：鉢形土器である。口縁部には連弧状沈線文か施されている。

第 3 層：第 393 図〜第 394 図

第 393 図 1：頸部がわずかにくびれ、口縁部は内弯気味に外傾している。口縁部には相対する弧状・渦巻状の押圧縄文が施されている。胴部は 4 単位の「Y」字状懸垂隆線文によって区画され、各々の区画内には弧状沈線文が施されている。

第 394 図 1：口縁部破片である。口縁下部には押圧縄文が施されている。

第 394 図 2：波状縁を呈する口縁部破片である。波頂部には「の」字状貼付文が付されている。口縁部は波頂部から垂下する隆線文を中心に弧状文、渦巻文が構成されている。

第 394 図 3：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部は内弯しながら外傾する器形である。口縁部は波状を呈し、波頂部には「S」字状貼付文が付されている。波頂部から垂下する懸垂隆線文によって器面は大きく区画され、口縁部では、さらに「x」字状隆線文・沈線文が区画内に構成されている。

第 394 図 4：口縁部破片である。口縁部には押圧縄文が施されている。突起下には貼付文が配され縦位押圧縄文が連続施文されている。

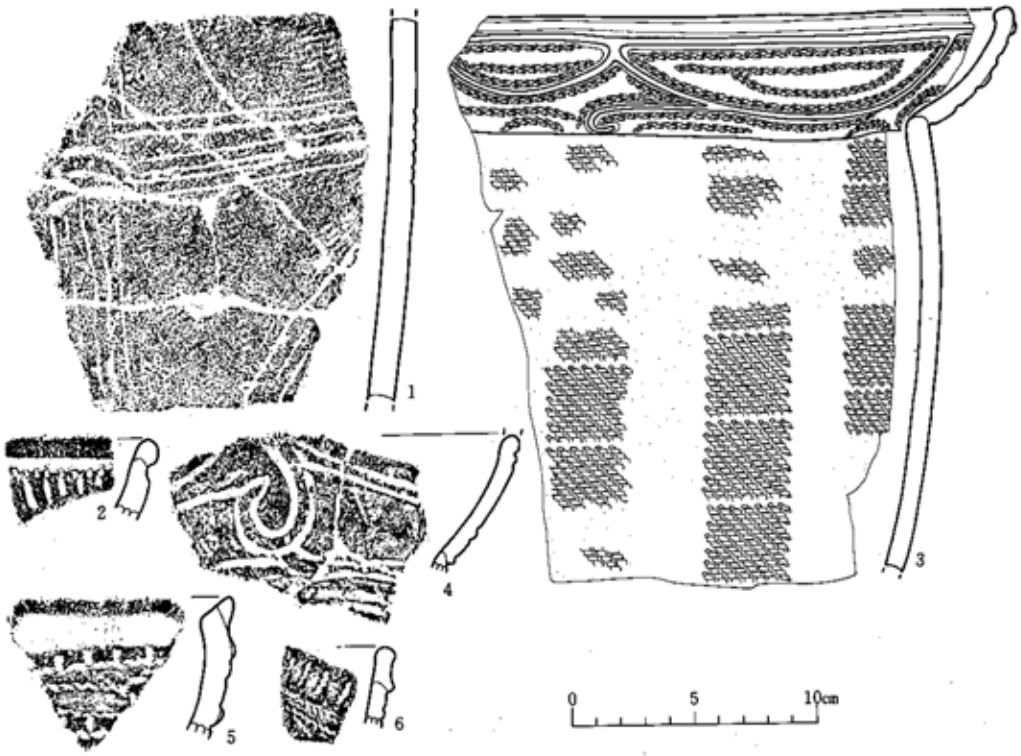
第 2 層：第 395 図

第 395 図 1：口縁部破片である。横位平行押圧縄文・連弧状押圧縄文が施されている。

第 395 図 2：口縁部被片である。突起内面には「の」字状貼付文、突起外面には「V」字状貼付文が施されている。

第 395 図 3〜6：口縁部〜胴部破片である。縦位押圧縄文が連続施文されている。

第 395 図 7：口縁部破片である。横位隆帯上に斜位刻目文、口縁下部に弧状沈線文が施されて

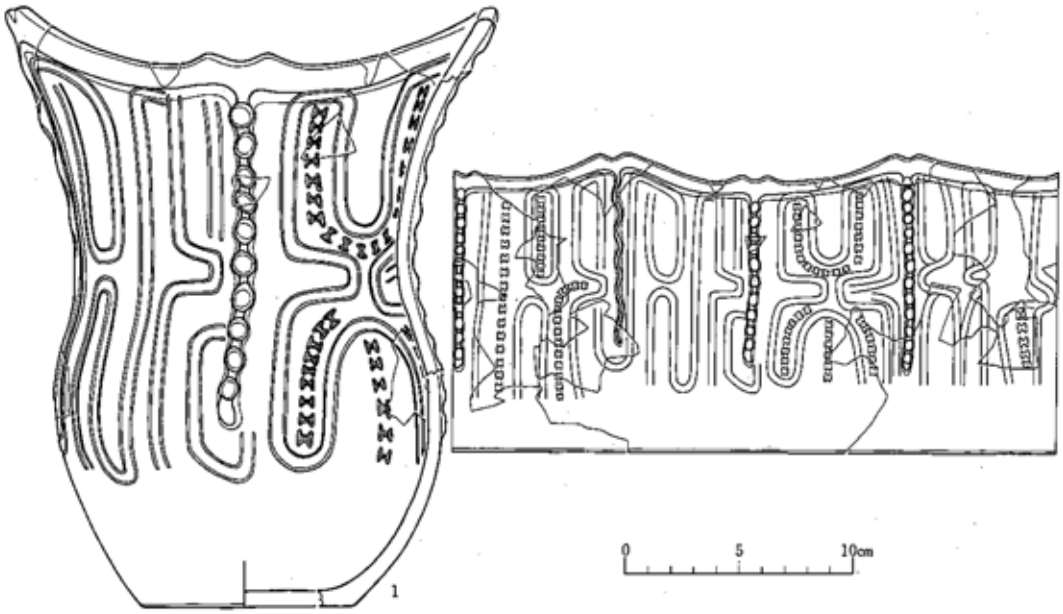


番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CN88区・西ベルト5層	深鉢・A−	胴部：半截竹管による平行沈線文，重弧状沈線文，縄文（LR）	268
2	CN88区・西ベルト5層	深鉢・D(Ⅰ)3	口縁部：平縁，横位沈線文，刺突文，縦位沈線文	268
3	CN88区・西ベルト5層	深鉢・D(Ⅰ)8c	口縁部：平縁，弧状区画隆線文，渦巻状隆線文，隆線に沿う押圧縄文（LR），胴部：縄文（LR）(摩滅)	
4	CN88区・西ベルト5層	深鉢・D(Ⅱa)6a	口縁部：波状線，渦巻状隆線文，隆線に沿う沈線文，頸部：横位平行沈線文，縄文（LR）	268
5	CN88区・西ベルト5層	深鉢・L−	口縁部：平縁，横位平行隆線文，半截竹管による刺突文（隆線上），隆線に沿う押圧縄文（LR）	268
6	CN88区・西ベルト5層	深鉢・D(Ⅱ)c2(？)1c	口縁部：波状線，縦位押圧縄文（Lr），口縁に沿う押圧縄文（Lr）	268

第390図　東側遺物包含層出土土器（CN88区・ベルト5層）

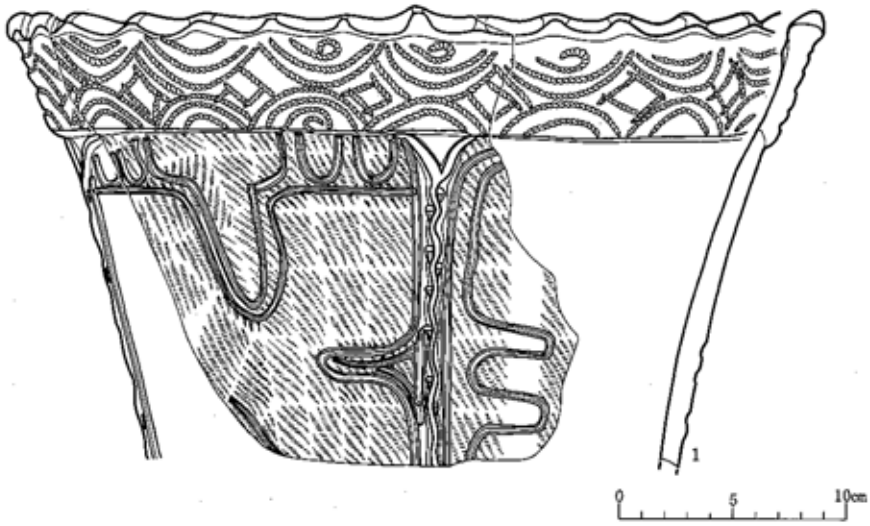
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CN88区・西ベルト4層	深鉢・D(Ⅱc2)1a	口縁部：波状線，縦位刻目文（波頂部），区画隆線文，縄文（LR）	268
2	CN88区・西ベルト4層	鉢・B−	口縁部：平縁，連弧状沈線文，胴部：無文（ナデ）	268
3	CN88区・西ベルト4層	深鉢・D(Ⅱa)4b(？)	口縁部：波状線，口縁に沿う押圧縄文（Lr）	268

第391図　東側遺物包含層出土土器（CN88区・ベルト4層(1)）



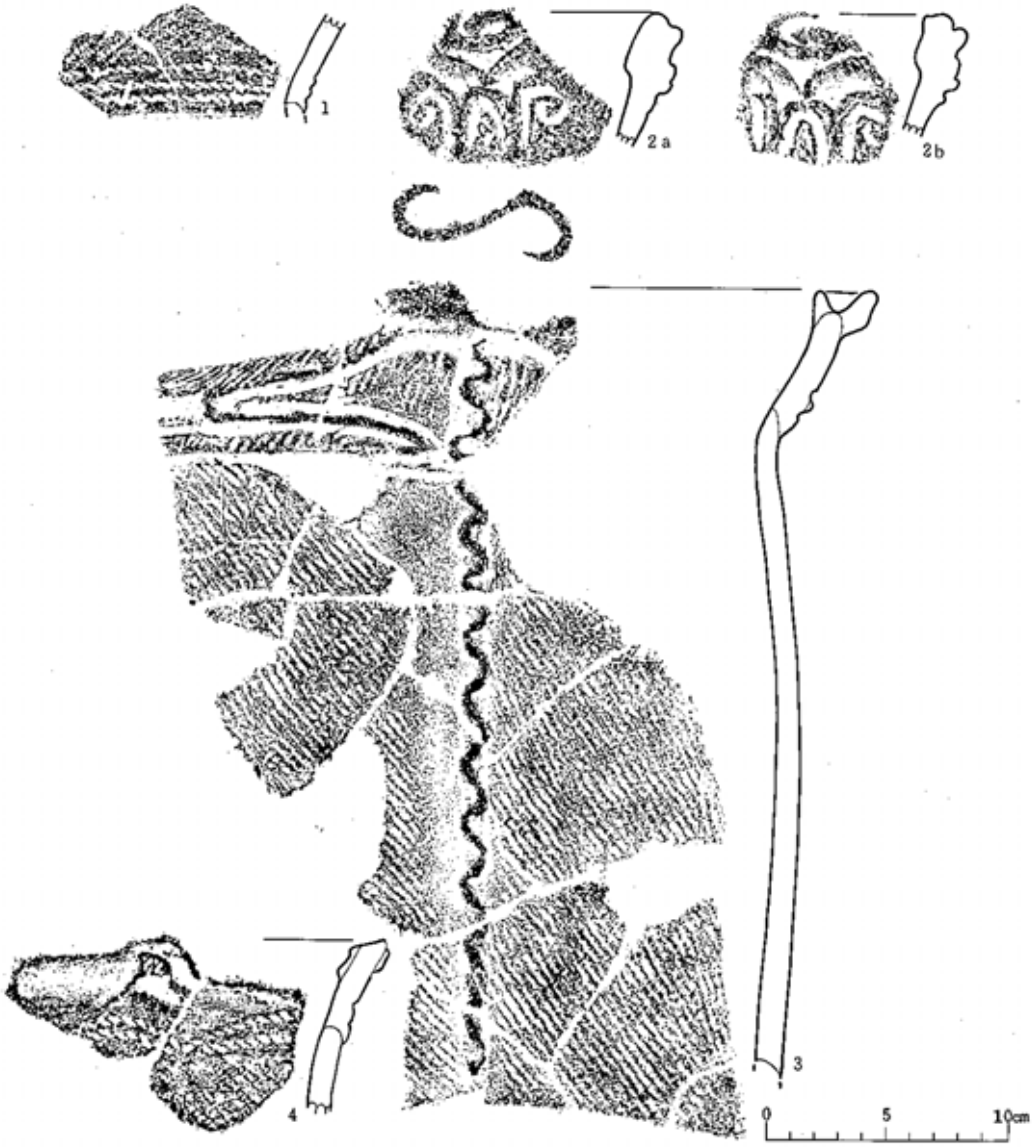
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CN88区・西ベルト4層	深鉢・T1	口縁部：小突起のつく波状縁，縄文（イガキ），胴部：横位隆線文，沖縄状圧痕（隆線上），平軸竹管による低位平行沈線文，平軸竹管による刺突文，底部：縄文（イガキ）	63−2

第392図　東側遺物包含層出土土器（CN88区・ベルト4層(2)）



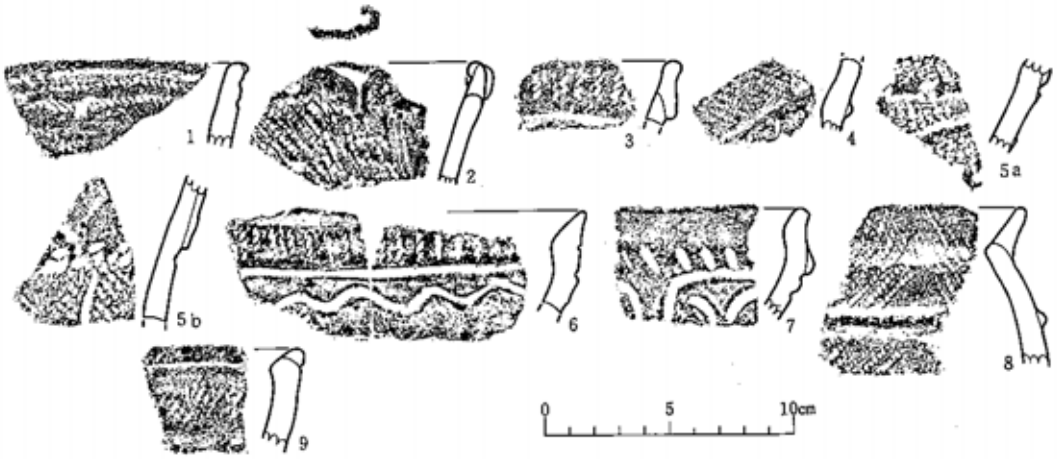
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CN88区・北ベルト3層	深鉢・S7	口縁部：小突状縁，沖縄状圧痕（上縁），相対する弧状押圧縄文（Lr），縄巻状押圧縄文（Lr），胴部：「Y」字状隆線縄文，沖縄状圧痕（隆線沿い），弧状沈線文，縄文（Lr）	268

第393図　東側遺物包含層出土土器（CN88区・ベルト3層(1)）



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CN88区・西ベルト3層	深鉢・D−	口縁部：横位押圧縦文（LR），縦文（LR）	268
2a,b	CN88区・北ベルト3層	深鉢・D(IIb)−	口縁部：波状縁，「の」字状貼付文（波頂部），沈線隆線文，隆線に沿う沈線文，縦巻状沈線文，縦文（RL）	268
3	CN88区・北ベルト3層	深鉢・E(IIb)3	口縁部：波状縁，「S」字状貼付文（波頂部），「ε」字状隆線文，隆線に沿う沈線文，懸垂隆線文，縦文（LR），懸垂し結節隆線文，縦文（LR）	268
4	CN88区・北ベルト3層	深鉢・S−	台縁部：突起のつく平縁，連続状貼付文，斜位押圧縦文（LR）（貼付上），連続状押圧縦文（LR），懸垂し縦文（LR）	268

第394図　東側遺物包含層出土土器（CN88区・ベルト3層）



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CN88区・西ベルト2層	深鉢・D(Ⅰ)5a	口縁部：平縁，横位平行押圧縄文（Lr），連弧状押圧縄文（Lr）	269
2	CN88区・北ベルト2層	深鉢・S－	口縁部：突起のつく平縁，「の」字状貼付文〔突起内面〕，「V」字状文〔突起外面〕，縄文（LR）	269
3	CN88区・北ベルト2層	深鉢・D(Ⅰ)5b	口縁部：平縁，縦位押圧縄文（LR）	269
4	CN88区・北ベルト2層	深鉢・D－	口縁部：波状縁（？），縄文（LR），斜位隆線文，縦位押圧縄文（LR）	269
5a,b	CN88区・北ベルト2層	深鉢・D－(？)	胴部：縦位押圧縄文(LR)〔下端〕，縄文(LR)，頸胴部：弧状沈線文，弧状押圧縄文(LR)，縄文(LR)	269
6	CN88区・北ベルト2層	深鉢・D(Ⅰ)5c	口縁部：平縁，鋸歯状沈線文，横位沈線文，横位隆線文，縦位押圧縄文（LR）	269
7	CN88区・北ベルト2層	深鉢・D(Ⅰ)5c	口縁部：平縁，無文，横位隆帯，刻目文（隆帯上），弧状沈線文	269
8	CN88区・北ベルト2層	深鉢・V3	口縁部：平縁，縄文（LR），胴部：横位隆線文，縄文（LR）	269
9	CN88区・北ベルト2層	深鉢・W3b(？)	口縁部：平縁，縄文（LR）	269

第395図　東側遺物包含層出土土器（CN88区・ベルト２層）

番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CN88区・西ベルト1層	深鉢・H2a	胴部：粘土紐貼付文，半截竹管による押引き文（隆線上），縄文（RL）	269
2	CN88区・西ベルト1層	深鉢・D(Ⅱ－)－	口縁部：波状縁，楕円形貼付文，縦位刻目文（貼付上），横位平行沈線文	269
3	CN88区・東ベルト1層	深鉢・E(Ⅰ)1a	口縁部：平縁，横位平行押圧縄文（LR）	269
4	CN88区・西ベルト1層	深鉢・E(Ⅰ)1a	口縁部：平縁，横位平行押圧縄文（RL）	269
5	CN88区・西ベルト1層	深鉢・D(Ⅱa)6a	口縁部：波状縁，区画押圧縄文（Lr），弧状押圧縄文（Lr）	269
6	CN88区・東ベルト1層	深鉢・S4b	頸胴部：区画隆線文，縦位沈線文，縄文（LR）	269
7	CN88区・西ベルト1層	深鉢・W2b	口縁部：波状縁，口縁に沿う隆線文，楕円状圧痕（隆線上），胴部：縄文（LR）結節文（片結び－縦）	269
8	CN88区・東ベルト1層	深鉢・E(Ⅱb)－	口縁部：波状縁，「の」字状貼付文（上端），縦位押圧縄文（LR），縄文（LR）	269

第396図　東側遺物包含層出土土器（CN88区・ベルト１層）

いる。

第 395 図 8：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部が短く外傾し、胴部が膨む器形である。胴部に文様が施されている。

第 395 図 9：文様意匠の施されない土器である。

第 1 層：第 396 図

第 396 図 1～8：口縁部～胴部破片である。いずれも文様構成は明らかではない。1 が細い粘土紐貼付文と半截竹管による押引き文、2 が横位平行沈線文、3～5 が押圧縄文、6 が隆線文と沈線文、7 が隆線文、8 が隆線文と縦位押圧縄文が施されている。

ＣＯ88 区

第 5 層：第 397 図

第 397 図 1：胴上部でゆるやかに外反し、口縁部は肥厚して外傾する器形と思われる。口縁部には、山形状の突起が付され、盲孔が配されている。盲孔間には沈線文が施されている。

第 397 図 2：胴部破片である。細い粘土紐が横位・鋸歯状に貼付されている。

第 397 図 3～4：口縁部破片である。4 は隆線文・沈線文が施されている。

第 5 層上面：第 398 図～第 405 図

第 398 図 1：胴部破片である。半截竹管による平行沈線文が施されている。

第 398 図 2：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部が短く外傾する器形である。縦位貼付文間に細い粘土紐が横位・鋸歯状に貼付され半截竹管による押引きが加えられている。

第 398 図 3：口縁部破片である。半截竹管による平行沈線文によって文様が構成されている。

第 398 図 4～5：頸部がゆるい「く」字状にくびれ、口縁部が外傾する器形である。隆線文によって文様が構成されている。4 は波状縁で、区画隆線文が貼付されている。5 は平縁で、口縁上部に 4 単位の山形状貼付文が付されている。その直下には縦位隆線文が配され、さらにそれらを横位隆線文が連結している。連結部は弧状に整えられている。口縁上部及び隆線に沿って押圧縄文が部分的に加えられている。

第 398 図 6：口縁部が内傾し、口縁上部が短く外傾する器形である。口縁部には 4 単位の楕円形状区画隆線文が配され、区画内外に沈線文が施されている。

第 399 図 1：頸部がゆるくくびれ、口縁部は反り気味に外傾する器形である。口縁上端には 4 単位の半円形状突起が設けられ、突起内面には渦巻状貼付文、突起外面には弧状貼付文が施さ

れている。胴部には4単位の馬蹄形状の区画隆線文、渦巻状隆線文、連弧状隆線文が配され、さらに隆線に沿って沈線文が施されている。

第400図1〜5、7：口縁部〜胴部破片で文様が隆線文あるいは隆線文と沈線文によって施される土器である。文様帯は1〜2が口縁部に、3〜5が胴上部に構成されている。

第400図6、8、10：文様意匠の施されない土器である。口縁部は複合口縁状を呈している。

第400図9：浅鉢形土器である。口縁部には横位隆線文・平行押圧縄文が施されている。

第401図1：頸部がゆるい「く」字状にくびれ、口縁部はわずかに内弯しながら外傾する器形である。口縁部は弁状を呈する四波状縁で、弧状の区画隆線文が4単位にわたって配されている。区画内には沈線文、刺突文が施されている。

第401図2、第402図1：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部は短く外傾し、胴部が膨む器形である。第401図2は口縁部に突起がひとつ付され、「の」字状を呈している。突起外面には、「x」字状貼付文が施されている。胴部上半に隆線文、沈線文・交互刺突文による文様帯が構成されている。第402図1は、胴上部に弧状の区画文が配され、胴下部には弧状、渦巻状に垂下する沈線文が施されている。

第402図2：胴部から口縁部にかけて、わずかに反りながら外傾する器形である。口縁部は複合口縁状を呈している。

第402図3：浅鉢形土器である。口縁部には、「x」字状区画隆線文、胴部には「Y」字状懸垂隆線文が配されている。さらに隆線に沿って押圧縄文が施されている。

第403図1：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部はつよく内弯し、キャリパー状の器形である。口縁部上端には小突起がひとつ付されている。口縁部は5単位の弧状区画隆線文が付され、区画内には渦巻状隆線文、押圧縄文が施されている。口縁下部には、横位平行沈線間に縦位押圧縄文が連続して施されている。胴部には半截竹管による平行沈線文・連続刺突文が施されている。文様構成は明らかではない。

第404図1：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部はわずかに内弯しながら外傾する器形である。口縁部は5単位の相対する弧状区画隆線文、押圧縄文が施されている。横走する上位の隆線文には指頭状圧痕が連続して施されている。

第404図2：口縁部は複合口縁状を呈し、胴部がゆるやかに膨む器形である。口縁部には横位平行押圧縄文が施されている。

第405図1：頸部がわずかに外反し、口縁部がほぼ直立する器形である。口縁部は横位平行押圧縄文、連弧状押圧縄文が施されている。頸部には横位隆帯が配され、隆帯上には縦位押圧縄文が連続施文されている。

第405図2〜6：口縁部〜胴部破片である。3〜6は口縁部に押圧縄文が施されている。

第 405 図 7〜8：胴底部資料である。7 の胴部には 4 単位の懸垂隆線文が施されている。

第 405 図 9：浅鉢形土器である。口縁部には横位隆線文、横位平行押圧縄文が施されている。

第 4 層：第 406 図〜第 407 図

第 406 図 1：口縁部〜胴部破片である。細い粘土紐によって文様が構成され、半截竹管による押引き文が加えられている。

第 406 図 2〜3：口縁部破片である。山形状の沈線文が連続して描かれている。

第 406 図 4〜5：口縁部〜胴部破片である。半截竹管による平行沈線文が描かれている。

第 406 図 6〜12、23〜24：口縁部〜胴部破片で、区画隆線文・沈線文によって文様が構成される土器である。

第 406 図 13〜22：口縁部破片で、隆線文と押圧縄文あるいは押圧縄文のみによって文様が構成される土器である。

第 407 図 1：頸部がゆるい「く」字状にくびれ、口縁部が反り気味に外傾する器形である。口縁部にはひとつの波状部が設けられ、波頂部から垂下する隆線文の両側に横位・連弧状の押圧縄文が展開している。

第 407 図 2〜6、9〜11：口縁部破片で文様意匠の施されない土器である。口縁部は複合口縁状あるいは頸部がゆるい「く」字状にくびれている。

第 407 図 12〜13：胴底部資料である。底面には網代痕が残されている。

第 406 図 25：浅鉢形土器である。横位隆線文と押圧縄文によって文様が構成されている。

第 4 層上面：第 408 図〜第 412 図

第 408 図 1：胴部破片である。細い粘土紐によって文様が構成されている。

第 408 図 2〜3：口縁部〜胴部破片である。2 は隆線文と沈線文、3 は沈線文が施されている。

第 408 図 4〜6：口縁部破片である。弧状区画隆線文と押圧縄文が施されている。

第 409 図 1：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部は内弯しながら外傾する器形である。口縁上端には「の」字状を呈する突起が施されている。口縁上部は「x」字状を呈する橋状把手がふたつ設けられている。口縁部には、7 単位の相対する弧状区画隆線文が施され、区画の内外には渦巻状隆線文、押圧縄文が施されている。胴上部は 3 単位の長方形状区画が設けられ、各々区画中央には渦巻状隆線文が配されている。胴中位には、帯状に連弧状貼付文がめぐっている。

第 410 図 1：頸部がゆるい「く」字状にくびれ、口縁部は内弯気味に外傾する器形である。

口縁部は山形状を呈する四波状縁で、波頂部から垂下する渦巻状隆線文が施されている。波頂部・波底部上端には円形の貼付文が施されている。胴部には4単位の「Y」字状懸垂隆線文と円形貼付文が付されている。

第410図2：頸部がゆるい「く」字状にくびれ、口縁部はゆるやかに外反している。胴部下半が膨む形状である。上面観が「S」字状を呈する突起がひとつ付され、突起下には連弧状の貼付文が施されている。口縁上端の突起以外の3カ所には「の」字状貼付文が配され、口縁部は、半截竹管による連続刺突文、連弧状押圧縄文が施されている。胴部は4単位の「Y」字状懸垂隆線文、渦巻状隆線文が施されている。

第411図1：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部は短く外傾し、細部が膨む器形である。口縁部は無文である。

第411図2〜3：胴底部資料である。底面には網代痕が残されている。

第412図1〜10：口縁部破片である。1〜3は横位平行押圧縄文が施されている。4〜5は沈線文が施されている。7 の突起の内外には「の」字状貼付文が施されている。他は文様意匠は施されていない。

第412図11：浅鉢形土器である。横位平行押圧縄文が施されている。

第3層：第413図

第413図1〜5：口縁部〜胴部破片である。1〜2は弧状の区画沈線文、4は横位平行沈線文5は「V」字状隆線文、沈線文、円形竹管文が施されている。

第3層上面：第414図〜第415図

第414図1：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部は内弯しながら外傾する器形である。山形状の四波状縁を呈している。口縁部には楕円形状を呈する区画隆線文、押圧縄文が施されている。

第414図2：胴部から口縁部にかけてゆるやかに外反する器形である。口縁部には横位平行押圧縄文、半截竹管による横位平行沈線文、連続刺突文が施されている。

第415図1：胴部が球状に膨む器形で、口縁部には鍔状の隆帯がめぐっている。隆帯上には指頭状圧痕が連続して施されている。口縁上部には円環状の突起が4単位施されている。胴上部には、相対する弧状の区画隆線文、「x」字状貼付文が付されている。区画内には渦巻状沈線文、連弧状沈線文が施されている。胴下部には、2個1対の「Y」字状懸垂隆・線文、連弧状沈線文が施されている。

第415図2：頸部がゆるい「く」字状にくびれ口縁部はわずかに内弯しながら外傾する器形

である。口縁上部には内外面「の」字状を呈する突起が施されている。口縁上部には指頭状圧痕によって連弧状を呈する隆線文が貼付されている。口縁部の突起下には、渦巻状隆線文と横位・弧状の押圧縄文が施されている。胴部には「Y」字状懸垂隆線文、隆線に沿う押圧縄文が施されている。

第 415 図 3：浅鉢形土器である。口縁部には横位平行押圧縄文と縦位押圧縄文が連続して施されている。

第 2 層：第 416 図

第 416 図 1：口縁部破片である。隆線文・沈線文が施されている。

第 416 図 2～6：口縁部破片で、押圧縄文の施される土器である。縦位押圧縄文あるいは刺突文の連続施文とともに構成されている。

第 416 図 7～9：文様意匠の施されない土器である。

第 1 層：第 417 図

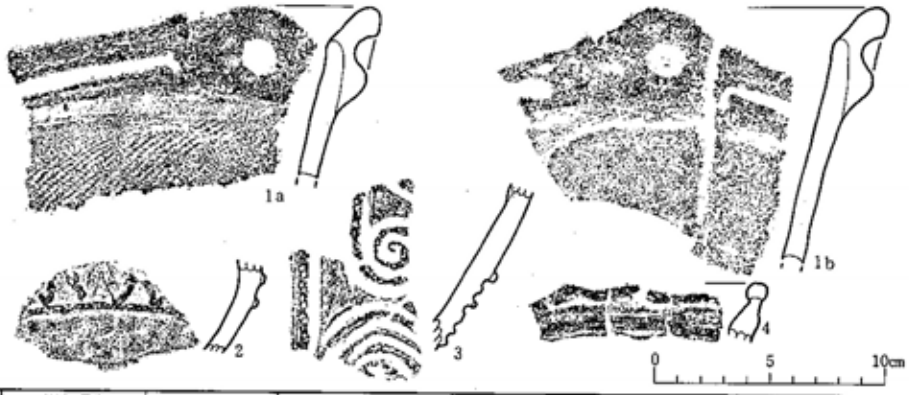
第 417 図 1：胴部から口縁部にかけてゆるやかに外反する器形である。口縁部に連続刺突文、胴部に半截竹管による平行沈線文が施されている。

第 417 図 2：弁状を呈する波状縁破片である。波頂部上端には縦位刻目文、口縁部には連弧状貼付文が施されている。

第 417 図 3～7：口縁部破片で、押圧縄文が施される土器である。区画隆線文とともに用いられている。

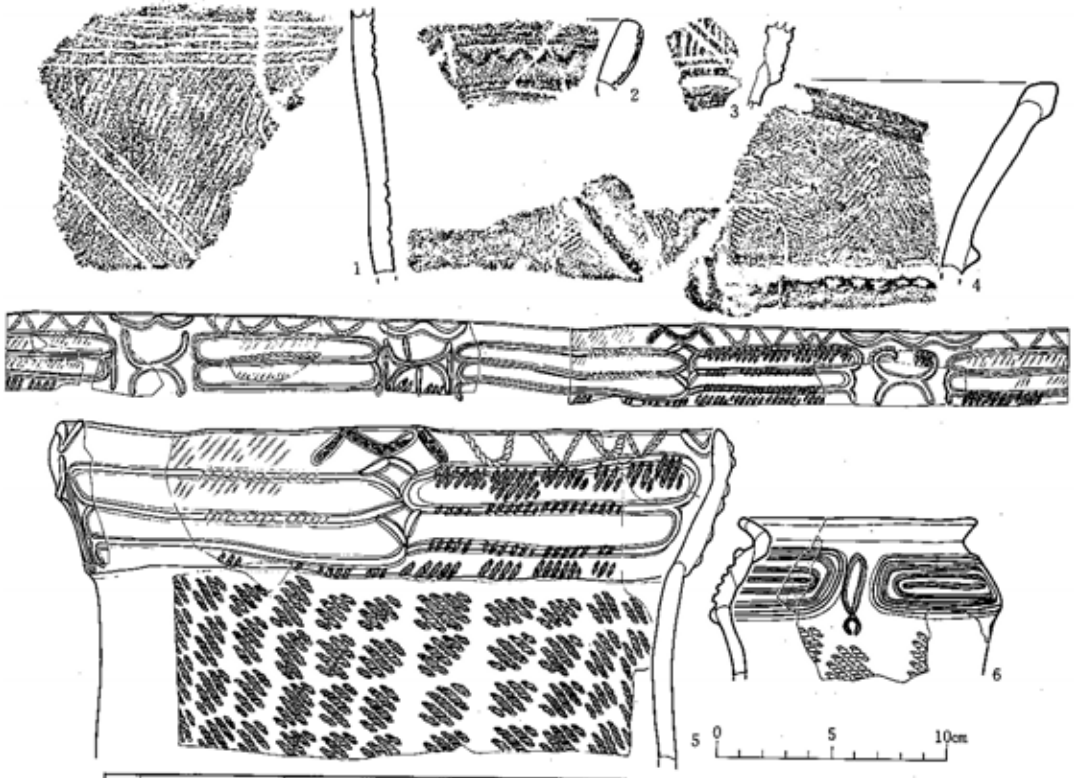
第 417 図 8～10：口縁部破片で、隆線文と沈線文や刺突文が施される土器である。文様構成は明らかではない。

第 417 図 11：無文の浅鉢形土器である。



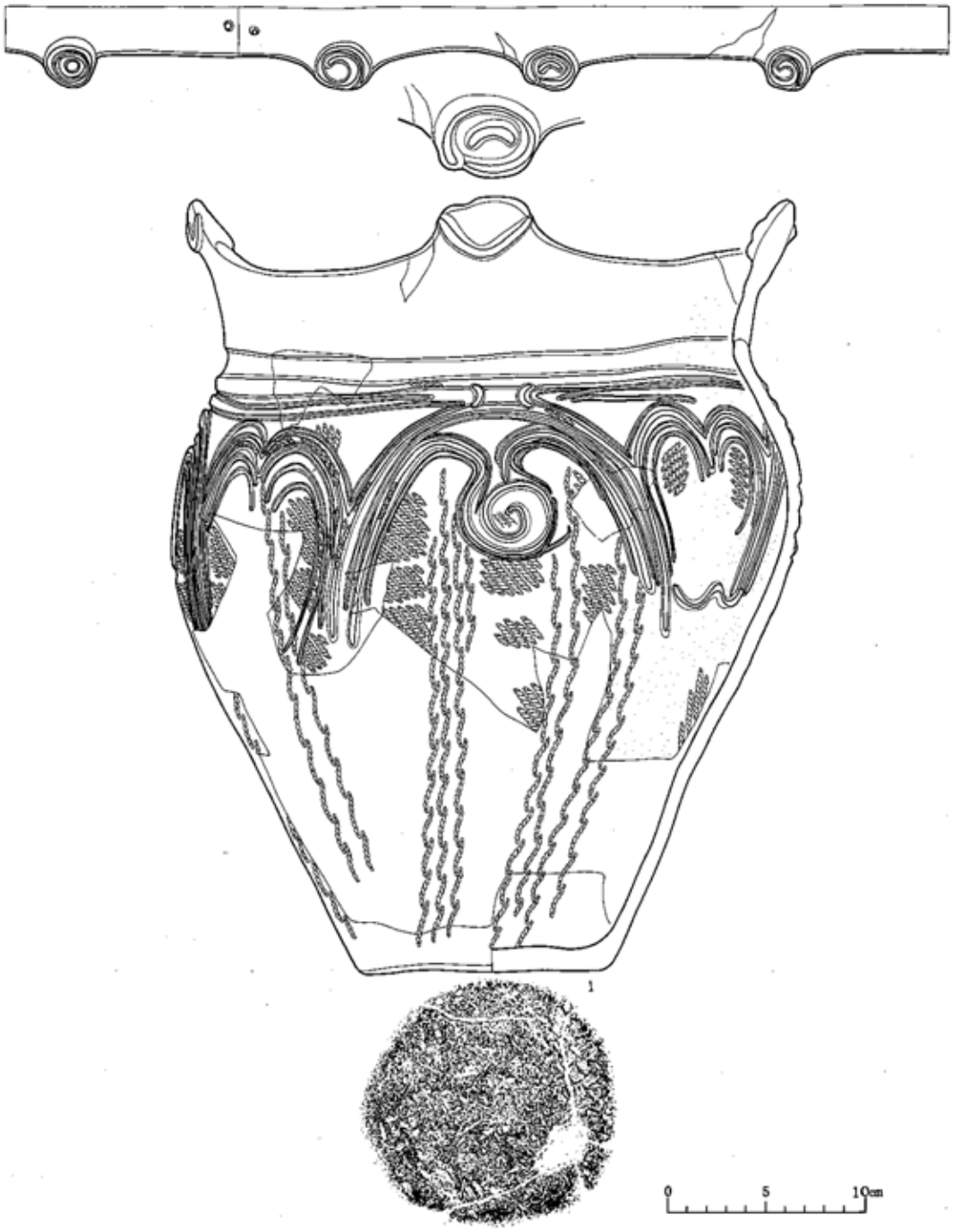
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1a,b	CO88区・5層、CO87区・四ゴルト	深鉢・A(Ⅱ)3	口縁部：突起のつく平縁、円形の盲孔、弧状沈線文、口縁に沿う沈線文、胴部：縄文（LR）	270
2	CO88区・5層	深鉢・H2a(?)	胴部：粘土紐貼付文	270
3	CO88区・5層	深鉢・S6	口縁部：区画隆線文、渦巻状隆線文、隆線に沿う沈線文、縄文（LR）〔隆線上〕	270
4	CO88区・5層	深鉢・W2b(?)	口縁部：小波状縁、波状貼付文〔上端〕、無文（ナデ）	270

第397図　東側遺物包含層出土土器（CO88区・5層）



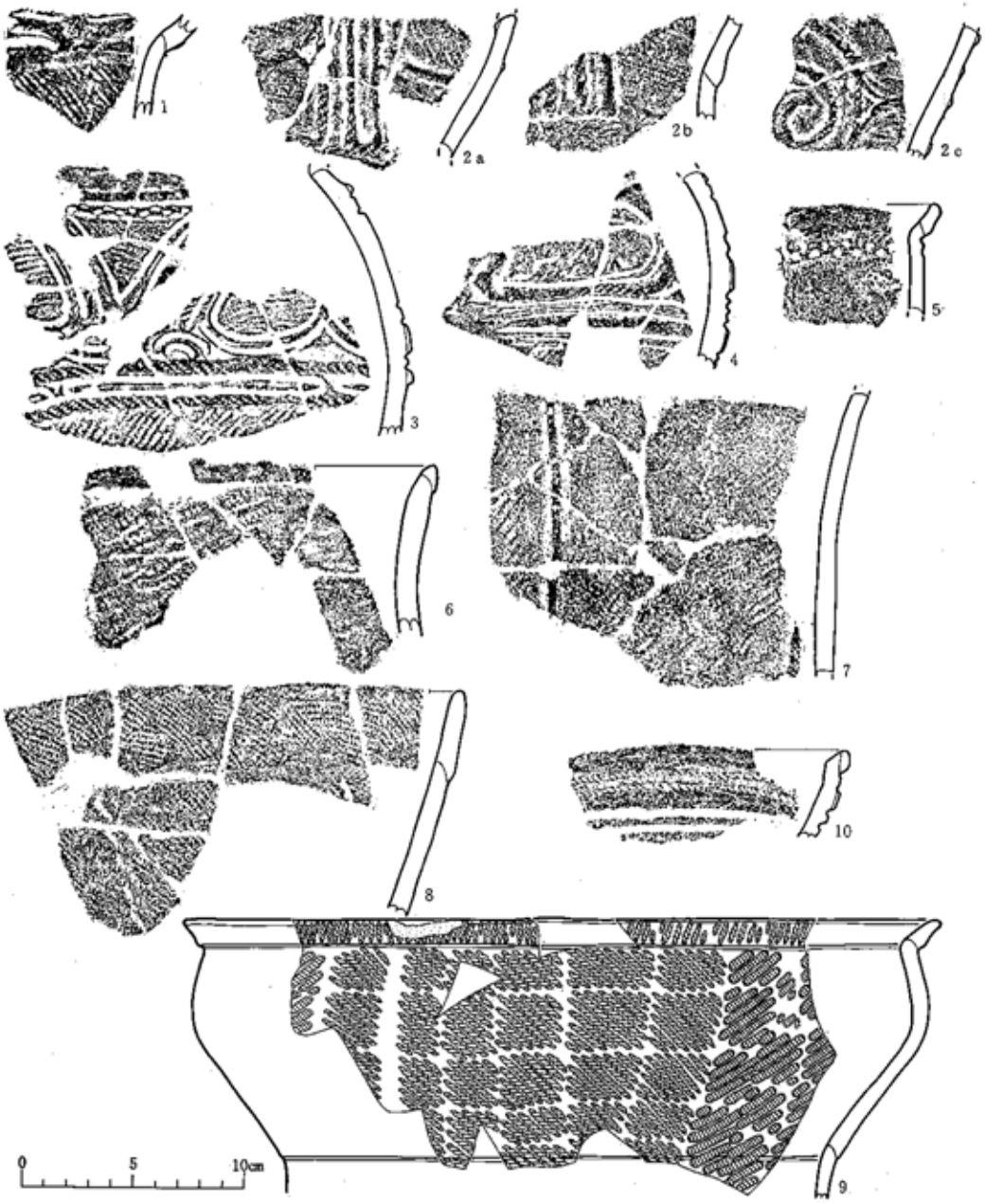
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CO88区・5層上面	深鉢・A−	胴部：半截竹管による平行沈線文、縄文（LR）	270
2	CO88区・5層上面	深鉢・H6a	口縁部：平縁、縦位貼付文、粘土紐貼付文、半截竹管による押引き文（貼付上）、縦位沈線文	270
3	CO88区・5層上面	深鉢・C1(?)	口縁部：半截竹管による平行沈線文、胴部：半截竹管による横位平行沈線文	270
4	CO88区・5層上面	深鉢・D(Ⅱc2(?))1a	口縁部：波状縁、区画隆線文、結束（第Ⅰ種）羽状縄文（Rr×Lr）、胴部：横位隆帯、渦巻状圧痕（隆線上）	270
5	CO88区・5層上面、CP88区・4層、CO89区・3層	深鉢・D(Ⅰ)6a	口縁部：平縁、山形状貼付文、押圧縄文（LRr）（貼付上）、波状押圧縄文（Lr）、区画隆線文、縄文（Lr、LRr）、胴部：縄文（LRr）	65−2
6	CO88区・5層上面	深鉢・K3a	口縁部：平縁、無文（ナデ）〔上部〕、楕円形状区画隆線文、隆線に沿う沈線文、胴部：縄文（LR）	63−4

第398図　東側遺物包含層出土土器（CO88区・5層上面(1)）



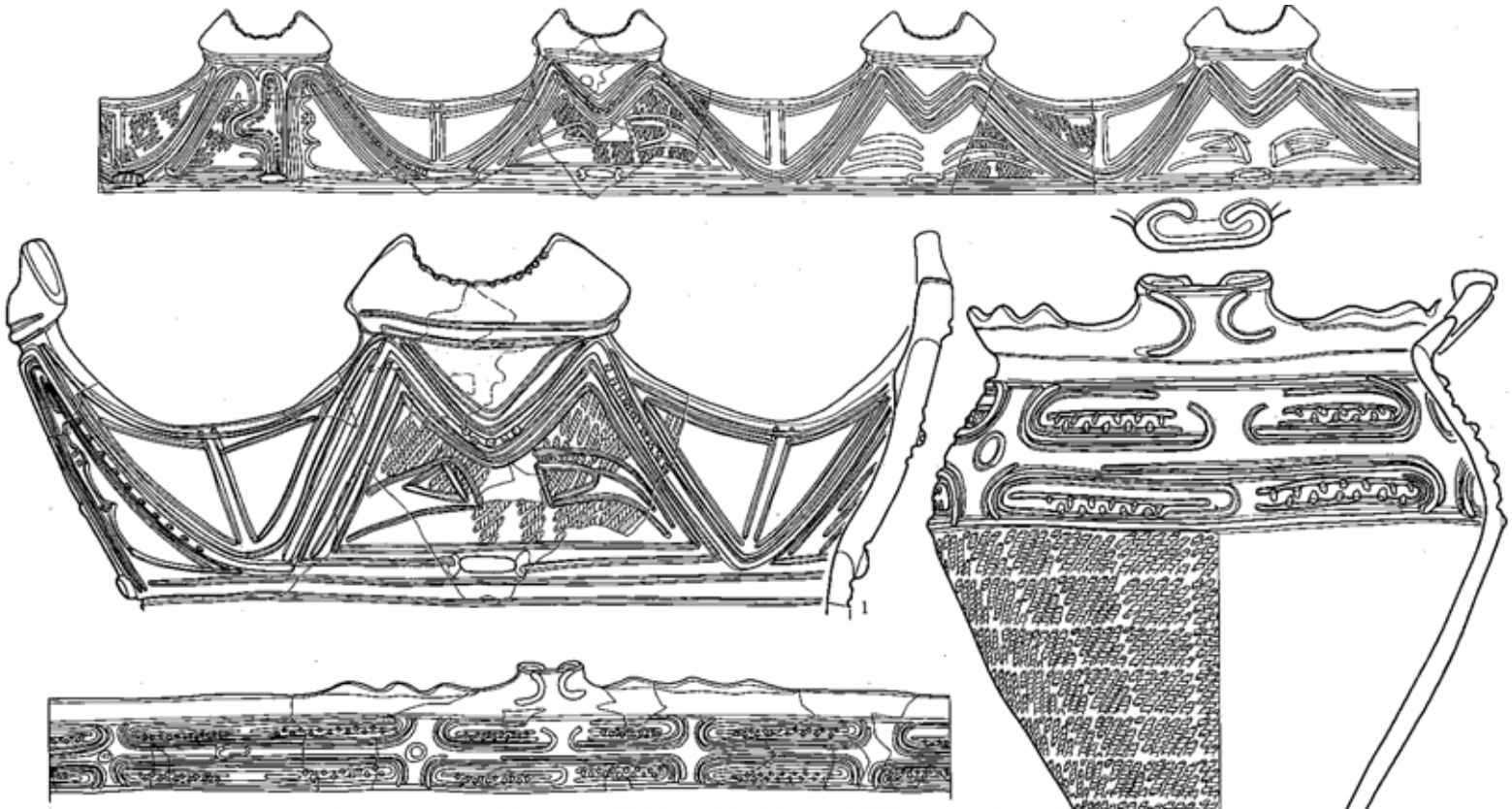
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CO88区・5層上面	深鉢・N7a	口縁部：突起のつく平縁、波状貼付文（突起内面）、棒状状貼付文（突起内面）、棒状孔、胴部：馬蹄形状区画線文、横線による方形紋文、縄文（LR）結節文（片端ループ）、底部：網代痕（ミニチュアアゲ	65−1

第399図　東側遺物包含層出土土器（CO88区・5層上面(2)）



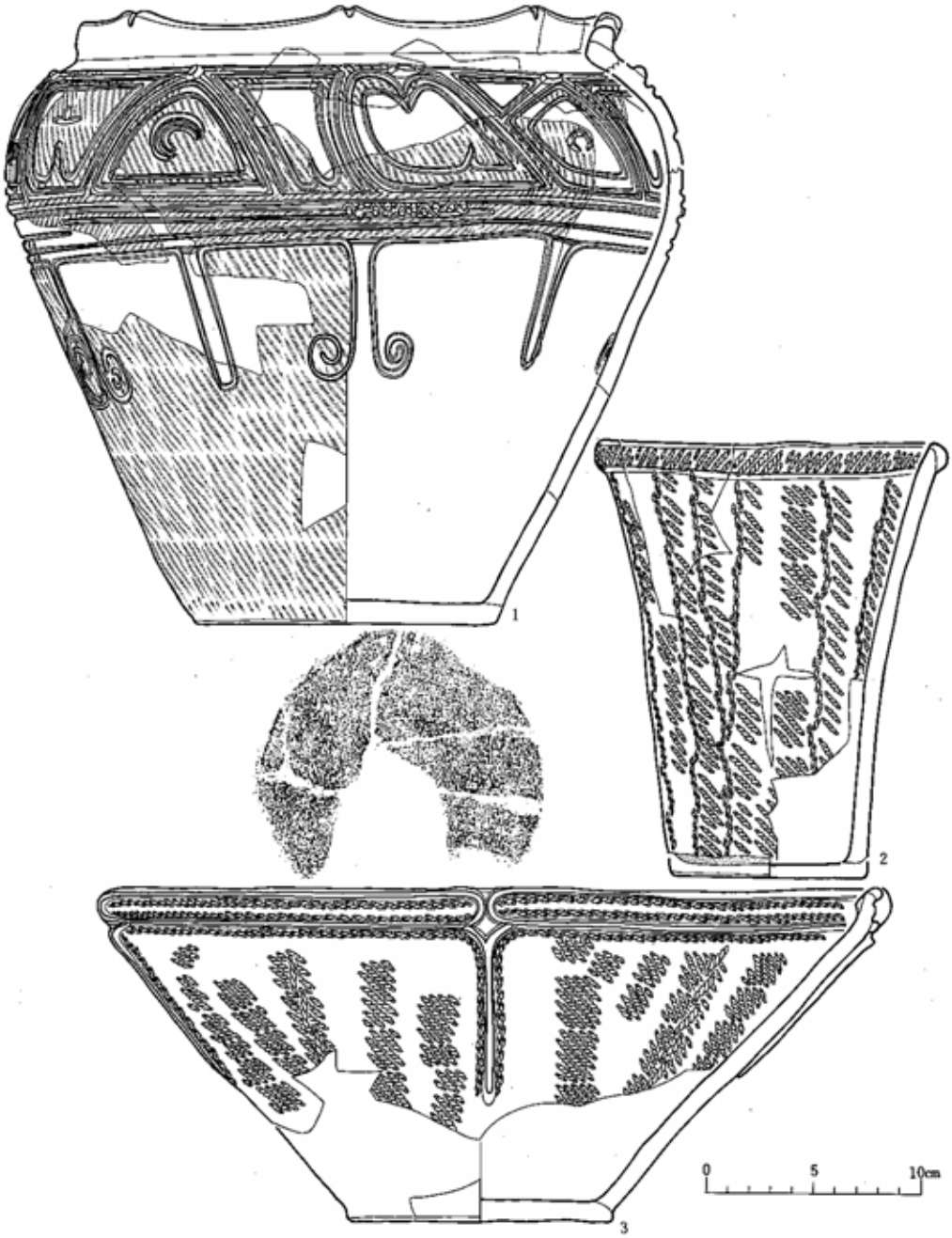
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CO88区・5層上面	深鉢・D(Ⅰ(?))5	口縁部：区画隆線文，隆線に沿う沈線文，胴部：縄文（LR）結節文（片結び一原）	270
2abc	CO88区・5層上面	深鉢・D(Ⅱ－)－	口縁部：区画隆線文，縄文（RL）	270
3	CO88区・5層上面	深鉢・N4a	胴部：区画隆線文，隆線に沿う沈線文，交互刺突文，縄文（RL）	270
4	CO88区・5層上面	深鉢・N4a	胴部：区画隆線文，隆線に沿う沈線文，縄文（LR）結節文（片結び一原）	270
5	CO88区・5層上面	深鉢・N9a	口縁部：平縁，無文（ナデ），胴部：横位平行沈線文，縦位沈線文，交互刺突文	270
6	CO88区・5層上面	深鉢・S10b	口縁部：平縁，無文（ナデ）〔上部〕，縄文（LR），胴部：縄文（LR）	270
7	CO88区・5層上面	深鉢・－	胴部：懸垂隆線文，縄文（LR）	270
8	CO88区・5層上面	深鉢・S10b	口縁部：平縁，縄文（LR），胴部：縄文（LR）結節文（同結び一原）	270
9	CO88区・5層上面	深鉢・D(Ⅰ)－	口縁部：平縁，縄文（RL,LR），胴部：縄文（RL, LR）	271
10	CO88区・5層上面	浅鉢・L10	口縁部：平縁，横位隆線文，横位平行押圧縄文（LR），隆線に沿う沈線文，縄文（LR）	270

第400図　東側遺物包含層出土土器（CO88区・5層上面(3)）



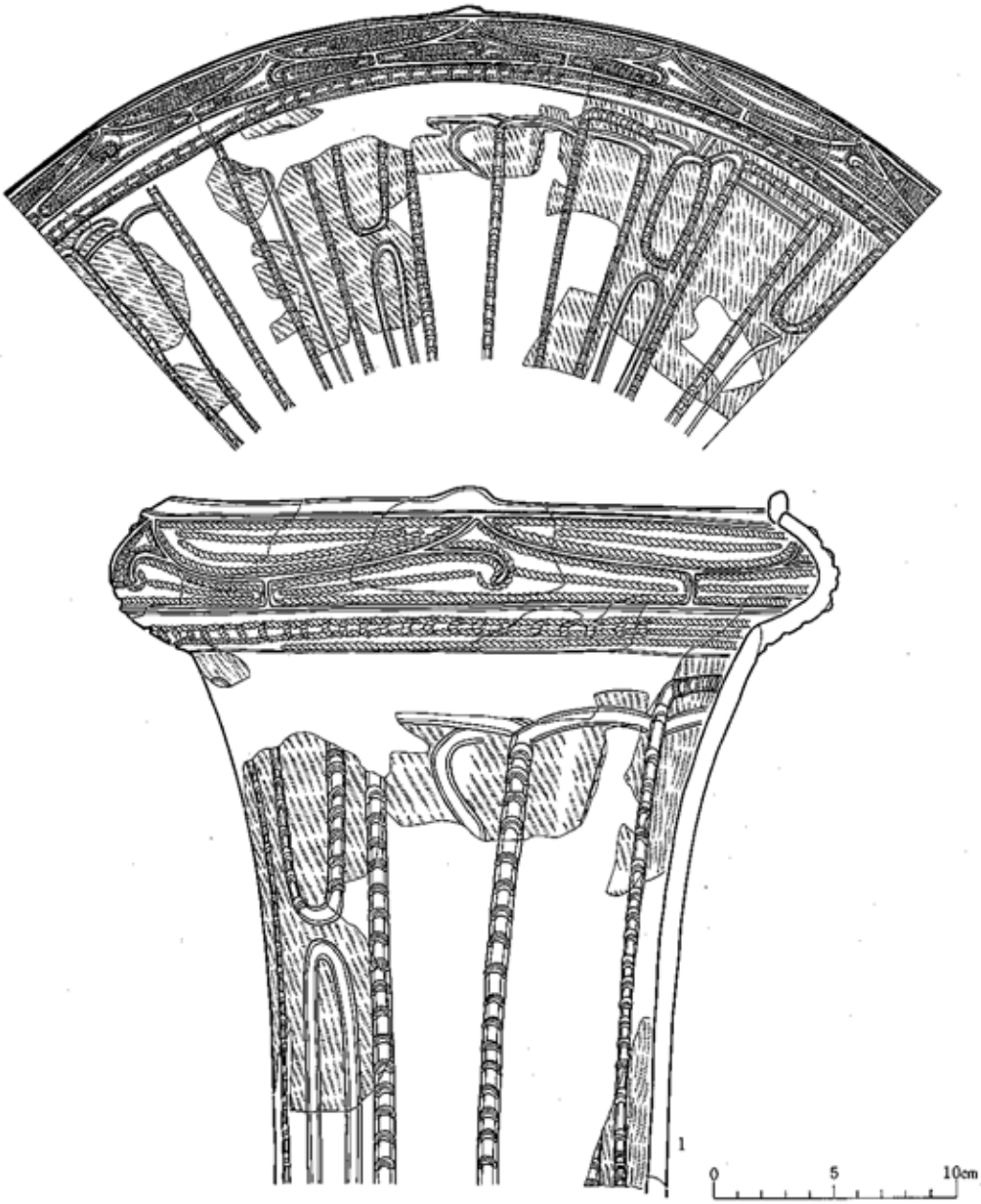
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CO88区・5層上面、CP86区・北ベルト4層、CO88区・西ベルト3層、CL82区・2層	深鉢・D(Ⅱd)2	口縁部：突起のつく波状縁、縦位刺目文（波頂部）、区画隆線文、円形刺突文（隆線上）、隆線に沿う沈線文、縄文（LR）、胴部：横位部、横位平行沈線文	64−2
2	CO88区・5層上面 CO88区・西ベルト4層	深鉢・N5b	口縁部：突起のつく平縁、「の」字状貼付文（突起）、「×」字状貼付文、胴部：横位平行隆線文、弧状区画隆線文、隆線に沿う沈線文、交互刺突文、縄文（RL）	66−1

第401図　東側遺物包含層出土土器（CO88区・5層上面(4)）



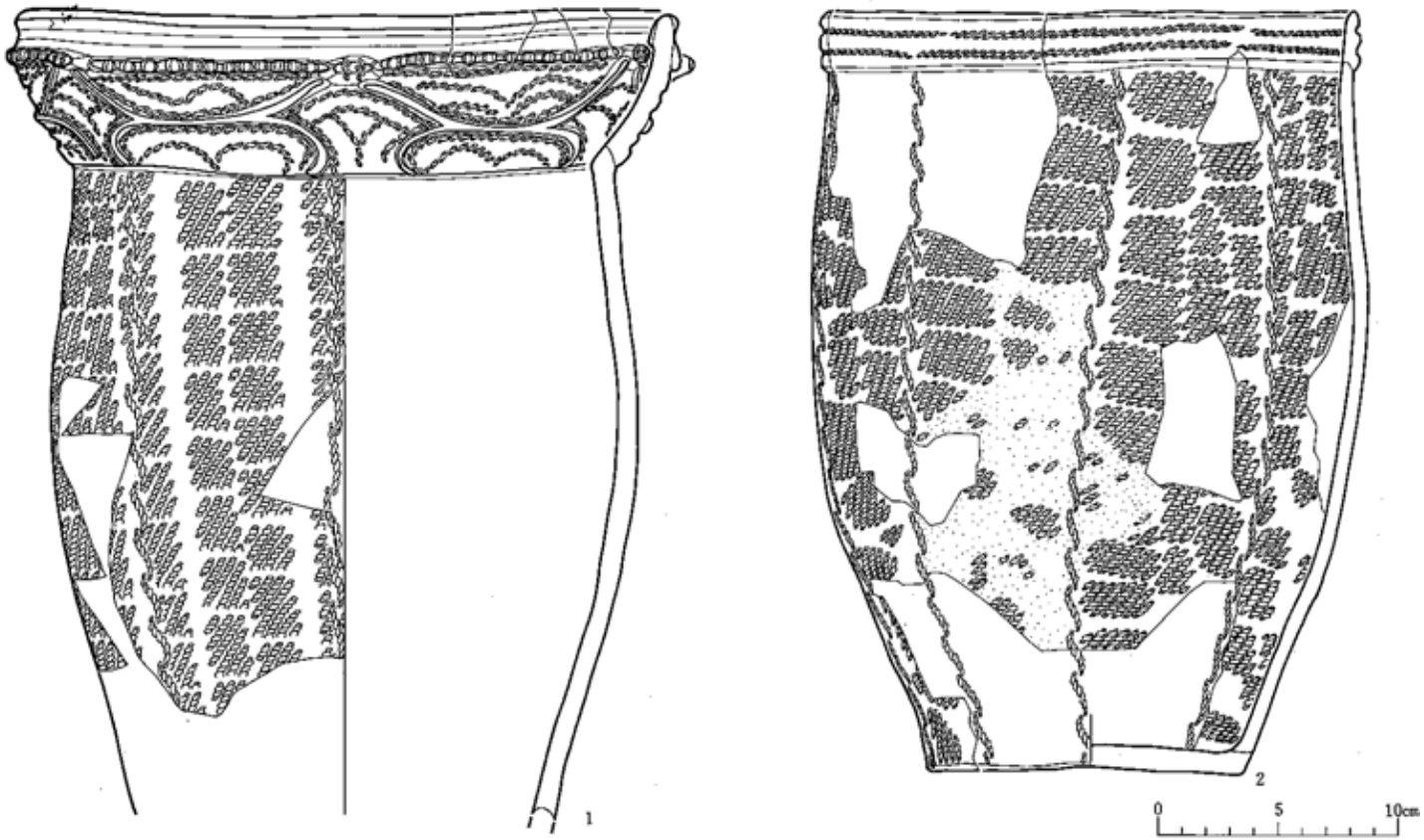
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CO88区・5層上面、CO88区・南ベルト4層、CO88区・4層、CO88区・4層上面	深鉢・N4a	口縁部：小突起のつく平縁、縁位刻目文（突起上）、鉤文（ミガキ）、胴部：区画隆線文、楕円形貼付文、隆線に沿う沈線文、擬似平行沈線文、交互刺突文、渦巻状沈線文、縄文（Lr）、底部：網代底	66−3
2	CO88区・5層上面、CO88区・西ベルト2層	深鉢・S10b	口縁部：平縁、縄文（LR）、胴部：縄文（LR）結節文（同結び一類）	66−2
3	CO88区・5層上面、CO88区・4層、CP97区・4層、CO88区・西ベルト3層、CM88区・2−3層、CO88区・西ベルト2層、CP88区・1層	深鉢・A3c	口縁部：平縁、「メ」字状区画隆線文、隆線に沿う押圧縄文（LR）、胴部：「Y」字状懸垂隆線文、隆線に沿う押圧縄文（LR）、縄文（LR）結節文（片結び一類）、底部：（摩滅）	68−2

第402図　東側遺物包含層出土土器（CO88区・5層上面(5)）



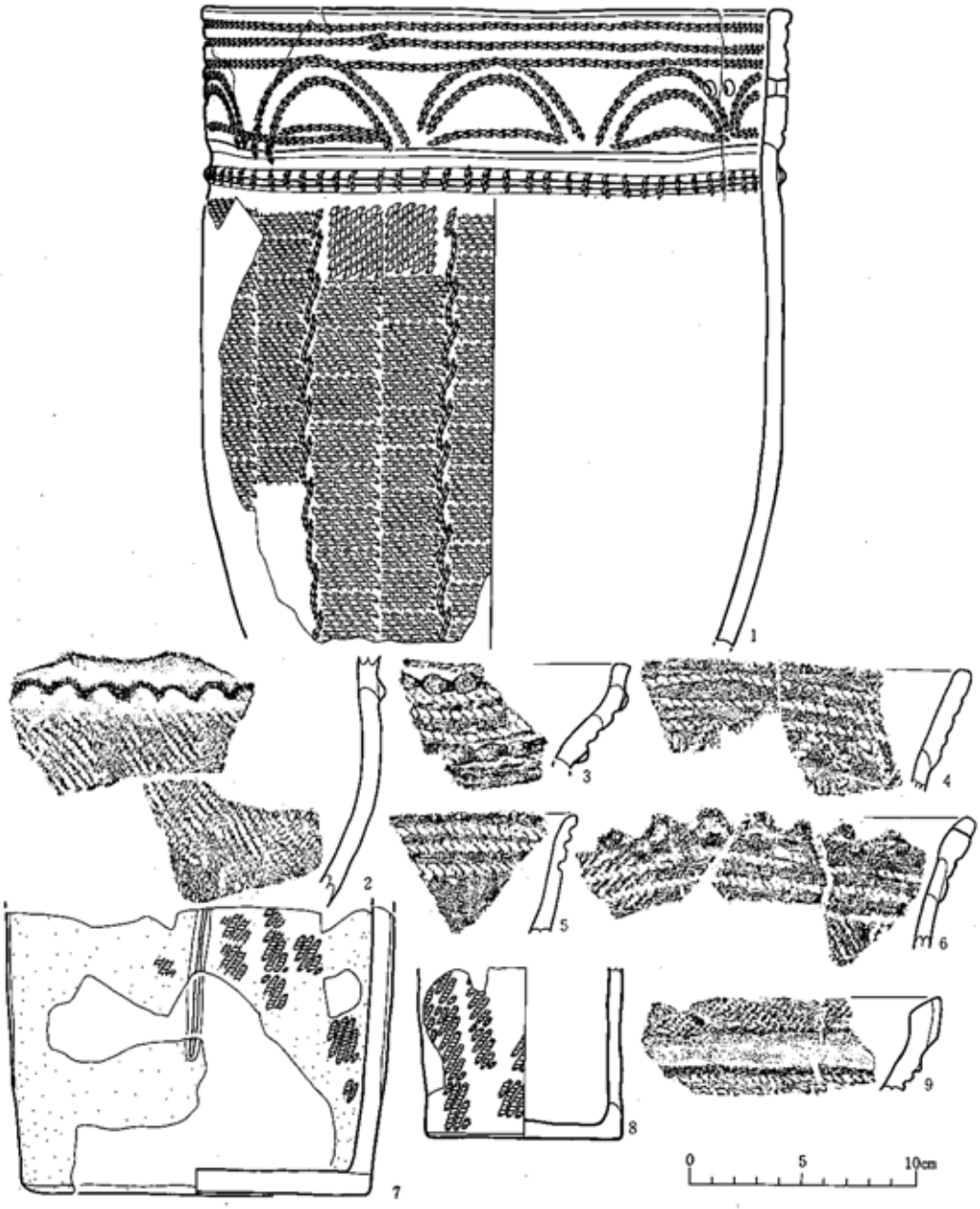
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CO88区・5層上面 CO88区・4層	深鉢・L4c	口縁部：小突起のつく平縁、菱状区画隆線文、隆線に沿う押圧縁文（Lr）、横位平行押圧縁文（Lr）、縦位押圧縁文（Lr）、胴部：半截竹管による平行沈線文、半截竹管による連続刺突文、縁文（Lr）	67－1

第403図　東側遺物包含層出土土器（CO88区・5層上面(6)）



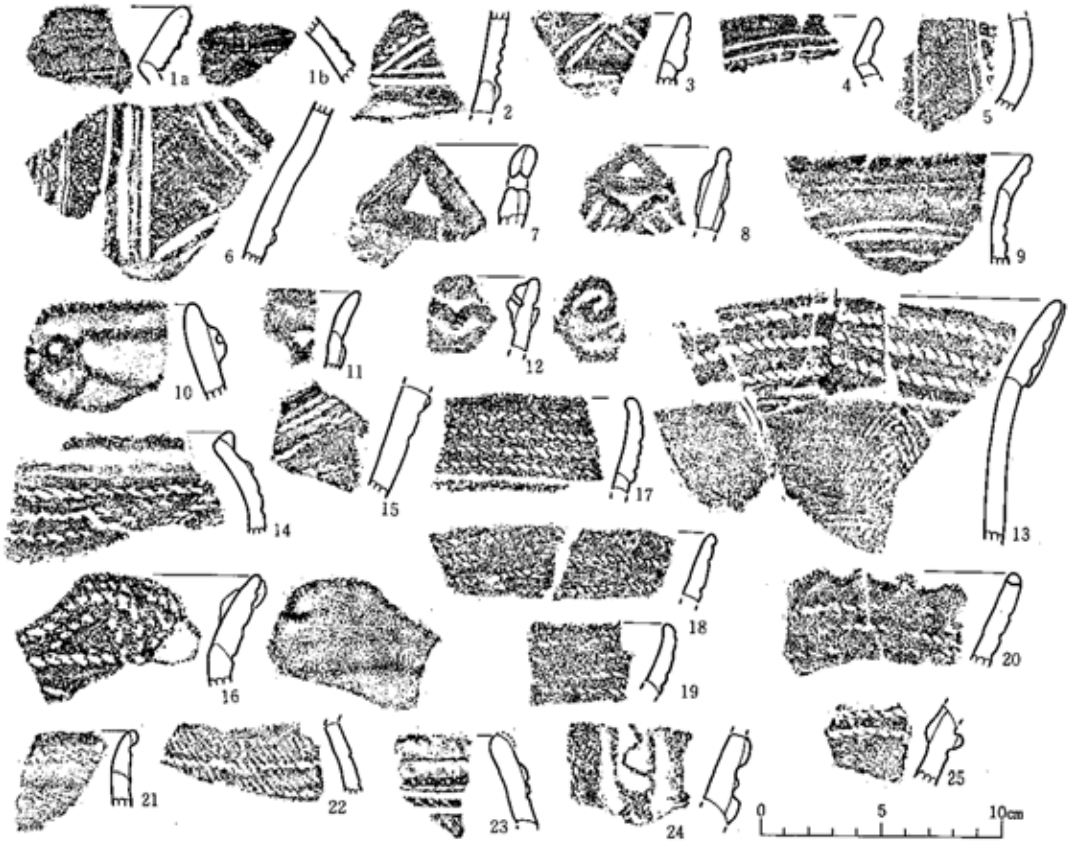
番号	地区・層位	器形・分類	文　様　の　特　徴	図版
1	CO88区・5層上面、CO88区・4層、CF68区・北ベルト4層、CO88区・西ベルト2～4層	深鉢・D(Ⅰ)10a	口縁部：平縁、相対する弧状区画縄文、楕円形貼付文、縦位押圧縄文（RL）（貼付上）、隆線に沿う押圧縄文（RL）、弧状押圧縄文（RL）、胴部：縄文（RL）結節文（片結び一段）	69－3
2	CO88区・5層上面、CO88区・西ベルト4層、CO88区・4層、CO88区・3層	深鉢・E(Ⅰ)1a	口縁部：平縁、横位平行押圧縄文（RL）、胴部：縄文（RL）結節文（片結び一段）、底部：網代底（低底）→ナデ	68－1

第404図　東側遺物包含層出土土器（CO88区・5層上面(7)）



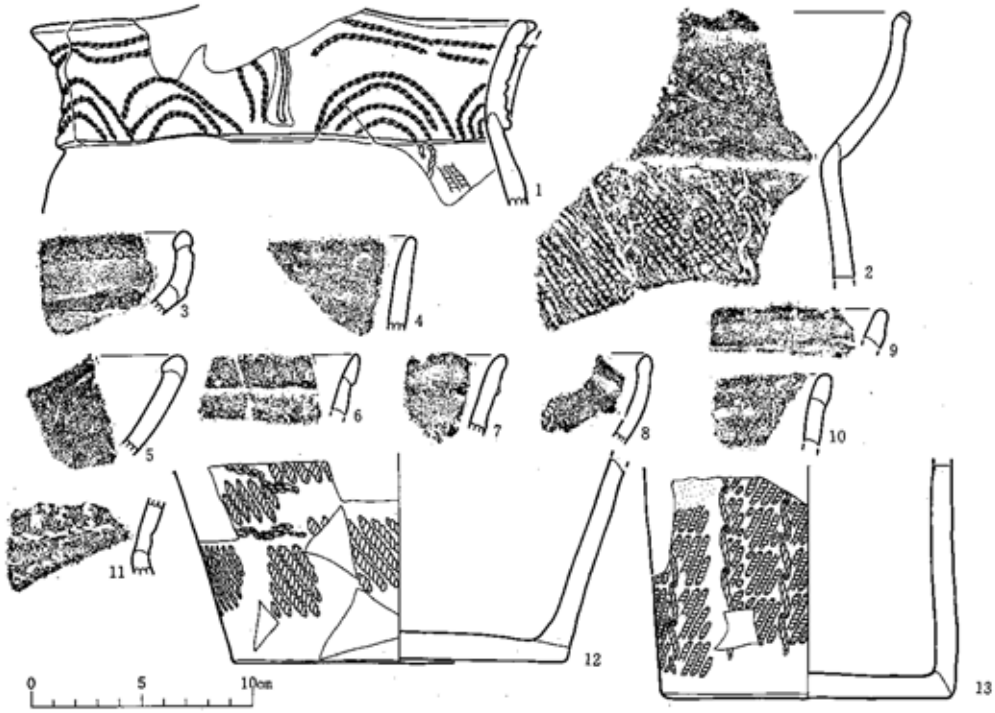
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CO88区・5層上面	深鉢・D(Ⅰ)5a	口縁部：平縁，横位平行押圧縦文（LR），連弧状押圧縦文（LR），縦縁孔，胴部：横位隆帯，横位押圧縦文（LR），胴部：縦文（LR）結節文（所結び一部）	67－2
2	CO88区・5層上面	深鉢・N4b(？)	頸部：横位隆帯，指頭状圧痕（隆帯上），胴部：縦文（LR）	271
3	CO88区・5層上面	深鉢・D(Ⅰ)8c	口縁部：平縁，横位平行隆線文，指頭状圧痕（隆線上），隆線に沿う押圧縦文（LR）	271
4	CO88区・5層上面，CO88区・4層上面	深鉢・E(Ⅰ)1a	口縁部：平縁，横位平行押圧縦文（LR），連弧状押圧縦文（LR），胴部：縦文（LR）結節文	271
5	CO88区・5層上面	深鉢・S5a	口縁部：平縁，横位平行押圧縦文（LR）	271
6	CO88区・5層上面	深鉢・S5a	口縁部：小波状縁，波状貼付文（上端），横位平行押圧縦文(LR)，胴部：縦文(LR)結節文(片結び一部)	271
7	CO88区・5層上面	深鉢・－	胴部：縦位隆線文，縦文（RL)(摩滅)，底部：(摩滅)	
8	CO88区・5層上面	深鉢・－	胴部：縦文（RL），底部：胴代底（縦2本部）	
9	CO88区・5層上面	浅鉢・A－	口縁部：平縁，縦文（LR）（上部），横位平行押圧縦文（LR），横位隆線文	271

第405図　東側遺物包含層出土土器（CO88区・5層上面(8)）



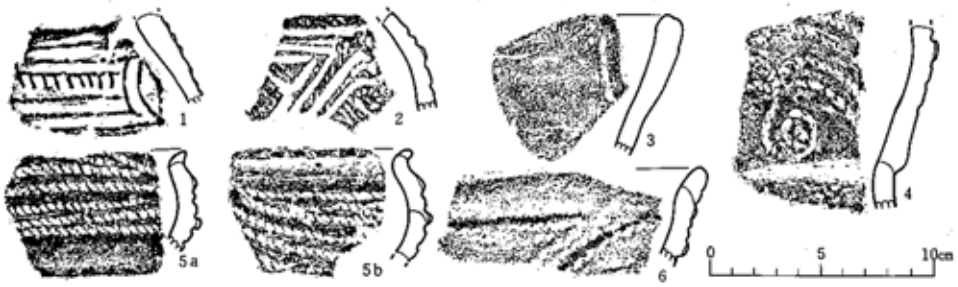
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1a,b	CO88区・4層	深鉢・H2a	口縁部：平縁，粘土紐貼付文，半截竹管による押引き文（貼付上），胴部：粘土紐貼付文，半截竹管による押引き文（貼付上），（摩滅）	272
2	CO88区・4層	深鉢・D(Ⅰ)2b	口縁部：山形状区画沈線文，刺突文，頸部：横位隆帯	272
3	CO88区・4層	深鉢・A(Ⅰ)2(?)	口縁部：平縁，山形状沈線文，頸部：横位沈線文	272
4	CO88区・4層	深鉢・N−(?)	口縁部：平縁，厚頭状圧痕（上端），頸部：半截竹管による横位平行沈線文，胴部：半截竹管による縦位平行沈線文（№5と同一?）	272
5	CO88区・4層	深鉢・N−(?)	胴部：半截竹管による縦位平行沈線文，半截竹管による斜位平行沈線文（№4と同一?）	272
6	CO88区・4層	深鉢・D(Ⅱc2)1a	口縁部：波状縁，区画隆線文，隆線に沿う沈線文，縄文（RL）	272
7	CO88区・4層	深鉢・D(Ⅱa)2	口縁部：突起のつく波状縁，貫通孔，貼付文（剥落），押圧縄文（RL），胎土：金雲母を多く含む	272
8	CO88区・4層	深鉢・D(Ⅱa)4a	口縁部：突起のつく波状縁，区画隆線文，沈線文	272
9	CO88区・4層	深鉢・R(Ⅰ)−	口縁部：平縁，横位平行押圧縄文（LR），頸部：無文，胴部：横位平行沈線文	272
10	CO88区・4層	深鉢・N6a	口縁部：平縁，区画隆線文，円形貼付文，刺突文（貼付上）	272
11	CO88区・4層	深鉢・S6	口縁部：平縁，無文（ナデ），胴部：「Y」字状懸垂隆線文	272
12	CO88区・4層	深鉢・D(Ⅱb)2	口縁部：波状縁，連弧状貼付文，「の」字状貼付文（波頂部内面）	272
13	CO88区・4層	深鉢・S5a	口縁部：平縁，縦位貼付文，横位平行押圧縄文（LR），胴部：結束（第1種）羽状縄文（RL×LR）	272
14	CO88区・4層	深鉢・L5	口縁部：平縁，区画隆線文，隆線に沿う押圧縄文（LR）	272
15	CO88区・4層	深鉢・D(Ⅰ)10a(?)	口縁部：区画隆線文，隆線に沿う押圧縄文（LR）	272
16	CO88区・4層	深鉢・D(Ⅱb)1	口縁部：波状縁，「の」字状貼付文（波頂部内面），弧状区画押圧縄文（LR）	272
17	CO88区・4層	深鉢・E(Ⅰ)1a	口縁部：平縁，横位平行押圧縄文（LR）	272
18	CO88区・4層	深鉢・E(Ⅰ)1a	口縁部：平縁，横位平行押圧縄文（Lr）	272
19	CO88区・4層	深鉢・E(Ⅰ)1a	口縁部：平縁，横位平行押圧縄文（Lr）	272
20	CO88区・4層	深鉢・E(Ⅰ)1a	口縁部：小波状縁，指頭状圧痕（上端），横位平行押圧縄文（LR）	272
21	CO88区・4層	深鉢・E(Ⅰ)1a	口縁部：平縁，横位平行押圧縄文（LR），胴部：縄文（LR）	272
22	CO88区・4層	深鉢・J1b	胴部：横位平行押圧縄文（LR），縄文（LR）結節文（片結び一連）	272
23	CO88区・4層	深鉢・J1a	胴部：横位隆線文，隆線に沿う沈線文，縄文（LR）	272
24	CO88区・4層	深鉢・D−(?)	口縁部：縦位隆線文，波状隆線文，縄文（LR），頸部：橋状部	272
25	CO88区・4層	浅鉢・A3c	口縁部：横位隆線文，隆線に沿う押圧縄文（LR）	272

第406図　東側遺物包含層出土土器（CO88区・4層(1)）



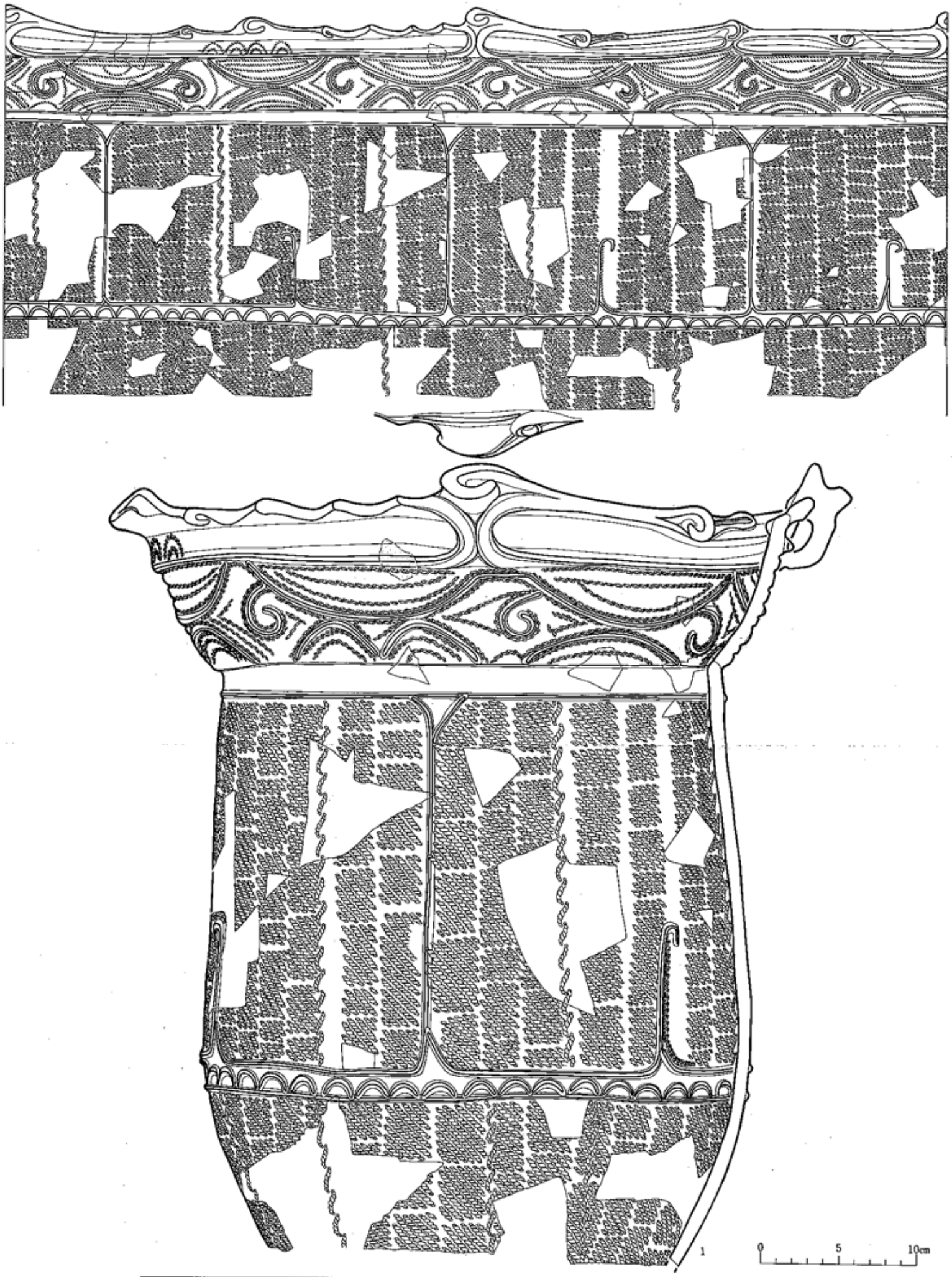
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CO88区・4層、CO88区・3層上面、CO88区・EC・ベルト・3層上面	探鉢・E(Ⅰ)4e	口縁部：波状線、縦位隆線文、横位押圧縄文（LR）、連弧状押圧縄文（LR）、胴部：縄文（Lr）結節文（片結び一類）	69－1
2	CO88区・4層	探鉢・E(Ⅰ)11	口縁部：小波状線、波状貼付文（上端）、無文（ナデ）、胴部：縄文（Lr）結節文（片結び一類）	272
3	CO88区・4層	浅鉢・A3c	口縁部：平線、横位平行押圧縄文（LR）	272
4	CO88区・4層	探鉢・S11b	口縁部：平線、（摩滅）	272
5	CO88区・4層	探鉢・D(Ⅱ－)－	口縁部：波状線、無文（イガキ）	272
6	CO88区・4層	探鉢・S11a	口縁部：平線、無文（ナデ）、胴部：無文（ナデ）	272
7	CO88区・4層	探鉢・S11a	口縁部：平線、無文、頸部：横位線刻、刺突文（隆帯上）、胴部：無文	272
8	CO88区・4層	探鉢・D(Ⅱ－)－	口縁部：波状線、縄文（LR）結節文（片結び一類）	272
9	CO88区・4層	探鉢・S11b	口縁部：平線、無文（ナデ）	272
10	CO88区・4層	探鉢・S10b	口縁部：平線、縄文（RL）結節文（片結び一法）	272
11	CO88区・4層	探鉢・D(Ⅰ)1e	口縁部：横位押圧縄文（LR）、半截竹管による刺突文、胴部：縄文（LR）	272
12	CO88区・4層	探鉢・－	胴部：縄文（RL）結節文（同結び一法）、底部：網代底（3－3）→ナデ調整	
13	CO88区・4層	探鉢・－	胴部：縄文（RL）結節文（片結び一類）、底部：網代底（$\frac{2}{4}$－4）	

第407図　東側遺物包含層出土土器（CO88区・4層(2)）



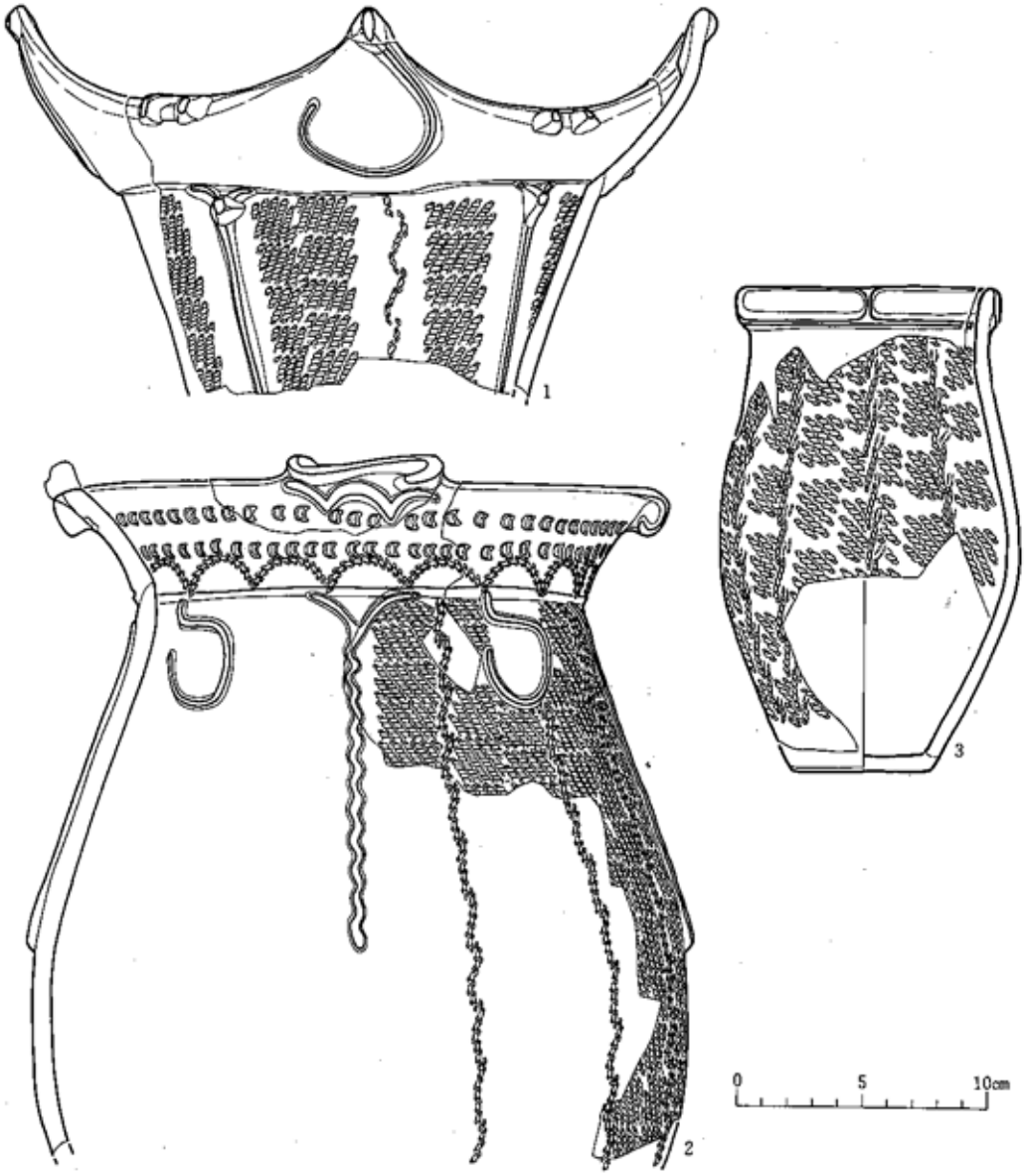
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CO88区・4層上面	探鉢・H6b	胴部：横位粘土紐貼付文、縦位粘土紐貼付文、弧状粘土紐貼付文	271
2	CO88区・4層上面	探鉢・N4a	胴部：区画隆線文、隆線に沿う沈線文、渦巻状押引き文、縄文（Lr）	271
3	CO88区・4層上面	探鉢・S－(?)	口縁部：突起のつく平線、口縁に沿う沈線文	271
4	CO88区・4層上面	探鉢・D(Ⅰ)8c	口縁部：区画隆線文、隆線に沿う押圧縄文（LR）、渦巻状押圧縄文（LR）、胴部：縄文（LR）	271
5a,b	CO88区・4層上面	探鉢・L5	口縁部：平線、区画隆線文、隆線に沿う押圧縄文（Lr）	271
6	CO88区・4層上面	探鉢・D(Ⅰ)8c	口縁部：小突起のつく平線、区画隆線文、隆線に沿う押圧縄文（RL）（摩滅）	271

第408図　東側遺物包含層出土土器（CO88区・4層上面(1)）



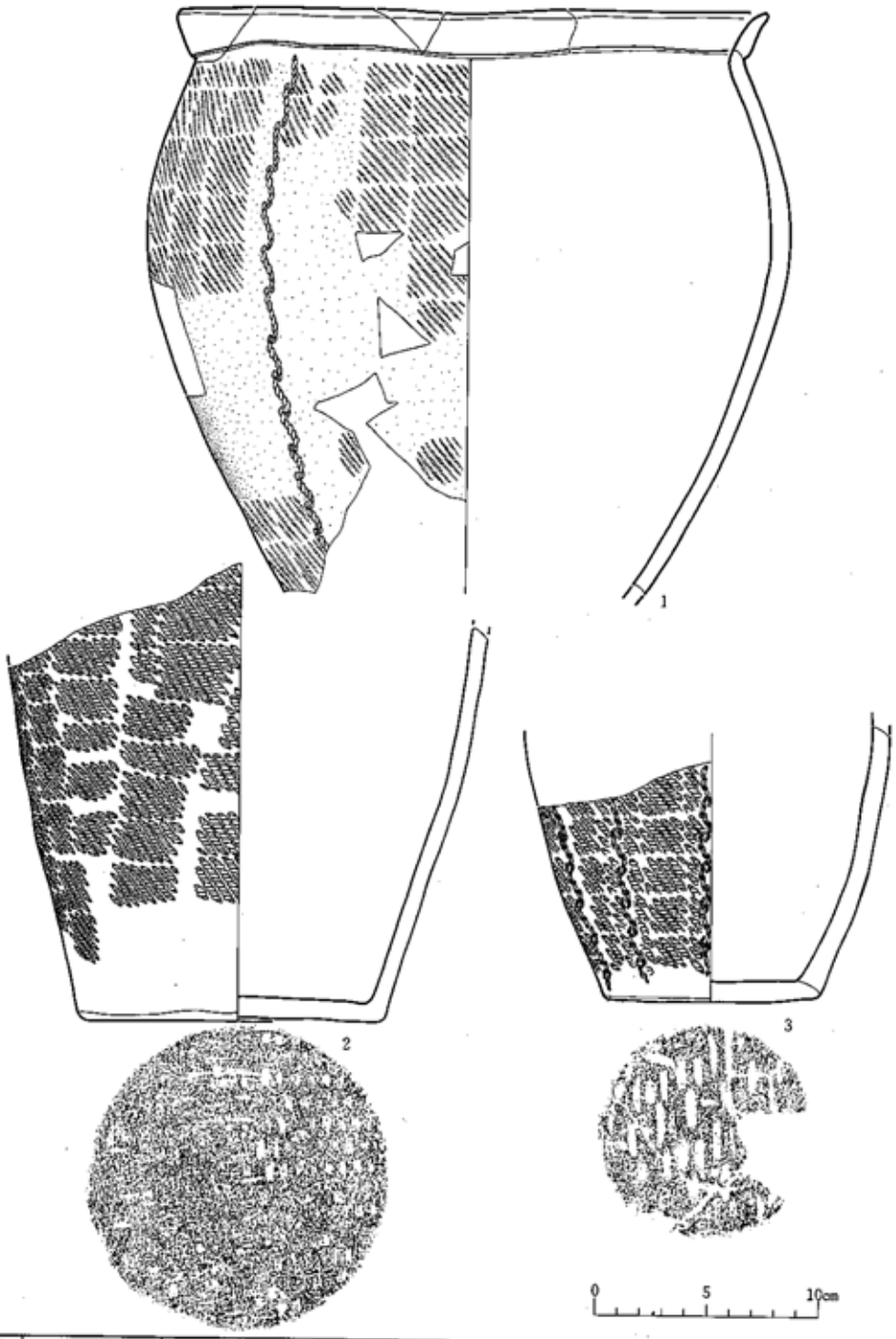
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CO88区・4層上面、CO88区・北ベルト3層	深鉢・F(I)3	口縁部：突起のつく平縁、「の」字状貼付文（上端）、楕状貼付文（上端）、隆状把手、連弧状押圧縄文(LR)、相対する弧状隆線文、隆線状隆線文、隆線に沿う押圧縄文（LR）、隆線：亀文（ナデ）、胴部：区画隆線文、渦巻状隆線文、連弧状貼付文、隆線に沿う押圧縄文（LR）、縄文（LR）結節文（外結び一単）	70−1

第409図　東側遺物包含層出土土器（CO88区・4層上面(2)）



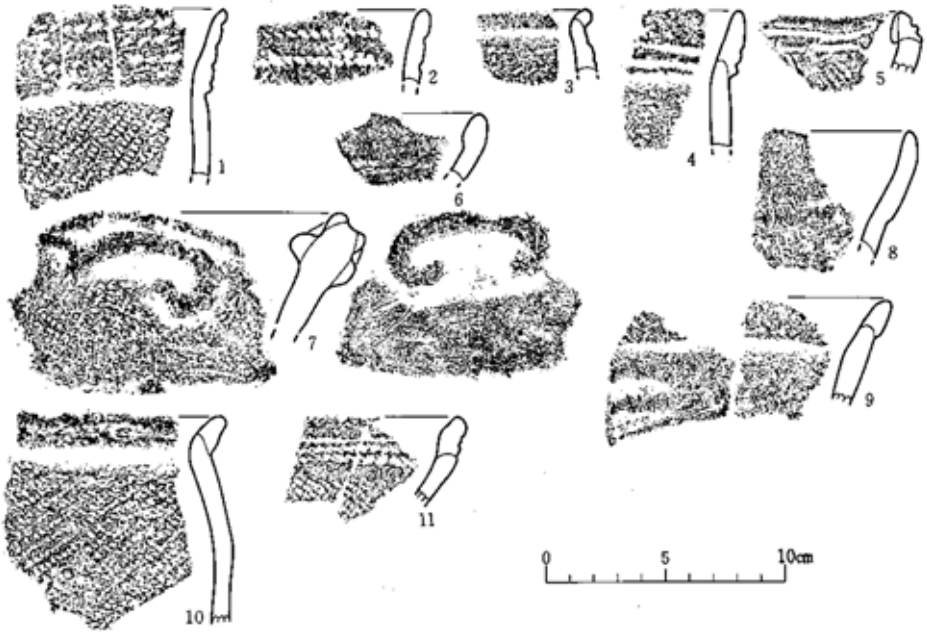
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CO88区・4層上面、CO89区・3層	深鉢・D(IIa)6a	口縁部：波状縁、渦巻状隆線文、円形貼付文、胴部：「Y」字状懸垂隆線文、縄文(RL)結節文(両結び一順)	71−1
2	CO88区・4層上面	深鉢・G1	口縁部：突起のつく平縁、「S」字状貼付文、「の」字状貼付文、逆弧状貼付文、小歯状管による刺突文、逆弧状押圧縄文（LR）、胴部：渦巻状隆線文、「Y」字状隆線文、縄文（LR）結節文（両結び一逆）	71−2
3	CO88区・4層上面	深鉢・W1	口縁部：平縁、縦位隆線文、胴部：縄文（LR）結節文（片結び一順）	73−3

第410図　東側遺物包含層出土土器（CO88区・4層上面(3)）



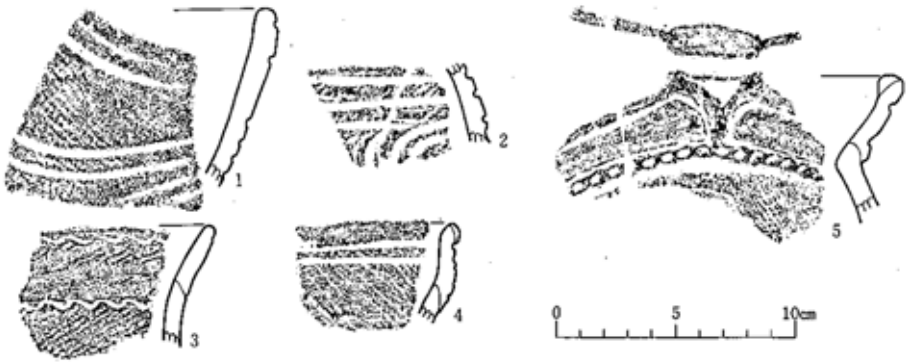
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CO88区・4層上面	探鉢・V2	口縁部：平縁，無文（ナデ），胴部：縄文（Lr）結節文（同結び一原）	72−1
2	CO88区・4層上面	探鉢・一	胴部：縄文（LR），底部：網代底（重痕）→ナデ調整	
3	CO88区・4層上面	探鉢・一	胴部：縄文（LR）結節文（同結び一原），底部：網代底（任意）	

第411図　東側遺物包含層出土土器（CO88区・4層上面(4)）



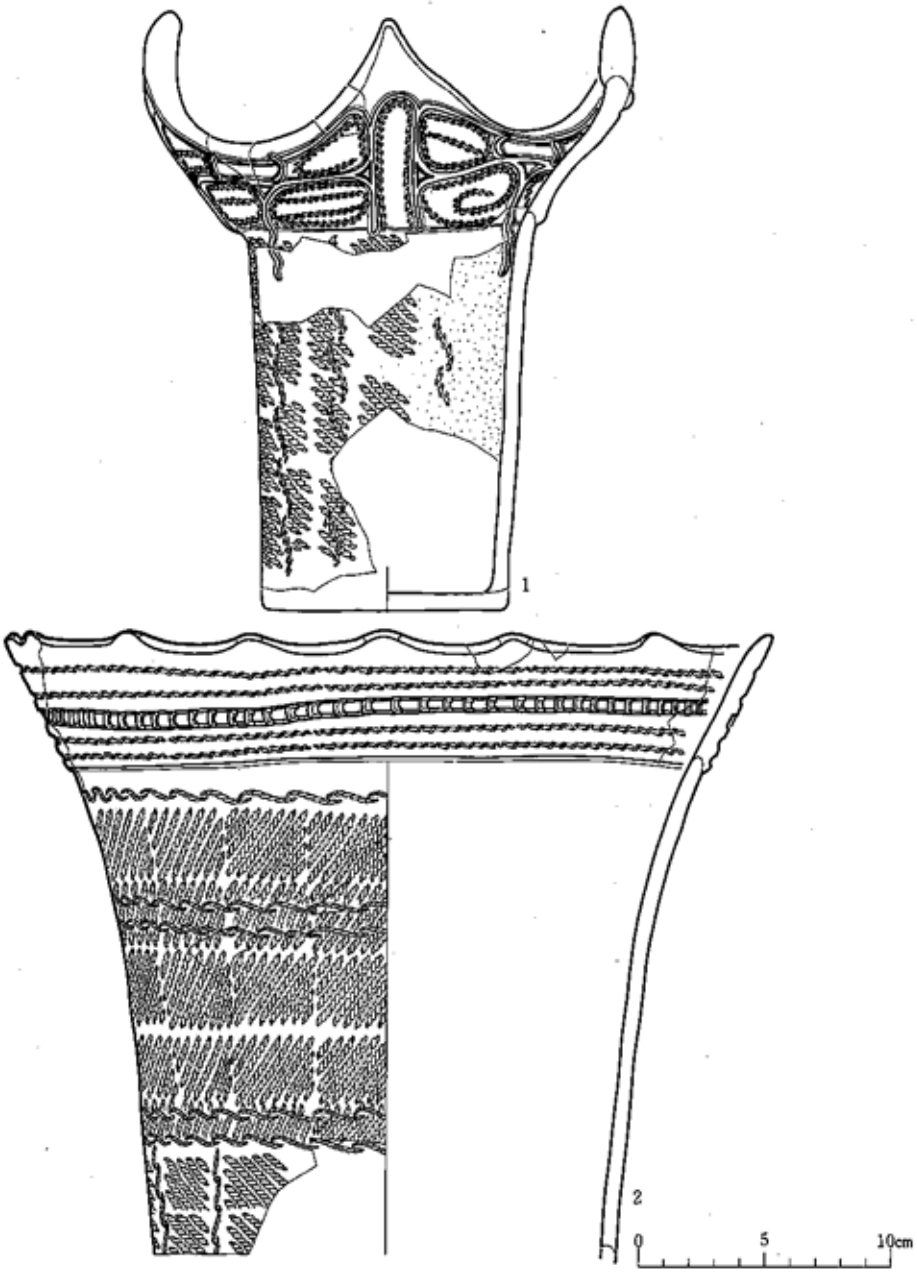
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CO88区・4層上面	深鉢・E(Ⅰ)1a	口縁部：小突起のつく平縁，横位平行押圧縄文（RL），胴部：縄文（RL）	273
2	CO88区・4層上面	深鉢・E(Ⅰ)1a	口縁部：小突起のつく平縁，横位平行押圧縄文（LR）	273
3	CO88区・4層上面	深鉢・L5(？)	口縁部：平縁，横位平行押圧縄文（RL）	273
4	CO88区・4層上面	深鉢・D(Ⅰ)1a	口縁部：横位平行沈線文，胴部：結束（解1種）羽状縄文（RL×LR）	273
5	CO88区・4層上面	深鉢・D(Ⅱ)－	口縁部：波状縁，口縁に沿う沈線文，弧状区画沈線文，縄文（LR）	273
6	CO88区・4層上面	深鉢・W5	口縁部：波状縁，無文（ナデ）	273
7	CO88区・4層上面	深鉢・N5a(？)	口縁部：波状縁，「の」字状貼付文（波頂部内外面），縄文（RL）	273
8	CO88区・4層上面，CP88区・3～4層，CP88区・北ベルト3層	深鉢・S11b	口縁部：平縁，無文（ナデ），胴部：無文（ナデ）	273
9	CO88区・4層上面	深鉢・S11a	口縁部：平縁，無文（ナデ），胴部：無文（ナデ）	273
10	CO88区・4層上面	深鉢・V2	口縁部：平縁，無文（ナデ），胴部：縄文（RL）	273
11	CO88区・4層上面	浅鉢・A4b	口縁部：平縁，横位平行押圧縄文（LR），胴部：縄文（LR）	273

第412図　東側遺物包含層出土土器（CO88区・4層上面(5)）



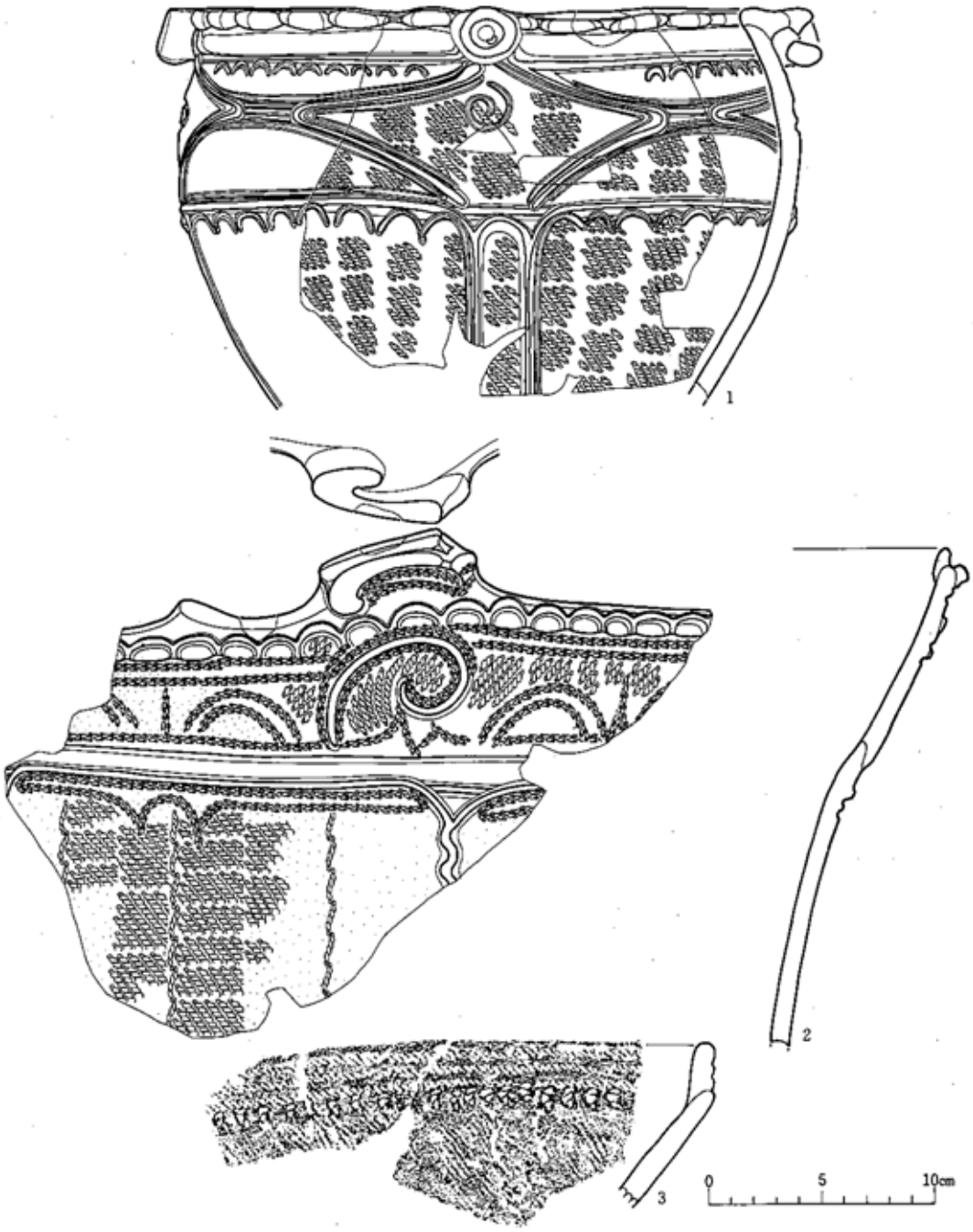
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CO88区・3層	深鉢・D(Ⅱc2(？))1a	口縁部：波状縁，区画沈線文，縄文（RL）	273
2	CO88区・3層	深鉢・N4a	胴部：区画沈線文，縄文（LR）	273
3	CO88区・3層	深鉢・W3b	口縁部：平縁，縄文（LR）結節文（片結び一類）	273
4	CO88区・3層	深鉢・D(Ⅰ)1a	口縁部：平縁，横位平行沈線文，縄文（LL）	273
5	CO88区・3層，CO88区・西ベルト3層埋土層	深鉢・E(Ⅱ－)－	口縁部：突起のつく波状縁，「V」字状隆線文，隆線に沿う沈線文，頸部：横位隆帯，円形竹管文，胴部：区画沈線文，縄文（LR）	273

第413図　東側遺物包含層出土土器（CO88区・3層）



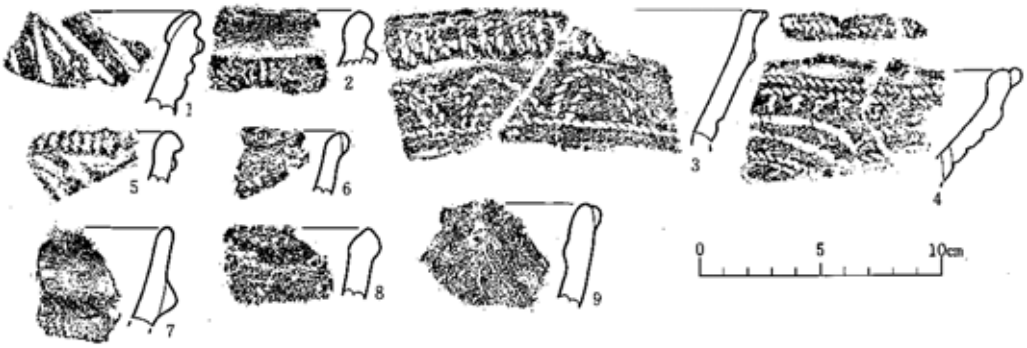
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CO88区・3層上面、CO88区・2層	深鉢・D(IIa)4b	口縁部：波状縁、区画隆線文、隆線に沿う押圧縄文（LR）、胴部：波状隆線文、縄文（LR）縦約文（同時ひき）。	73−4
2	CO88区・3層上面、CO88区・ベルト3層	深鉢・S5c	口縁部：小波状縁、刻目列目文（上端）、横位平行押圧縄文（Lr）、半截竹管による連続刺突文、胴部：縄文（LR）縦約文（片結び一類）	72−2

第414図　東側遺物包含層出土土器（CO88区・3層上面(1)）



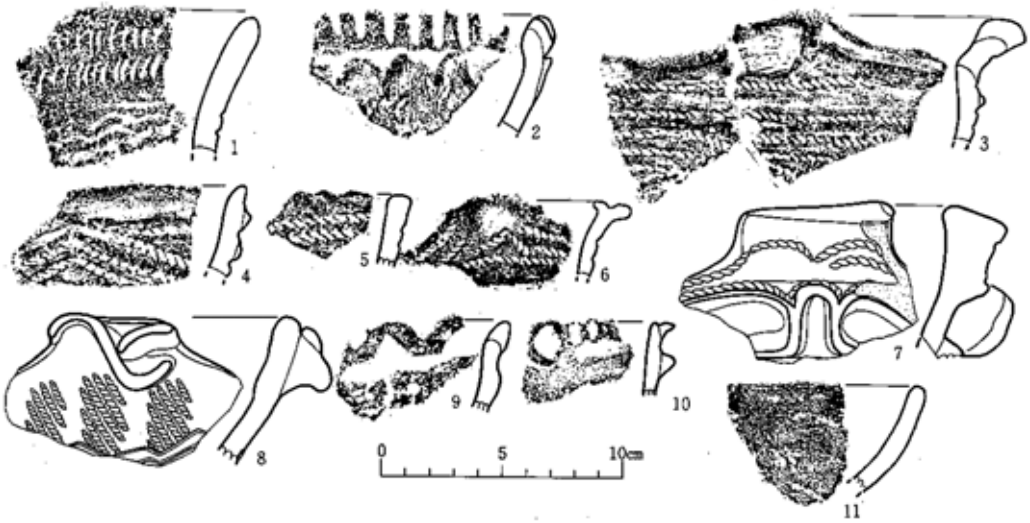
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CO88区・3層上面、CO88区・2層	深鉢・O2	口縁部：平縁。口縁に沿う隆帯。隆線状波線（隆帯上）。円盤状貼付文。胴部：相対する弧状区画隆線文。隆線に沿う沈線文。渦巻状沈線文。「Y」字状懸垂隆線文。連弧状沈線文。縄文（LR）	
2	CO88区・3層上面	深鉢・D(Ⅰ)5b	口縁部：突起のつく平縁。「の」字状貼付文（突起内外区）。連弧状貼付文。隆線状圧痕（貼付上）。横巻状隆線文。隆線に沿う押圧縄文（LR）。横位平行押圧縄文（LR）。連弧状押圧縄文(LR)。胴部：横位平行隆帯。胴部：「Y」字状懸垂隆線文。隆線に沿う押圧縄文（LR）。縄文（LR）結節文（片結び一類）	273
3	CO88区・3層上面	浅鉢・A4−	口縁部：平縁。横位平行押圧縄文（Lr）。縦位押圧縄文（Lr）。胴部：縄文（Lr）結節文(片結び一類)	273

第415図　東側遺物包含層出土土器（CO88区・3層上面(2)）



番号	地区・層位	器形・分類	文　様　の　特　徴	図版
1	CO88区・2層	探鉢・D(II－)－	口縁部：波状縁，区画隆線文，隆線に沿う沈線文，交互刺突文	273
2	CO88区・2層	探鉢・S－	口縁部：平縁，区画隆線文，楕円形貼付文，縦位刻目文（貼付上），隆線に沿う押圧縄文（LR）	273
3	CO88区・2層	探鉢・D(I)5b	口縁部：平縁，縦位押圧縄文（LR），横位隆線文，連弧状押圧縄文（LR），横位押圧縄文（LR）	273
4	CO88区・2層	探鉢・D(I)5b	口縁部：小突起のつく平縁，連弧状貼付文，押引縄文（LR）（貼付上），横位平行押圧縄文（LR），横位隆線文，縦位押圧縄文（LR）（隆線上），連弧状押圧縄文（LR）	273
5	CO88区・2層	探鉢・D(I)8－	口縁部：平縁，縦位押圧縄文（Lr），区画隆線文，隆線に沿う押圧縄文（Lr）	273
6	CO88区・2層	探鉢・S－	口縁部：平縁，縦位押圧縄文（LR），縄文（LR）	273
7	CO88区・2層	探鉢・S10b	口縁部：平縁，無文（ミガキ），頸部：横位隆線文，胴部：縄文（LR）	273
8	CO88区・2層	探鉢・S11b	口縁部：平縁，無文（ナデ）	273
9	CO88区・2層	探鉢・D(IIa)－	口縁部：波状縁，縄文（Rℓ）結節文（両結び一順）	273

第416図　東側遺物包含層出土土器（CO88区・2層）



番号	地区・層位	器形・分類	文　様　の　特　徴	図版
1	CO88区・1層	探鉢・A(I)－	口縁部：平縁，連続刺突文，胴部：半截竹管による鋸歯状平行沈線文	274
2	CO88区・1層	探鉢・D(IIc2)1a	口縁部：波状縁，縦位刻目文（波頂部），連弧状貼付文，縄文（LR）結節文（片結び一順）	274
3	CO88区・1層	探鉢・D(I)10a(？)	口縁部：突起のつく平縁，横位隆線文，横位平行押圧縄文（Lr），弧状押圧縄文（Lr）	274
4	CO88区・1層	探鉢・D(I)10a	口縁部：平縁，区画隆線文，隆線に沿う押圧縄文（Lr）	274
5	CO88区・1層	探鉢・E(I)1a	口縁部：平縁，指頭状圧痕（上端），横位平行押圧縄文（LR）	274
6	CO88区・1層	探鉢・D(IIb(？))1	口縁部：波状縁，「の」字状貼付文（波頂部），弧状貼付文，口縁に沿う押圧縄文（Lr），横位押圧縄文（Lr）	274
7	CO88区・1層	探鉢・N－(？)	口縁部：波状縁，連弧状押圧縄文（Lr），口縁に沿う押圧縄文（Lr），横状部	274
8	CO88区・1層	探鉢・N－(？)	口縁部：波状縁，「の」字状貼付文，鋸歯状沈線文，縄文（LR）	274
9	CO88区・1層	探鉢・D(I)5b(？)	口縁部：小波状縁，連弧状貼付文，横位隆線文，刺突文	274
10	CO88区・1層	探鉢・S－	頸部：横位隆帯，縦位刻目文，円環状貼付文，胴部：無文	274
11	CO88区・1層	浅鉢・A8e	口縁部：平縁，無文（ミガキ）	274

第417図　東側遺物包含層出土土器（CO88区・1層）

（ＣＯ88 区ベルト）

第５層：第 418 図

第 418 図 1：弁状を呈する波状縁破片である。刻目文、弧状の区画沈線文が施されている。

第 418 図 2：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部は外傾する器形である。「の」字状を呈する突起が付されている。

第 418 図 3：胴底部資料である。胴部は懸垂隆線文によって 4 つに区画されている。区画によって異なる地文が施されている。

第 419 図 4：浅鉢形土器である。口縁部に文様が構成されている。

第４層：第 419 図～第 421 図

第 419 図 1：胴部破片である。細い粘土紐が横位・鋸歯状に貼付され、半截竹管による連続刺突文が加えられている。

第 419 図 2：口縁部破片である。口縁上部には円形状貼付文が連続して施されている。口縁部には橋状把手の剥落痕がみられる。

第 419 図 3～9：口縁部～胴部破片である。隆線文や沈線文が施される土器である。文様構成は明らかではない。

第 419 図 10～11、第 420 図 2～3、第 421 図 4、7～10：文様意匠の施されない土器である。器形としては頸部が「く」字状にくびれるものから口縁部が複合口縁状を呈するものまでが認められる。

第 420 図 1、第 420 図 1～3、5～6、12：文様意匠に押圧縄文の施される土器である。第 420 図 1 は、頸部がゆるい「く」字状にくびれ、口縁部がわずかに内弯しながら外傾する器形である。口縁部には横位平行押圧縄文、連弧状押圧縄、三叉状押圧縄文が施されている。

第 421 図 13：口縁部破片である。口縁部には鍔状にめぐる隆帯が配されている。隆帯上には指頭状圧痕が連続して施されている。

第３層：第 422 図～第 425 図

第 422 図 1：胴部破片である。細い粘土紐貼付によって文様が構成され、半截竹管による連続刺突文が加えられている。

第 422 図 2：胴部破片である。三角形状の沈線文と縦位短沈線文が施されている。

第 422 図 3：橋状把手の破片である。横位沈線文が連続して施されている。

第 422 図 4：口縁部破片である。口縁上部には刻目風に押圧縄文が連続して施され、口縁部には半截竹管による平行沈線文が描かれている。

第 422 図 5〜9、第 423 図 1〜6：口縁部〜胴部破片で文様が主として隆線文や沈線文、刺突文によって施される土器である。文様構成は明らかではない。

第 423 図 7〜19、第 424 図 1〜2、第 425 図 1、4〜5：文様構成に押圧縄文が用いられる土器である。第 424 図 1 は、頸部が「く」字状にくびれ、口縁部はわずかに内弯しながら外傾する器形である。胴部は上半部で屈曲して内傾する形状と思われる。口縁部は弁状を呈する 4 波状縁である。文様帯が口縁部と胴上部に設けられ、頸部には 4 つの橋状把手が配されている。文様は弧状の区画隆線と渦巻状押圧縄文・三叉状押圧縄文が施されている。第 424 図 2 は、頸部が「く」字状にくびれ、口縁部が内弯するキャリパー状の器形である。口縁部には相対する弧状区画隆線文、押圧縄文が施されている。第 425 図 1 は、頸部が「く」字状にくびれ、口縁部は外傾する器形である。口縁部は四波状縁を呈し、波頂部には「の」字状貼付文が付されている。4 単位・楕円形状の区画隆線文には縦位押圧縄文が連続して施文されている。区画内には渦巻状隆線文、押圧縄文が施されている。

第 425 図 2：胴部から口縁部にかけてゆるやかに外反する器形である。口縁内面上端には、「の」字状を呈する突起が付されている。口縁部には横位の平行する隆線文が配され、隆線上には指頭状圧痕が連続して施されている。

第 423 図 20、22〜26、第 425 図 3、6：文様意匠の施されない土器である。第 425 図 3 は頸部が「く」字状にくびれ、口縁部は短く外傾する器形である。無文。

第 2 層：第 426 図

第 426 図 1：口縁部破片である。山形文が描かれ、梯子状短沈線文が加えられている。

第 426 図 2〜3：口縁部〜胴部破片である。2 は隆線文、3 は隆線文と沈線文が施されている。

第 426 図 4：口縁部破片である。横位平行押圧縄文が施されている。

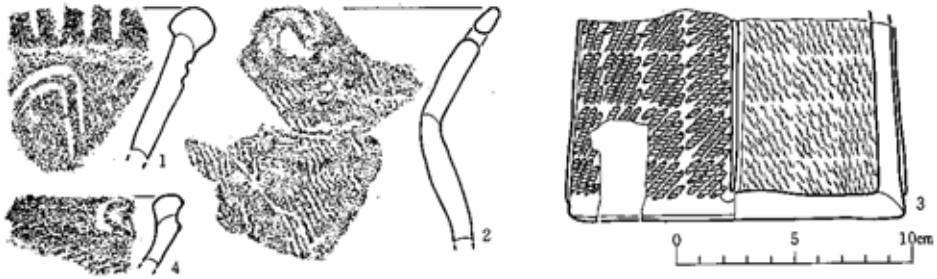
第 426 図 5：頸部が「く」字状にくびれ、口縁部が内弯しながら外傾する器形である。口縁部は四波状縁を呈している。口縁部波頂部下には円形貼付文、波底部には縦位隆線文が付され、胴部には 4 単位の「Y」字状懸垂隆線文が施されている。

第 426 図 6：口縁部破片である。横位隆線文上に指頭状圧痕が連続して施されている。

第 426 図 7：胴部破片である。半截竹管による平行沈線文によって文様が構成されている。

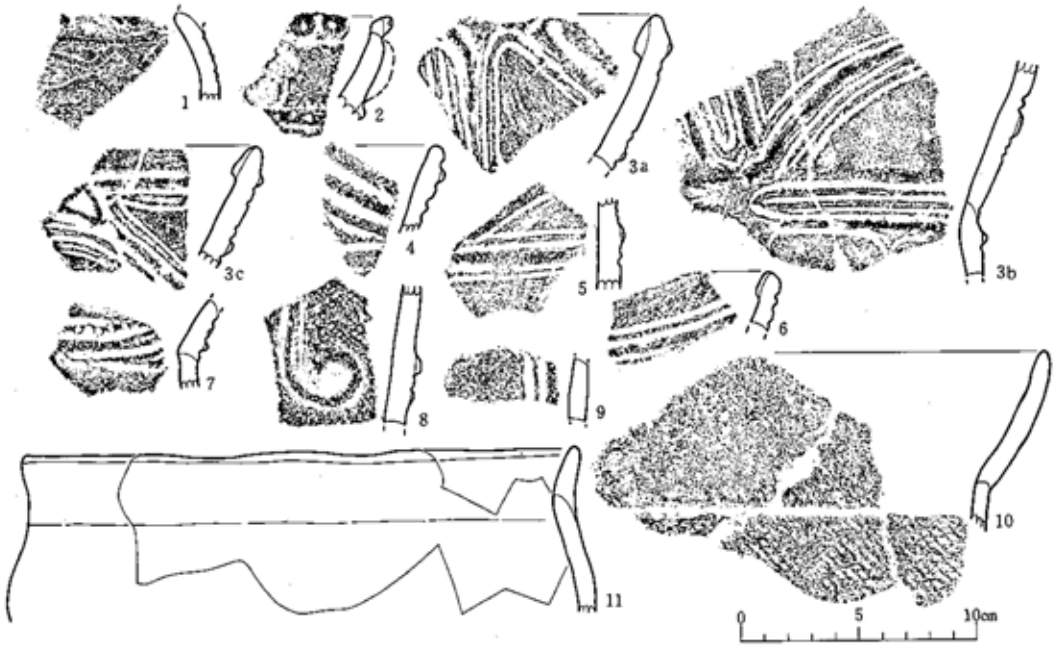
第 1 層：第 427 図

第 427 図 1〜2：口縁部破片である。1 は縦位刺突文が連続して施されており、2 は横位平行押圧縄文が施されている。



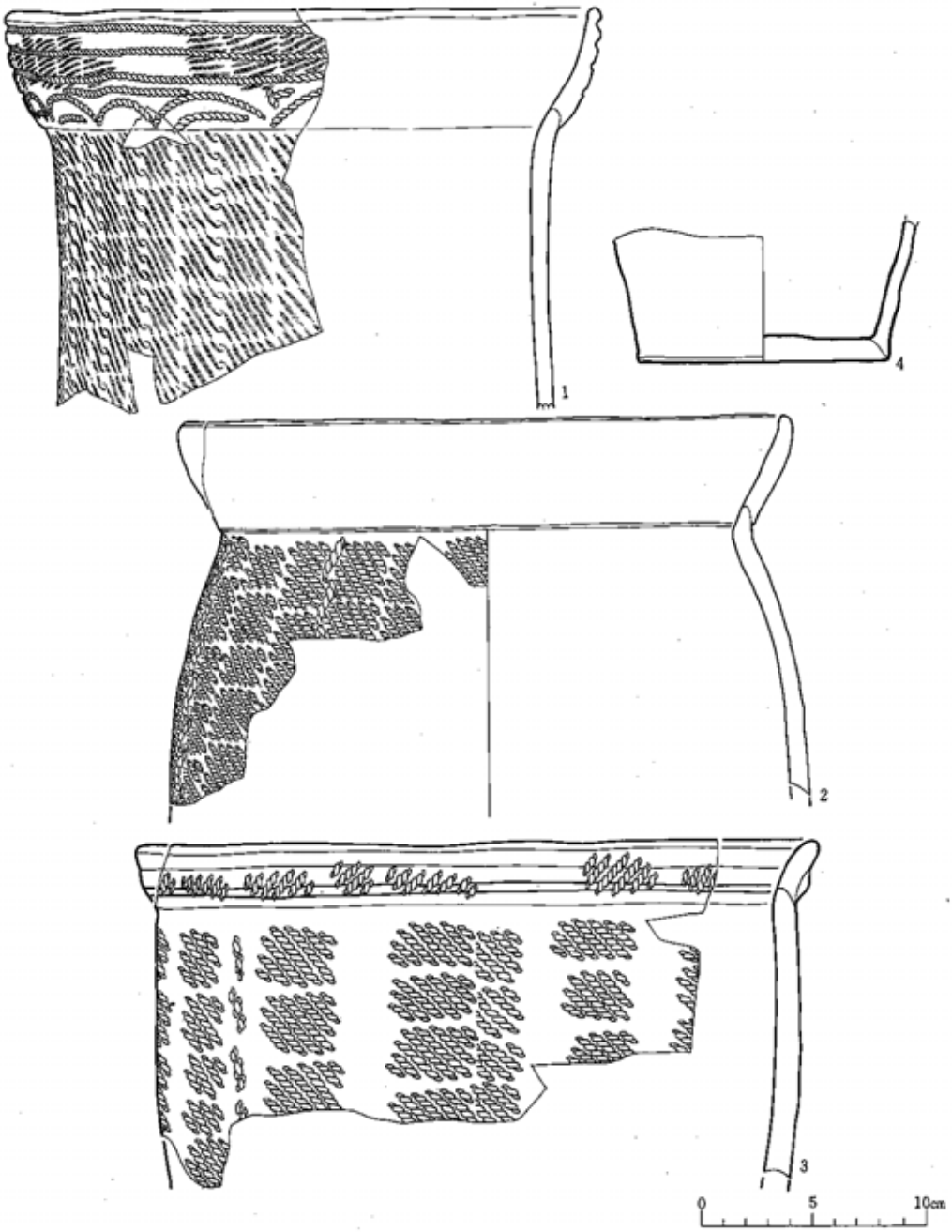
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CO88区・南ベルト5層	深鉢・D(IIc2)1a	口縁部：波状縁，縦位列目文（波頂部），区画沈線文，縄文結節文	275
2	CO88区・南ベルト5層	深鉢・V3	口縁部：突起のつく平縁，「の」字状貼付文，縄文（Lr）結節文（片結び一環）	275
3	CO88区・南ベルト5層	深鉢・－	胴部：懸垂隆線文，縄文（RL,LLr），底部：網代底（不明）→ナデ	
4	CO88区・南ベルト5層	浅鉢・A3e	口縁部：平縁，弧状貼付文，区画押圧縄文（RL），胴部：縄文（RL）	275

第418図　東側遺物包含層出土土器（CO88区・ベルト5層）



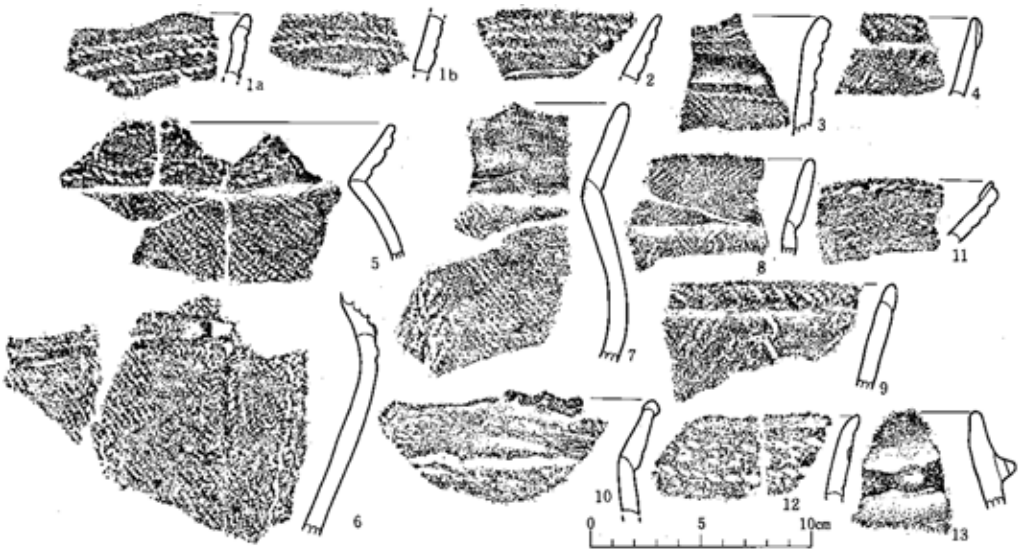
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CO88区・西ベルト4層	深鉢・H2a	胴部：横位粘土紐貼付文，櫛歯状粘土板貼付文，手箆竹管による連続刺突文	275
2	CO88区・南ベルト4層	深鉢・H2b	口縁部：平縁，円形状貼付文，横状把手，沈線文，胴部：横位隆帯，縦位列目文	275
3a,b,c	CO88区・南ベルト4層	深鉢・D(IIc2)1a	口縁部：波状縁，区画隆線文，三角形貼付文，隆線に沿う沈線文，縄文（LR），胴部：横状把手（剥落），区画沈線文，胴部：横位隆線文，「Y」字状懸垂隆線文，隆線に沿う沈線文，連弧状沈線文	275
4	CO88区・西ベルト4層	深鉢・D(IIc2(？))1a	口縁部：波状縁，口縁に沿う隆線文，隆線に沿う沈線文，縄文（RL）	275
5	CO88区・西ベルト4層	深鉢・D(IIc2(？))1a	口縁部：区画隆線文，隆線に沿う沈線文，縄文（RL），胴部：縄文（RL）	275
6	CO88区・南ベルト4層	深鉢・D(IIc2(？))1a	口縁部：波状縁，区画隆線文，隆線に沿う沈線文，交互刺突文，縄文（LR）	275
7	CO88区・南ベルト4層	深鉢・D(IIc2(？)1a)	口縁部：区画隆線文，隆線に沿う沈線文，交互刺突文，縄文（RL），胴部：縄文（RL）	275
8	CO88区・南ベルト4層	深鉢・S or N－	口縁部：渦巻状隆線文，隆線に沿う沈線文	275
9	CO88区・西ベルト4層	深鉢・－	口縁部：縦位隆線文，隆線に沿う沈線文	275
10	CO88区・西ベルト4層	深鉢・W2b	口縁部：波状縁，無文（ナデ），胴部：縄文（LR）	275
11	CO88区・西ベルト4層	深鉢・W5	口縁部：平縁，無文（ナデ），胴部：無文（ナデ）	275

第419図　東側遺物包含層出土土器（CO88区・ベルト4層(1)）



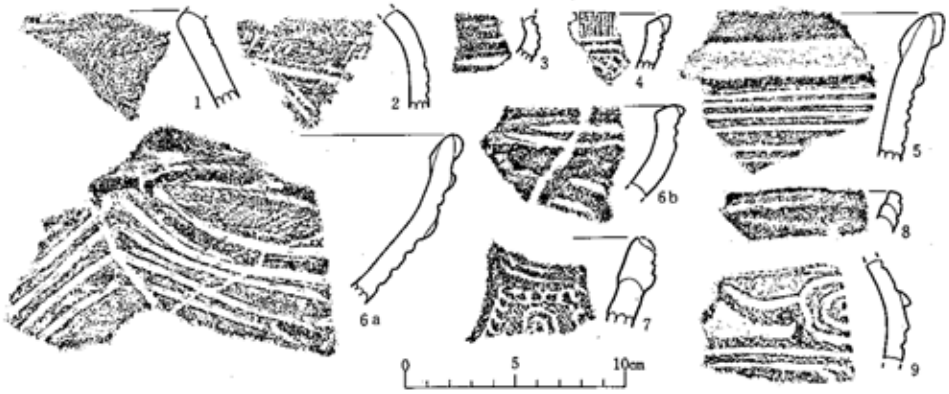
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CO88区・西ベルト4層、CO88区・西ベルト3層、CP88区・ベルト2層、CO88区・南ベルト2層、CL89区・2層	深鉢・D(1)5a	口縁部：平縁、横位平行押圧縄文（Lr）、蒲鉾状押圧縄文（Lr）、三叉状押圧縄文（Lr）、縄文(Lr)、胴部：：結束（第1種）縄文（Lr×Lr）	73−1
2	CO88区・北ベルト4層、CO88区・4層、CO88区・北ベルト4層	深鉢・E(1)11	口縁部：平縁、無文（摩滅）、胴部：縄文（LR）結節文（片結び一原）(摩滅)	74−1
3	CO88区・南ベルト4層、CP88区・4層	深鉢・W3b	口縁部：平縁、縄文（LR）、胴部：縄文（LR）結節文（同結び一原）	73−2
4	CO88区・西ベルト4層	深鉢・一	口縁部：無文（ナデ）、底部：ナデ	

第420図　東側遺物包含層出土土器（CO88区・ベルト4層(2)）



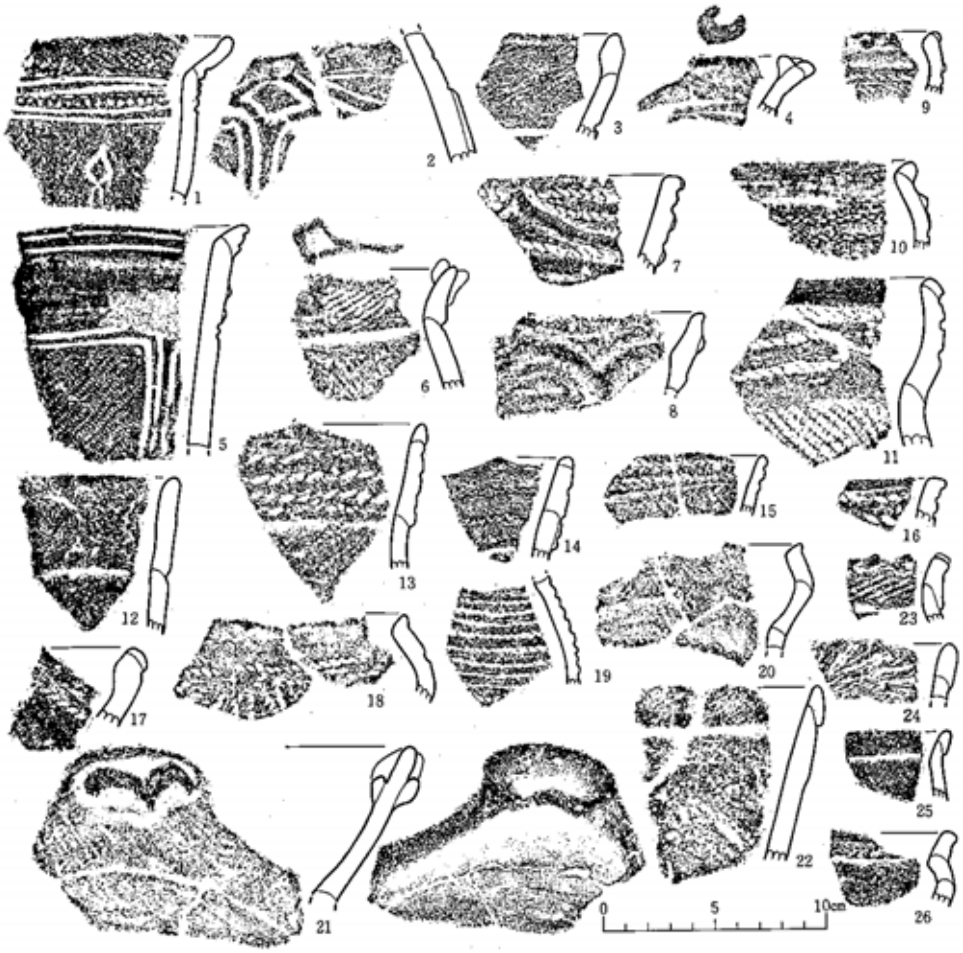
番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1a,b	CO88区・南ベルト4層	深鉢・E(Ⅰ)1a	口縁部：小波状縁，横位平行押圧縄文（LR）	275
2	CO88区・西ベルト4層	深鉢・E(Ⅰ)1a	口縁部：平縁，横位平行押圧縄文（LR）	275
3	CO88区・西ベルト4層	深鉢・D(Ⅱ－)－	口縁部：波状縁，口縁に沿う押圧縄文（LR），横位押圧縄文（LR），胴部：横位押圧縄文（LR），縄文（LR）	275
4	CO88区・西ベルト4層	深鉢・S1b	口縁部：平縁，縄文（RL），胴部：縄文（RL）	275
5	CO88区・西ベルト4層	深鉢・E(Ⅰ)6	口縁部：平縁，横位押圧縄文（LR），逆弧状押圧縄文（LR），胴部：縄文（LR）	275
6	CO88区・西ベルト4層	深鉢・N5b(？)	胴部：区画隆線文，隆線に沿う押圧縄文（Lr），縄文（LR）結節文（片結び一環）	275
7	CO88区・西ベルト4層	深鉢・V2	口縁部：波状縁，無文（ミガキ），胴部：縄文（LR）結節文（両結び一環）	275
8	CO88区・南ベルト4層	深鉢・W3b	口縁部：平縁，縄文（LR），胴部：縄文（LR）結節文（片結び一環）	275
9	CO88区・西ベルト4層	深鉢・S1b	口縁部：平縁，縄文（RL），胴部：縄文（RL）結節文（片結び一環）	275
10	CO88区・西ベルト4層	深鉢・V4	口縁部：小波状部をもつ平縁，波状貼付文〔上端〕，無文（ナデ），胴部：無文（ナデ）	275
11	CO88区・南ベルト4層	浅鉢・A4b	口縁部：平縁，横位平行押圧縄文（RL）	275
12	CO88区・北ベルト4層	深鉢・D(Ⅰ)1e	口縁部：平縁，横位平行押圧縄文（LR），半截竹管による連続刺突文	275
13	CO88区・北ベルト4層	深鉢・O2	口縁部：平縁，横位隆帯，肩張状圧痕〔隆帯上〕	275

第421図　東側遺物包含層出土土器（CO88区・ベルト4層(3)）



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CO88区・南ベルト3層	深鉢・H2a	胴部：粘土紐貼付文，半截竹管による連続刺突文	276
2	CO88区・西ベルト3層	深鉢・H2a	胴部：沈線文，短沈線文	276
3	CO88区・ベルト3層	深鉢・－	橋状把手：横位平行沈線文	276
4	CO88区・北ベルト3層	深鉢・D(Ⅰ)－	口縁部：平縁，横位押圧縄文（Lr），半截竹管による平行沈線文	276
5	CO88区・北ベルト3層	深鉢・S4b(？)	口縁部：平縁，横位隆線文，横位平行懸線文	276
6a,b	CO88区・西ベルト3層	深鉢・D(Ⅰ)8b	口縁部：突起のつく平縁，区画隆線文，隆線に沿う押圧縄文（LR），隆線に沿う沈線文，縄文（LR）	276
7	CO88区・ベルト3層	深鉢・D(Ⅱ－)	口縁部：突起のつく波状縁，半截竹管による平行沈線文，半截竹管による刺突文	276
8	CO88区・西ベルト3層	深鉢・D(Ⅰ)－	口縁部：平縁，区画沈線文	276
9	CO88区・北ベルト3層	深鉢・N5a	口縁部：区画隆線文，隆線に沿う沈線文，渦巻状沈線文，縄文（RL）	276

第422図　東側遺物包含層出土土器（CO88区・ベルト3層(1)）



番号	地区・層位	器形・分類	文様の特徴	図版
1	CO88区・北ベルト3層	深鉢・R(Ⅰ)−	口縁部：平縁，縄文（RL），頸部：横位平行沈線文，斜刺文，胴部：弧状沈線文，縄文（RL）結節文（両結び一原）	276
2	CO88区・西ベルト3層	深鉢・J1a	胴部：区画隆線文，隆線に沿う沈線文	276
3	CO88区・北ベルト3層	深鉢・W3b	口縁部：平縁，縄文(L{R/L})，頸部：横位隆帯，横位沈線文	276
4	CO88区・北ベルト3層	深鉢・N−	口縁部：波状縁，「の」字状貼付文（波頂部），半截竹管による平行沈線文	276
5	CO88区・北ベルト3層	深鉢・S4b	口縁部：平縁，横位平行沈線文，胴部：区画隆線文，貼付文（斜線），隆線に沿う沈線文，縄文（LR），胎土：金雲母を多く含む	277
6	CO88区・南ベルト3層	深鉢・N11	口縁部：突起のつく平縁，縄文（Lr），胴部：縄文（Lr）結節文（片結び一原）	276
7	CO88区・北ベルト3層	深鉢・D(Ⅰ)10a	口縁部：平縁，区画隆線文，隆線に沿う押圧縄文（LR）	277
8	CO88区・北ベルト3層	深鉢・L5（？）	口縁部：突起のつく平縁，「の」字状貼付文（上端），区画隆線文，隆線に沿う押圧縄文（Lr）	277
9	CO88区・南ベルト3層	深鉢・D(Ⅰ)−	口縁部：平縁，「の」字状貼付文，横位隆線文，隆線に沿う押圧縄文（LR）	276
10	CO88区・北ベルト3層	深鉢・L5(？)	口縁部：平縁，横位隆線文，横位平行押圧縄文（LR）	276
11	CO88区・北ベルト3層	深鉢・D(Ⅰ)10a(？)	口縁部：平縁，区画押圧縄文（LR），胴部：縄文（LR）	277
12	CO88区・北ベルト3層	深鉢・S11a	口縁部：平縁，横巻状押圧縄文（RL），胴部：（摩滅）	277
13	CO88区・西ベルト3層	深鉢・E(Ⅰ)1a	口縁部：小突起のつく平縁，横位平行押圧縄文（RL），胴部：縄文（RL）	277
14	CO88区・西ベルト3層	深鉢・E(Ⅰ)1a	口縁部：小突起のつく平縁，横位平行押圧縄文（RL,LR）	277
15	CO88区・西ベルト3層	深鉢・S5a	口縁部：平縁，横位平行押圧縄文（LR），胴部：縄文（LR）	277
16	CO88区・北ベルト3層	深鉢・D(Ⅰ)−	口縁部：平縁，横位平行押圧縄文（LR）	277
17	CO88区・北ベルト3層	深鉢・D(Ⅱa(？))4b	口縁部：波状縁，口縁に沿う押圧縄文（RL）	277
18	CO88区・南ベルト3層	深鉢・N5b(？)	胴部：区画押圧縄文（LR）	277
19	CO88区・北ベルト3層	深鉢・J(？)	胴部：横位平行押圧縄文（Lr）	277
20	CO88区・北ベルト3層	深鉢・W3b	口縁部：平縁，縄文（LR）	277
21	CO88区・西ベルト3層	深鉢・N5b(？)	口縁部：波状縁，「の」字状貼付文（波頂部内面），弧状貼付文，縄文（LR）	277
22	CO88区・西ベルト3層	深鉢・S10b	口縁部：平縁，縄文（LL），胴部：縄文（LR）結節文（片結び一原）	277
23	CO88区・南ベルト3層	深鉢・W3b	口縁部：小波状縁，指頭状圧痕（上端），縄文（Lr）	277
24	CO88区・北ベルト3層	深鉢・S10b	口縁部：平縁，縄文（LL）	277
25	CO88区・北ベルト3層	深鉢・S11a	口縁部：平縁，無文（ナデ），胴部：縄文（Lr），胎土：金雲母を多く含む	277
26	CO88区・南ベルト3層	深鉢・V4	口縁部：平縁，無文（ナデ），胴部：無文（ナデ）	277

第423図　東側遺物包含層出土土器（CO88区・ベルト3層(2)）